EPSON

取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-FH08
EB-W55
EB-E12

目次

マニュアル中の表示の意味 6

マニュアルの使い方と情報の探し方 8
- キーワードで検索する 8
- しおりから直接ジャンプする 8
- 必要なページだけ印刷する 8

ドキュメント類の最新バージョンを入手する 9

機能一覧表 10

プロジェクターを使用する前に 12

本機の特長 13
- かんたん投写 13
- らくらく無線投写 13

プロジェクターの各部名称と働き 15
- プロジェクターの各部名称 - 前面 15
- プロジェクターの各部名称 - 背面 16
- プロジェクターの各部名称 - 底面 17
- プロジェクターの各部名称 - 操作パネル 18
- プロジェクターの各部名称 - リモコン 20

プロジェクターを準備する 22

プロジェクターの設置 23
- プロジェクターの設置・取り付け 25
- 投写距離 25

プロジェクターを接続する 26
- コンピューターを接続する 26
  - USBケーブルを接続して映像と音声を出力する 26
  - HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する 27
- ビデオ機器を接続する 27
  - HDMIケーブルで接続する 28
- USB機器を接続する 28
  - USB機器のデータを投写する 28
  - USB機器を接続する 29
  - USB機器を取り外す 29
- 書画カメラを接続する 30
- 外部機器を接続する 30
  - 外部スピーカーを接続する 30
  - メディアストリーミング端末を接続する 30

リモコンに電池を取り付ける 32

リモコンを操作する 33

レンズカバーを開く 34

プロジェクターの基本機能を使用する 35

プロジェクターの電源を入れる 36
- ホーム画面設定 37

プロジェクターの電源を切る 39

メニューの言語を選択する 40

設置モードを選択する 41
- リモコンで 設置モードを変更する 41
- メニューから設置モードを変更する 41

テストパターンを表示する 43

映像の高さを調整する 44

映像の形状を補正する 45
- 自動タテ補正 45
- ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する 45
- 台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する 46
- Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する 47

ズームリングで映像の大きさを調整する 49

フォーカスリングで映像のピントを調整する 50
映像を切り替える 51
映像のアスペクト比を設定する 53
映像のアスペクト比を切り替える 53
アスペクトモードの種類 53
各アスペクトモードの投写イメージ 54
映像を最適化する（カラーモード） 55
カラーモードを変更する 55
カラーモードの種類 55
オートアイリスを設定する 55
音量ボタンで音量を調整する 57

プロジェクターの便利な機能 58

2つの映像を同時に投写する 59
2画面投写の入力ソースの組み合わせ 61
画面分割投写中の制限事項 61
PC Free機能で投写する 62
サポートファイル形式 62
PC Free使用時の注意事項 63
PC Freeのスライドショーを開始する 63
PC Freeで動画を投写する 64
PC Freeの表示オプション 65
映像と音声を一時的に遮断する 67
映像を一時的に停止する 68
映像を拡大・縮小する（Eズーム） 69
映像を拡大表示する 69
映像を縮小表示する 69
ユーザーロゴを設定する 71
ユーザーパターンを登録する 73
複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正 74
プロジェクターIDの設定 74
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する 74
複数のプロジェクターの映像品質を合わせる 75
セキュリティー機能 77
パスワードプロテクトの種類 77
パスワードの設定 77
パスワードプロテクトの種類を設定する 78
パスワードを入力する 79
操作パネルのボタン操作を制限する 80
操作ボタンロックを解除する 81
セキュリティーケーブルを取り付ける 81

ネットワーク上のプロジェクターを使用する 82

無線LANでの映像投写 83
無線LANユニットを取り付ける 83
プロジェクターの無線LANを設定する 84
Windowsで無線LANを設定する 87
Macで無線LANを設定する 87
無線LANのセキュリティーを設定する 87
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する 88
USBキーを使って接続する（Windowsのみ） 89

プロジェクターを監視および制御する 91

Epson Projector Management Connected / Epson Projector Management 92
Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する 93
Web Controlのオプション設定 94
メールでプロジェクターの異常を通知する 97
異常通知メールの見方 97

SNMPを使ってプロジェクターを監視する 99
Web API 100
Web APIを有効にする 100

メニューの設定 101

プロジェクターメニューを操作する 102
ソフトキーボードを操作する 103
ソフトキーボードで入力可能な文字 103
画質メニュー 104
映像メニュー 106
設定メニュー 107
拡張設定メニュー 109
ネットワークメニュー 112
ネットワークメニュー - 基本設定メニュー 113
ネットワーク設定 - 無線LANメニュー 114
ネットワークメニュー - 通知メニュー 116
ネットワークメニュー - その他メニュー 117
ネットワークメニュー - 初期化メニュー 118
節電メニュー 120
情報メニュー 122
情報メニュー - プロジェクター情報 122
Event ID一覧 123
初期化メニュー 125
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能） 126
USBメモリーを使って一括設定する 126
コンピューターを使って一括設定する 127
一括設定でエラーが発生したときは 128

プロジェクターをメンテナンスする 130

プロジェクターのメンテナンス 131
レンズを清掃する 132
本機を清掃する 133
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする 134
エアフィルターと吸排気口を清掃する 134
エアフィルターを交換する 134
ランプをメンテナンスする 137
ランプを交換する 137
ランプ点灯時間を初期化する 140

困ったときに 142

トラブルの対処方法 143
インジケーターの見方 144
ヘルプの見方 147
映像や音声に関するトラブル 148
映像が表示されない 148
USB Displayの映像が表示されない 148
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される 149
Windowsのノートパソコンから映像を出力する 149
Macのノートパソコンから映像を出力する 150
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される 150
映像の一部が表示されない 150
映像がゆがむ 151
映像にノイズが入る、乱れる 151
映像がぼやける 151
映像の明るさや色合いが違う 152
音が出ない、小さい 152
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない 153

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル 154
電源が入らない、予期せず切れる 154
リモコンで操作できない 154
パスワードが入力できない 155
ネットワークに関するトラブル 156
無線LAN認証できない 156
Webブラウザーを使って設定を変更できない 156
異常が起きたときにメール通知されない 156
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる 157
Event IDでの確認 157

付録 160

オプション・消耗品一覧 161
スクリーン 161
設置用金具 161
無線LAN用オプション 161
外付けオプション 161
消耗品 162
スクリーンサイズと投写距離 163
対応解像度 167
本機仕様 168
接続端子 170
外形寸法図 171
USB Displayのシステム要件 173
警告ラベル 174
安全規格対応シンボルマークと説明 175
用語解説 177
一般のご注意 179
使用限定について 179
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意 179
瞬低（瞬時電圧低下）基準について 179
JIS C 61000-3-2適合品 179
表記について 179
商標について 180
ご注意 180
著作権について 180

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。
人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは本機のボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
［メニュー/設定名］	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： ［映像調整］メニューを選択する ☛ ［画質］ > ［アドバンスト］
⏩	関連事項を記載しているページを示しています。
☛	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

⏩ 関連項目

- 「マニュアルの使い方と情報の探し方」 p.8

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.9

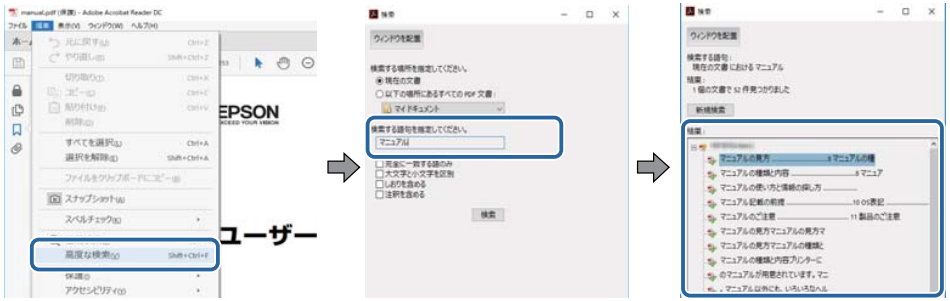
PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

関連項目

- 「キーワードで検索する」 p.8
- 「しおりから直接ジャンプする」 p.8
- 「必要なページだけ印刷する」 p.8

キーワードで検索する

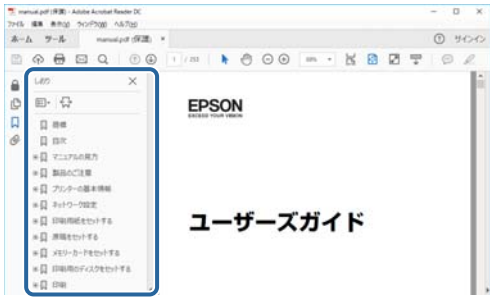
［編集］メニューの［高度な検索］をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、［検索］をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。+または>をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows： ［Alt］キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま ←キーを押します。



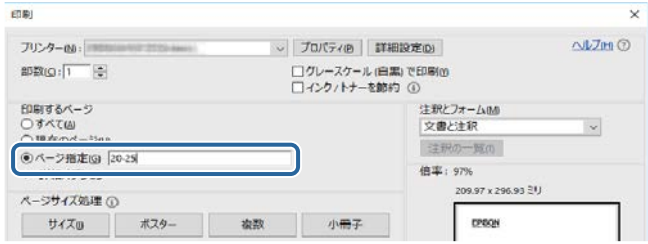
必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。［ファイル］メニューの［印刷］をクリックして、［印刷するページ］の［ページ指定］で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。

  例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。

  例：5、10、15



ドキュメント類の最新バージョンを入手する

説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

機能一覧表

各機種がサポートする機能の差異は以下のとおりです。サポートする機能は「✓」で示しています。

	EB-FH08	EB-W55	EB-E12
解像度	Full HD	WXGA	XGA
	1920×1080	1280×800	1024×768
無線LAN（内蔵）	-	✓	-
無線LAN（オプション）	✓	-	-
書画カメラ（オプション）	✓	✓	-
USB-A（5V⎓2.0A）端子（USB給電）	✓	✓	-
音声出力端子	✓	-	-
レンズカバー	✓	✓	-
ヨコ補正スライダー	✓	✓	-
ズームリング	✓	✓	-
無線LANインジケーター	-	✓	-
確認音（電源オン/オフ時）	✓	✓	-
コマンド通信	✓	✓	-
自動タテ補正	✓	✓	-
PC Free	✓	✓	-
メニュー一括設定（USBメモリー）	✓	✓	-
メニュー一括設定（コンピューター）	✓	✓	✓
ネットワーク保護	✓	✓	-
Epson iProjection	✓	✓	-
Epson Projector Management Connected	✓	✓	-

	EB-FH08	EB-W55	EB-E12
Epson Projector Management	✓	✓	-
Epson Web Control	✓	✓	-
メール通知	✓	✓	-
SNMP	✓	✓	-
Web API	✓	✓	-
ファームウェア更新（[情報] メニュー）	✓	✓	-

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

関連項目

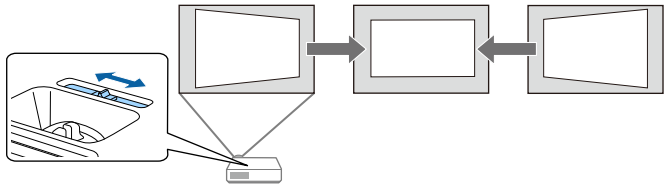
- 「本機の特長」 p.13
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 p.15

本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

関連項目
- 「かんたん投写」 p.13
- 「らくらく無線投写」 p.13

かんたん投写

- 電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- 映像信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします（オートパワーオン）。
- ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。
- 自動的に投写映像のタテ方向のゆがみを補正し、常にゆがみのない映像を表示します（自動タテ補正）。
- ヨコ補正スライダーを使って、投写映像のヨコ方向のゆがみをすばやく補正できます。本機をスクリーンに対して平行に設置できないときに便利です（スライド式ヨコ補正）。

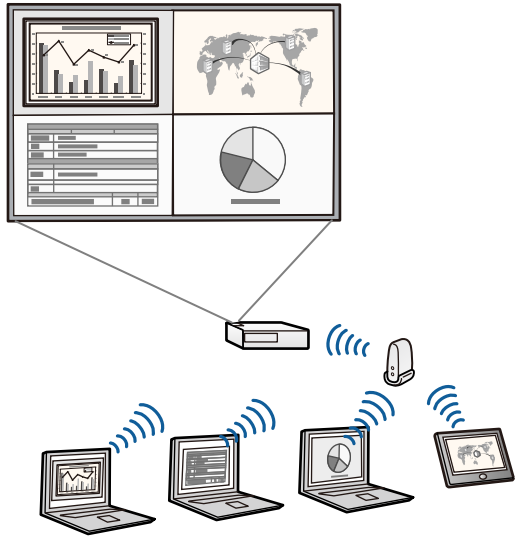


関連項目
- 「プロジェクターの電源を入れる」 p.36
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 p.45
- 「自動タテ補正」 p.45
- 「機能一覧表」 p.10

らくらく無線投写

- Epson iProjection (Windows/Mac) を使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューター、スマートフォン、タブレット端末の画面を投写できます。

  詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/download/

- Epson iProjection (iOS/Android) を使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。

> App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook) を使うと、本機とChromebookを無線で接続できます。Epson iProjectionは、Chromeウェブストアからダウンロードできます。

> Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

関連項目

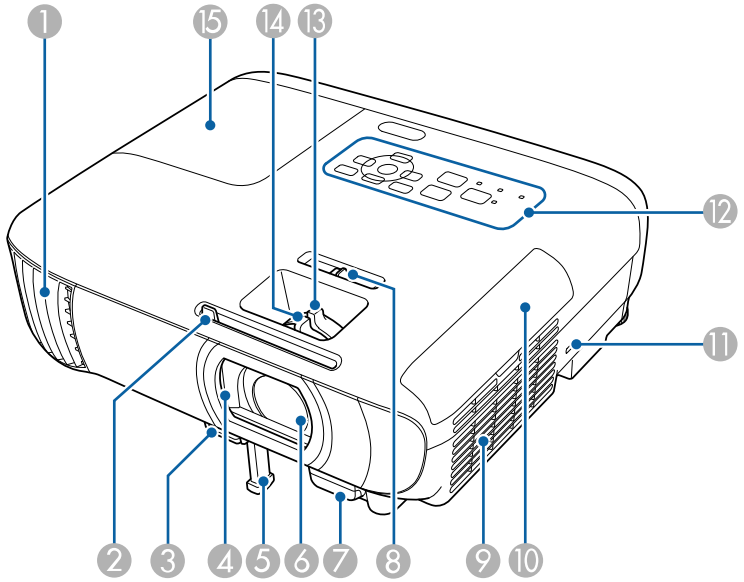
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.82
- 「機能一覧表」 p.10

本機の各部名称とその働きについて説明します。
本書では断りがないかぎりEB-FH08のイラストを用いて説明しています。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - 前面」 p.15
- 「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.16
- 「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.17
- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.18
- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.20
- 「機能一覧表」 p.10

プロジェクターの各部名称 - 前面



名称		機能
❶	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 **⚠ 警告** 排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。 **⚠ 注意** 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
❷	スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
❸	フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
❹	レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。
❺	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
❻	レンズ	ここから映像を投写します。
❼	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
❽	ヨコ補正スライダー	映像のヨコ方向のゆがみを補正します。
❾	吸気口（エアフィルター）	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

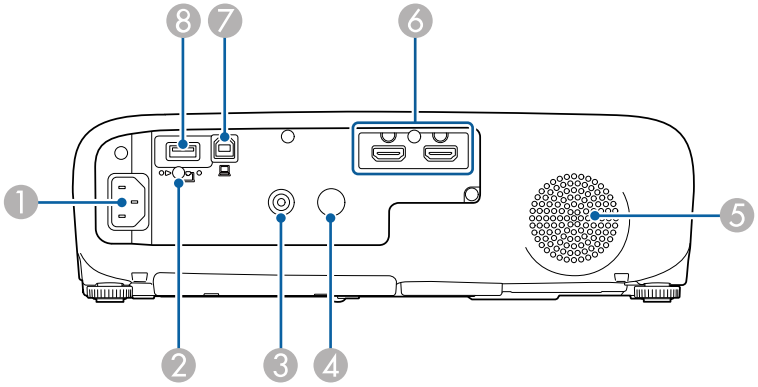
名称		機能
⑩	エアフィルターカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
⑪	セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。
⑫	操作パネル	本機の操作をします。
⑬	ズームリング	映像のサイズを調整します。
⑭	フォーカスリング	映像のピントを調整します。 形状はお使いの機種によって異なります。
⑮	ランプカバー	ランプ交換時に開閉します。

関連項目

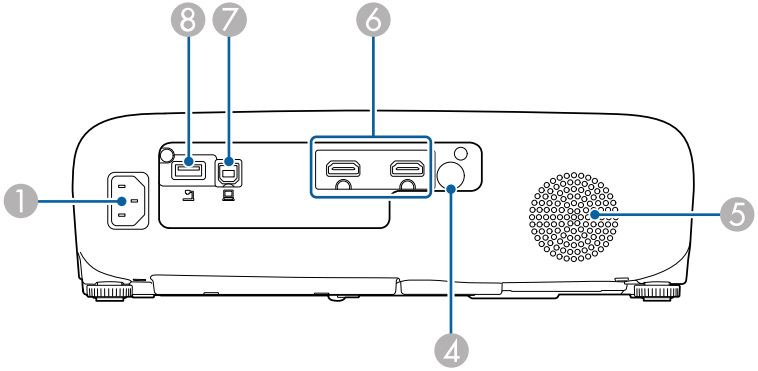
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 p.49
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.50
- 「インジケーターの見方」 p.144
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 p.45
- 「機能一覧表」 p.10

プロジェクターの各部名称 - 背面

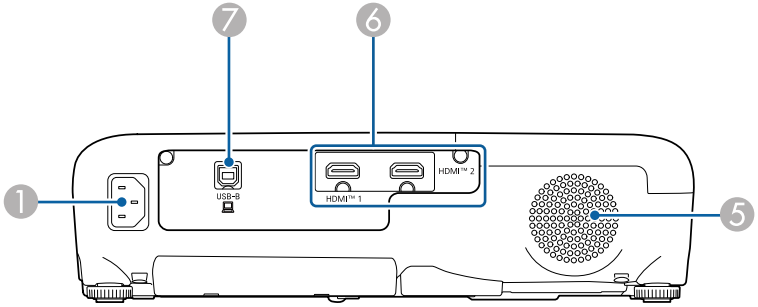
EB-FH08



EB-W55



EB-E12

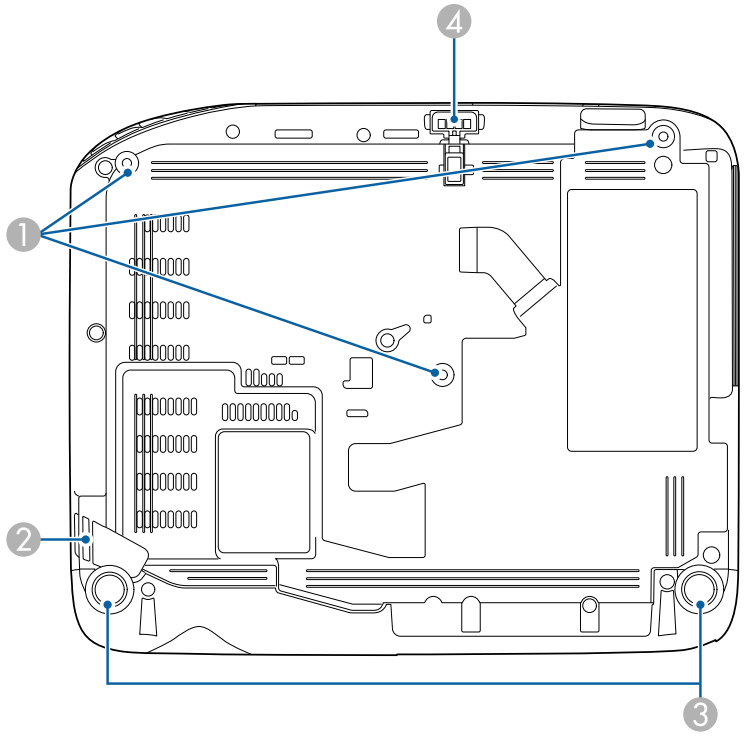


名称		機能
❶	電源端子	電源コードを接続します。
❷	無線LANユニット固定ネジ	無線LANユニットカバーを固定するネジです。
❸	音声出力端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
❹	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
❺	スピーカー	音声を出力します。
❻	HDMI1、HDMI2端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 本機はHDCPに対応しています。
❼	USB-B端子	USBケーブルでコンピューターと接続して、映像を投写します。
❽	USB-A（5V⎓2.0A）端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画や画像をPC Freeで投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 無線LANユニットを取り付けます。 市販のメディアストリーミング端末に電力を供給します。

▶▶ 関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

プロジェクターの各部名称 - 底面



名称		機能
❶	天吊り固定部（3箇所）	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をすべての固定部を使用してここに取り付けます。
❷	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 また、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けることができます。

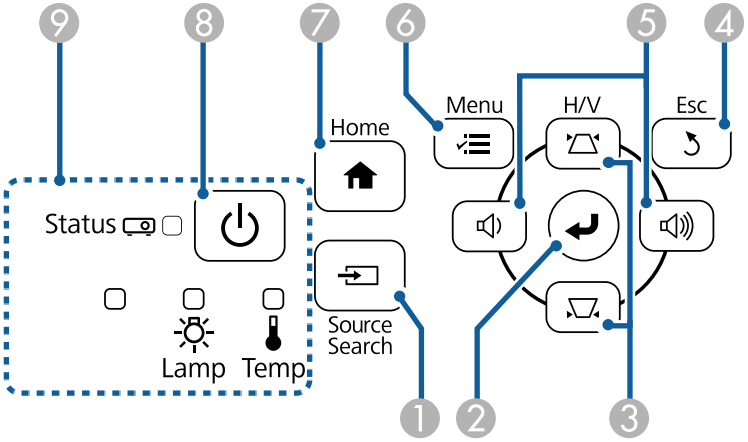
名称		機能
③	リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
④	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

関連項目

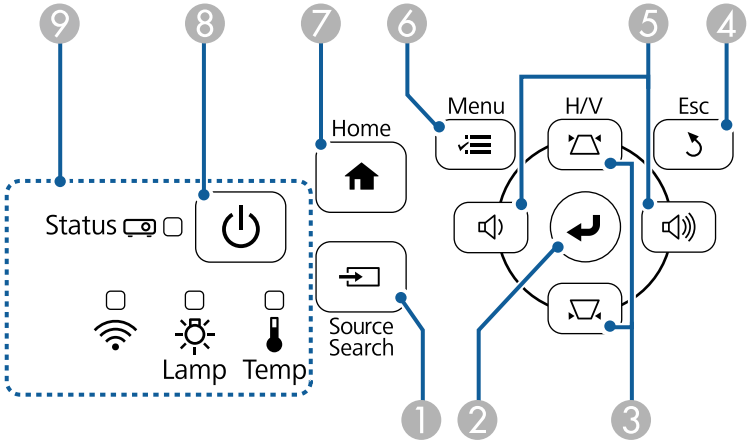
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.81

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル

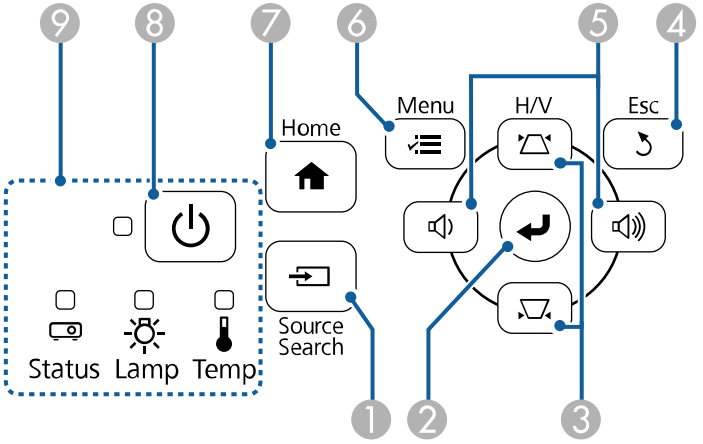
EB-FH08



EB-W55



EB-E12



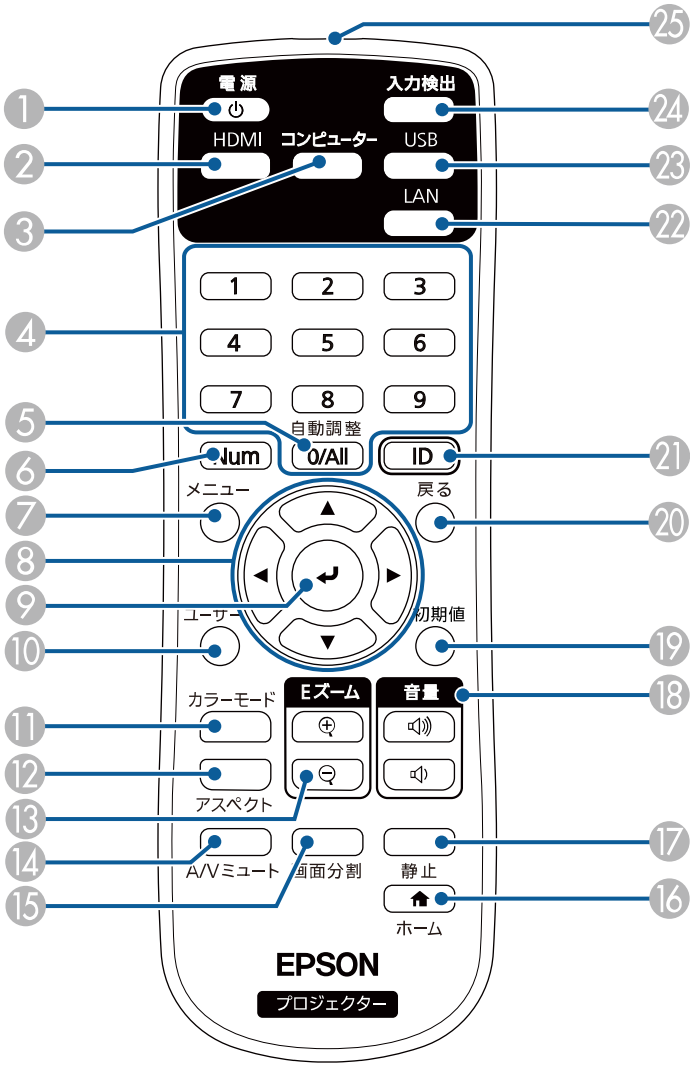
プロジェクター本体には（）内の名称が印字されています。

名称		機能
❶	【入力検出】ボタン（Source Search）	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
❷	【決定】ボタン【↵】（Enter）	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
❸	台形補正ボタン/上下ボタン	台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
❹	【戻る】ボタン（Esc）	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
❺	音量ボタン/左右ボタン	：音量を下げます。 ：音量を上げます。 台形補正画面を表示中は、ヨコ方向のゆがみを補正します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
❻	【メニュー】ボタン（Menu）	メニュー画面を表示/終了します。
❼	【ホーム】ボタン（Home）	ホーム画面を表示/終了します。
❽	電源ボタン【⏻】	本機の電源をオン/オフします。
❾	インジケーター	本機の状態を表示します。

▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 p.106
- 「ホーム画面設定」 p.37
- 「インジケーターの見方」 p.144
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.46

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称		機能
❶	電源ボタン【⏻】	本機の電源をオン/オフします。
❷	【HDMI】ボタン	HDMI端子からの映像に切り替えます。
❸	【コンピューター】ボタン	このボタンは使用できません。
❹	数字ボタン	【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
❺	【0/All】ボタン	［プロジェクターID］の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
❻	【Num】ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
❼	【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
❽	上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
❾	【決定】ボタン【↵】	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
❿	【ユーザー】ボタン	［設定］メニューの［ユーザーボタン］で設定した機能を実行します。
⓫	【カラーモード】ボタン	カラーモードを変更します。
⓬	【アスペクト】ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⓭	【Eズーム】+/–ボタン	投写映像のサイズを調整します。
⓮	【A/Vミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
⓯	【画面分割】ボタン	投写画面を分割して、2つの異なる入力ソースの映像を同時に投写します。
⓰	【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。

名称		機能
⑰	【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。
⑱	【音量】上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
⑲	【初期値】ボタン	選択した設定を初期値に戻します。
⑳	【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
㉑	【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
㉒	【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
㉓	【USB】ボタン	USB DisplayとUSB-A端子からの映像に切り替えます。
㉔	【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉕	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 p.106
- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「PC Free機能で投写する」 p.62
- 「2つの映像を同時に投写する」 p.59
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 p.55
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.82
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.26
- 「ホーム画面設定」 p.37

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

関連項目

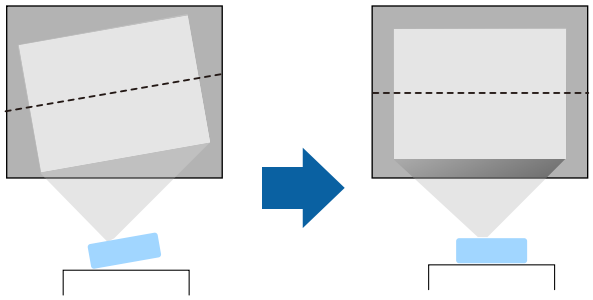
- 「プロジェクターの設置」 p.23
- 「プロジェクターを接続する」 p.26
- 「リモコンに電池を取り付ける」 p.32
- 「リモコンを操作する」 p.33
- 「レンズカバーを開く」 p.34

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

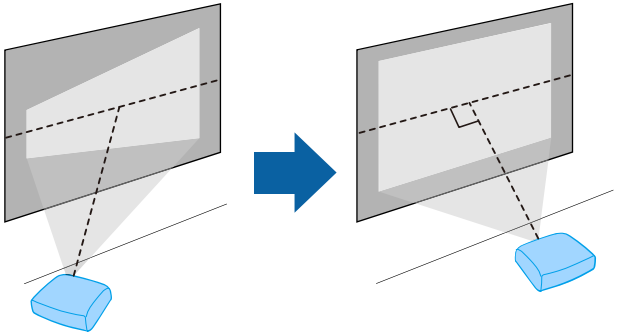
常に特定の位置に固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を使って映像のゆがみを補正します。投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

⚠ 警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、プロジェクターが落下するおそれがあります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。天吊り金具は、プロジェクターの取扱説明書で指定されている天吊り固定部すべてを使用して確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。本機に対応したエプソン指定の金具を使用してください。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

  外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

  - 油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
  - 溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
  - 油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
  - アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
  - イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）

⚠ 警告

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターにホコリが詰まって、故障や火災につながることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- 塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- 縦置きして投写しないでください。故障の原因となります。
- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、［高地モード］を［オン］にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。

  ☛［拡張設定］>［動作設定］>［高地モード］
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

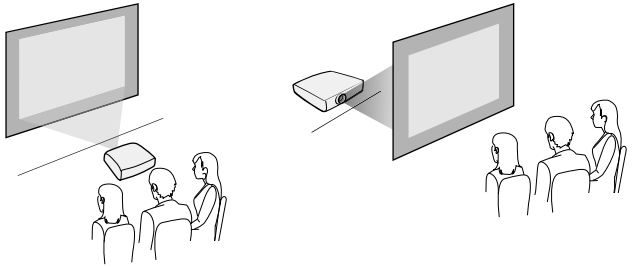
関連項目

- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.25
- 「投写距離」 p.25
- 「映像の形状を補正する」 p.45
- 「拡張設定メニュー」 p.109

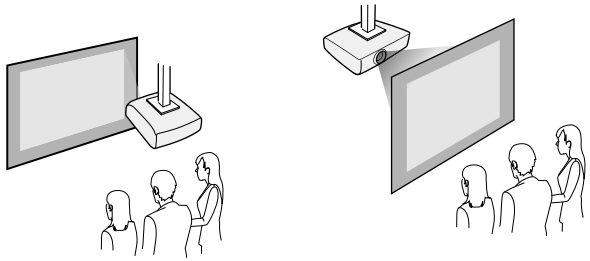
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、［拡張設定］メニューで［設置モード］を選択します。

関連項目

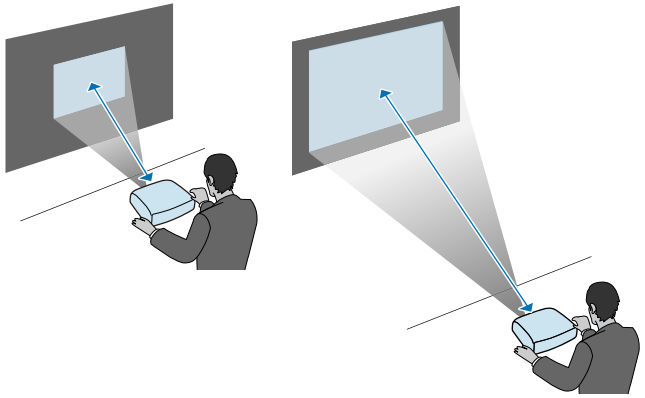
- 「設置モードを選択する」 p.41

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。
本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

スクリーンサイズと投写距離を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。

投写映像を補正すると、映像は少し小さくなります。



関連項目

- 「スクリーンサイズと投写距離」 p.163

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意
接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。

本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

関連項目
- 「コンピューターを接続する」 p.26
- 「ビデオ機器を接続する」 p.27
- 「USB機器を接続する」 p.28
- 「書画カメラを接続する」 p.30
- 「外部機器を接続する」 p.30

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

関連項目
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.26
- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.27

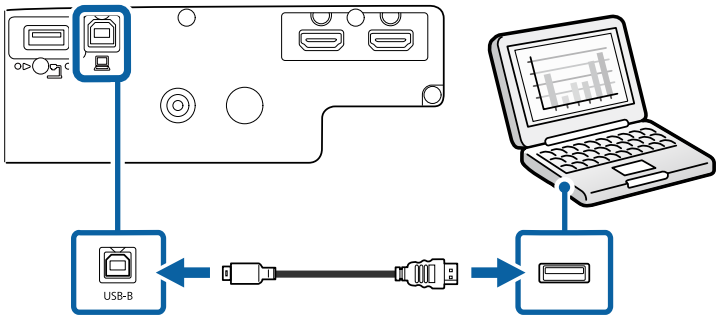
USBケーブルを接続して映像と音声を出力する

お使いのコンピューターがシステム要件を満たしている場合は、コンピューターのUSB端子から映像と音声をプロジェクターに送信できます。

この機能をUSB Displayといいます。プロジェクターとコンピューターをUSBケーブルで接続します。

USBハブを使用すると正しく動作しません。USBケーブルを直接本機に接続してください。

1 本機のUSB-B端子にUSBケーブルのType Bコネクターを接続します。



2 USBケーブルのTypeAコネクターをコンピューターのUSB端子に接続します。

3 本機とコンピューターの電源を入れます。

4 以下のいずれかの操作でEpson USB Displayドライバーをインストールします。

本機とコンピューターを初めてUSBケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。

- Windowsの場合：ダイアログボックスが表示されたら、［EMP_UDSE.EXEの実行］を選択します。

- Macの場合：Epson USB Displayのセットアップフォルダーが表示されます。［USB Display Installer］を選択して画面の指示に従います。自動的に表示されないときは、［EPSON_PJ_UD］ > ［USB Display Installer］の順にダブルクリックします。

5 画面の指示に従います。
映像が投写されるまでは、USBケーブルを抜いたり、プロジェクターの電源を切ったりしないでください。

コンピューターの映像が投写されます。映像に音声が入っているときは、音声も出力されます。

- 映像が投写されないときは、以下のいずれかの操作を行います。
  - Windowsの場合：［すべてのプログラム］ > ［EPSON Projector］ > ［Epson USB Display］ > ［Epson USB Display Ver.x.xx］の順にクリックします。
  - Macの場合：［アプリケーション］フォルダーの［USB Display］をダブルクリックします。
- 投写が終了したら、以下のいずれかの操作を行います。
  - Windowsの場合：USBケーブルを取り外します。［ハードウェアの安全な取り外し］を使用する必要はありません。
  - Macの場合：メニューバーまたは［Dock］の［USB Display］アイコンメニューから［切断］を選択し、USBケーブルを取り外します。

関連項目
- 「USB Displayのシステム要件」 p.173
- 「機能一覧表」 p.10

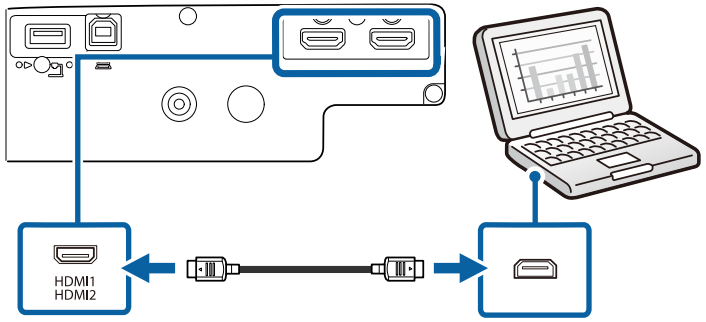
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。

映像出力用HDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacは、HDMI端子からの音声出力に対応していないことがあります。

1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。

- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

関連項目
- 「HDMIケーブルで接続する」 p.28

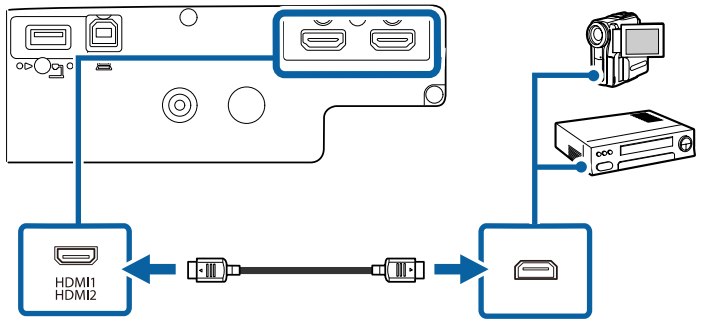
HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意
あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。プロジェクターの故障の原因となります。

1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

関連項目
- 「USB機器のデータを投写する」 p.28
- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「USB機器を取り外す」 p.29

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくてもUSB機器内の映像ファイルを投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ

- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
  - USBマスストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマスストレージクラスの機器もあります）
  - フォーマット形式がFAT16/32であること
  - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
  - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

USB機器内の映像ファイルを投写できます。

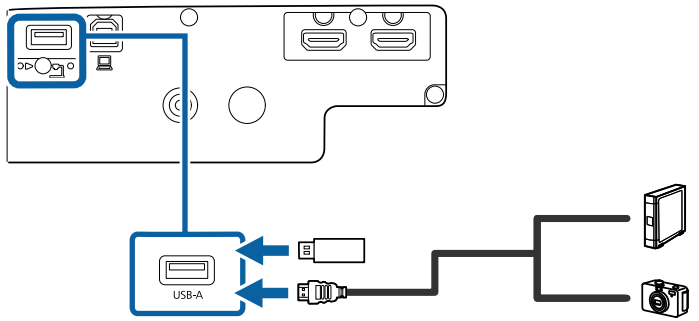
関連項目
- 「PC Free機能で投写する」 p.62
- 「機能一覧表」 p.10

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

1 USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。

2 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意
- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

1 USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。

2 プロジェクターからUSB機器を取り外します。

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

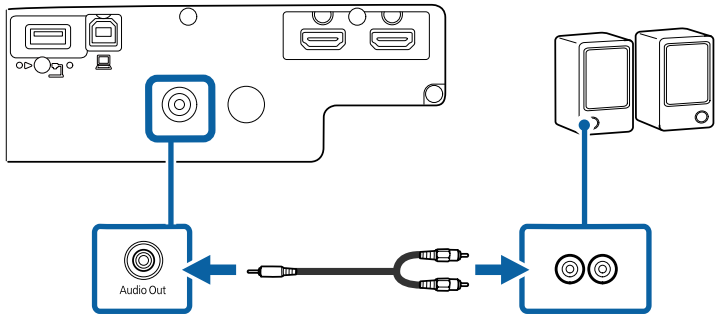
関連項目
- 「外部スピーカーを接続する」 p.30
- 「メディアストリーミング端末を接続する」 p.30

外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続して、投写映像の音質を向上できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

- 本機の電源がオフの場合に外部スピーカーから音声を出力するときは、［拡張設定］メニューで［A/V出力］を［常時］に設定します。
  ☛［拡張設定］ > ［A/V出力設定］ > ［A/V出力］
- スピーカー付きのアンプに本機を接続することもできます。
- 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

1. 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
2. ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
3. 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。
4. 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声出力端子に接続します。



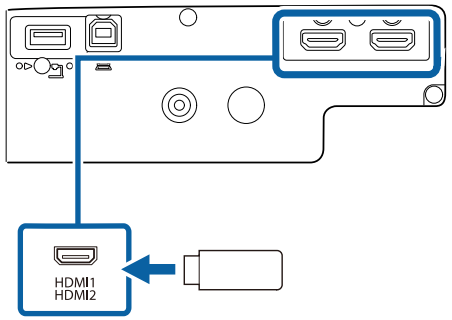
関連項目
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「機能一覧表」 p.10

メディアストリーミング端末を接続する

メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミング端末に電力を供給できます。

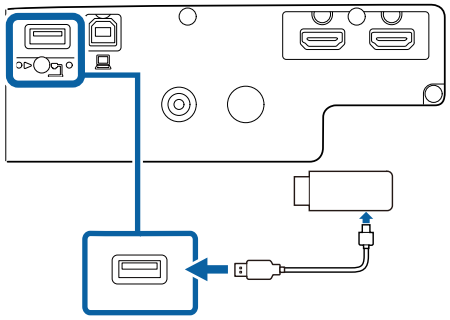
メディアストリーミング端末の接続方法や動作条件はお使いの機器によって異なります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。取扱説明書に従わないと、正常に動作しないことがあります。

1 メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。



2 USB給電ケーブルを本機のUSB-A端子に接続します。

3 USBケーブルのもう一方のコネクターをメディアストリーミング端末に接続します。

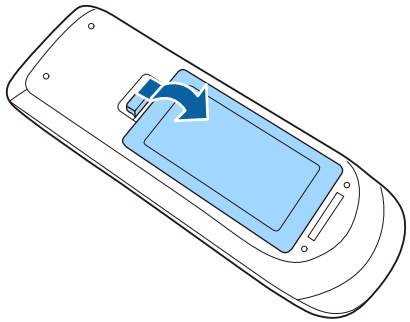


リモコンに電池を取り付ける

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

注意
電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

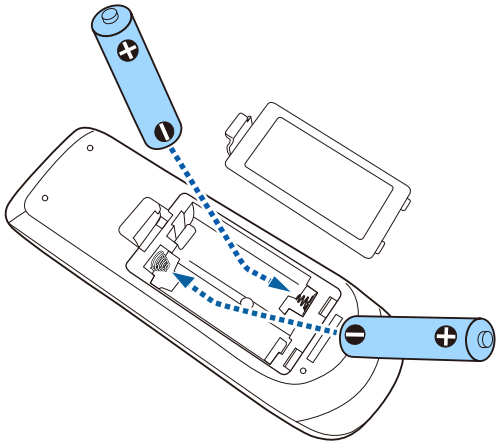
1 電池カバーを外します。



2 古い電池が入っていれば取り外します。

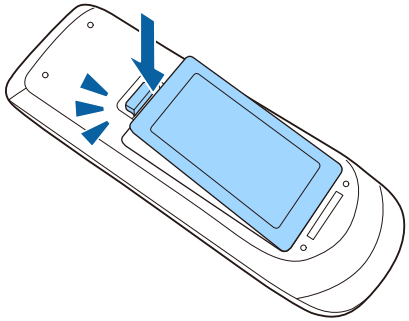
使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

3 電池の ＋ と ー の向きを確認してリモコンにセットします。



⚠ 警告
電池ホルダー内の表示を確認して、（＋）（ー）を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

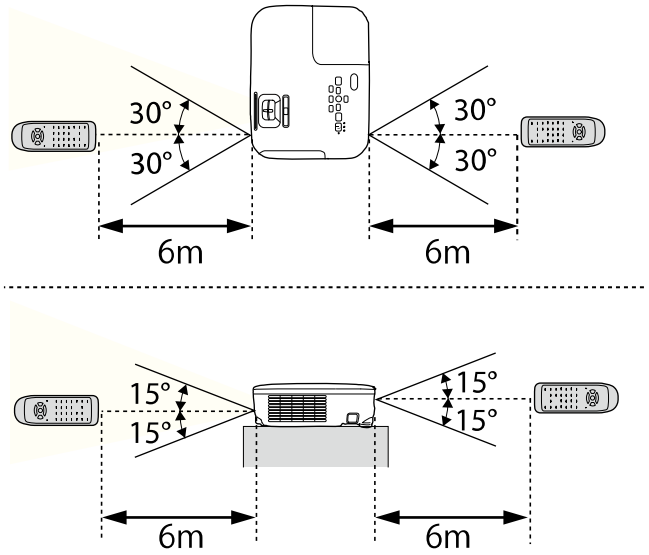
4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



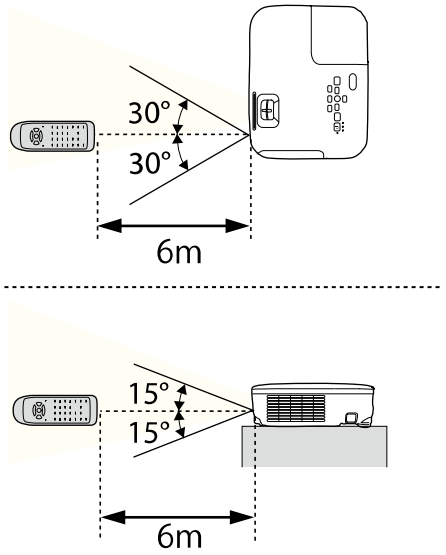
リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを操作できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。

EB-FH08/EB-W55



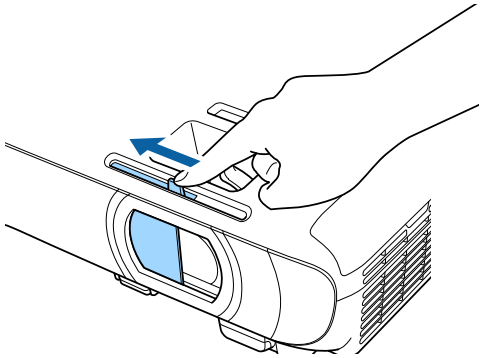
EB-E12



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

レンズカバーを開く

1 レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



2 レンズを保護したり、一時的に映像と音声を消すときは、レンズカバーを閉じます。

A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。

☛［節電］>［レンズカバータイマー］

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

プロジェクターの基本機能を使用する

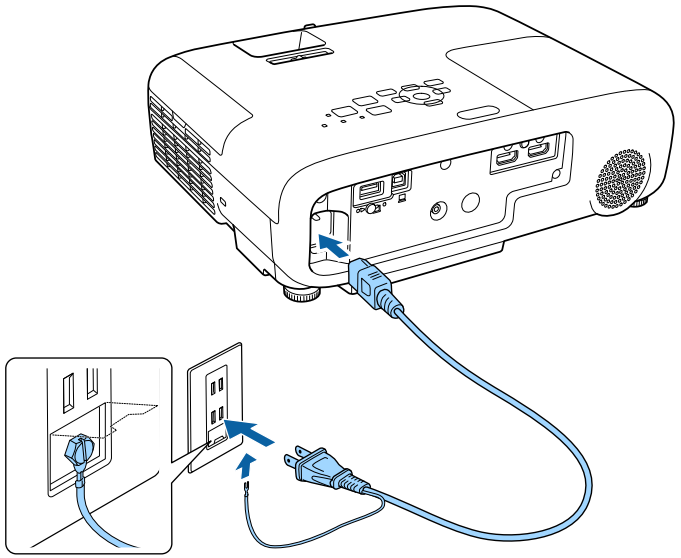
プロジェクターの基本機能を説明します。

関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 p.36
- 「プロジェクターの電源を切る」 p.39
- 「メニューの言語を選択する」 p.40
- 「設置モードを選択する」 p.41
- 「テストパターンを表示する」 p.43
- 「映像の高さを調整する」 p.44
- 「映像の形状を補正する」 p.45
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 p.49
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.50
- 「映像を切り替える」 p.51
- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 p.55
- 「音量ボタンで音量を調整する」 p.57

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

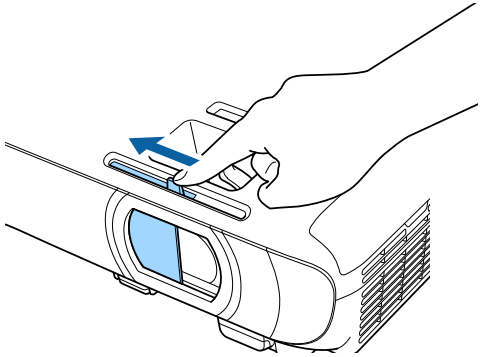
必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケーターが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

2 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーターが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーターが青色に点灯します。

3 本機のレンズカバーを開けます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- レンズカバーが完全に開いていることを確認します。
- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- 本機の光源には、高圧の水銀ランプを使用しています。水銀ランプの性質上、振動や衝撃、使用時間の経過によってランプが破裂したり、点灯しなくなったりすることがあります。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。次のことを守って安全にお使いください。
  - ランプを分解したり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 使用中は本機に顔を近づけないでください。
  - 天吊り設置しているときは、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。清掃やランプ交換の際には、ガラス破片でけがをしないように、また破片が目や口に入らないように十分注意してください。

  ランプが破裂した場合は、すみやかに換気してください。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。

- ［拡張設定］メニューの［ダイレクトパワーオン］が［オン］に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。

  ☛［拡張設定］＞［動作設定］＞［ダイレクトパワーオン］
- ［拡張設定］メニューの［オートパワーオン］を有効にしているときは、入力ソース機器からの信号を検出すると自動的に電源が入ります。

  ☛［拡張設定］＞［動作設定］＞［オートパワーオン］

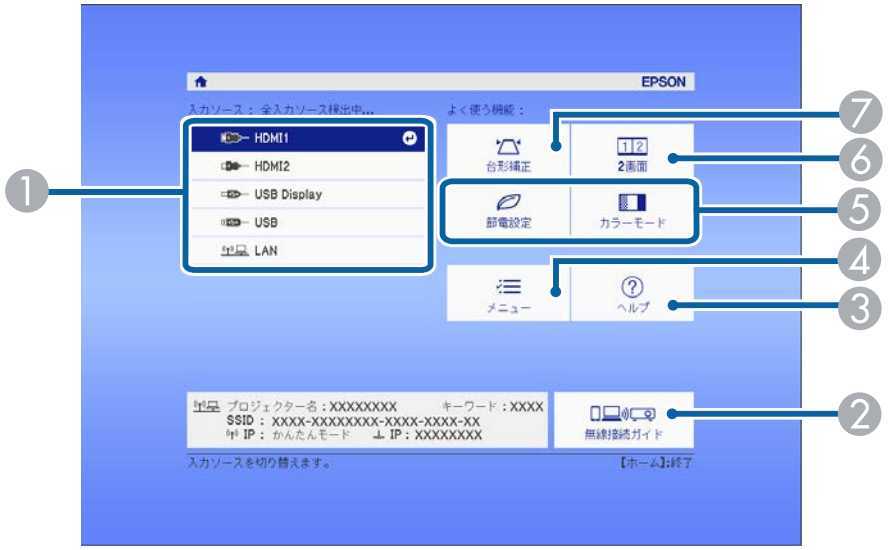
関連項目

- 「ホーム画面設定」 p.37
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「機能一覧表」 p.10

ホーム画面設定

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。本機の電源投入時に、入力信号がないときにもホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



1. 投写したい入力ソースを選択します。
2. 無線接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた接続の方法を確認できます。
3. ヘルプ画面を表示します。
4. プロジェクターのメニューを表示します。
5. ［拡張設定］メニューの［ホーム画面設定］に割り当てた機能を実行します。
6. 投写画面を分割して、2つの異なる入力ソースの映像を同時に投写します。
7. 映像のゆがみを補正します。

10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

関連項目

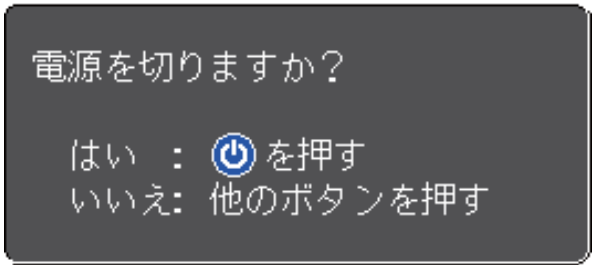
- 「映像の形状を補正する」 p.45
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「プロジェクターメニューを操作する」 p.102
- 「ヘルプの見方」 p.147
- 「2つの映像を同時に投写する」 p.59
- 「機能一覧表」 p.10

プロジェクターの電源を切る

使用後にプロジェクターの電源を切ります。

- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過にともなって低下します。
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

1 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。



2 再度電源ボタンを押します。（電源を切らないときは、他のボタンを押します。）
投写映像が消えた後、「ピッピッ」と確認音が2回鳴り、ステータスインジケーターが消灯します。

クールダウンは必要ありません。本機をすぐに片付けたり移動したりできます。

3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケーターが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

4 プロジェクターのレンズカバーを閉めます。

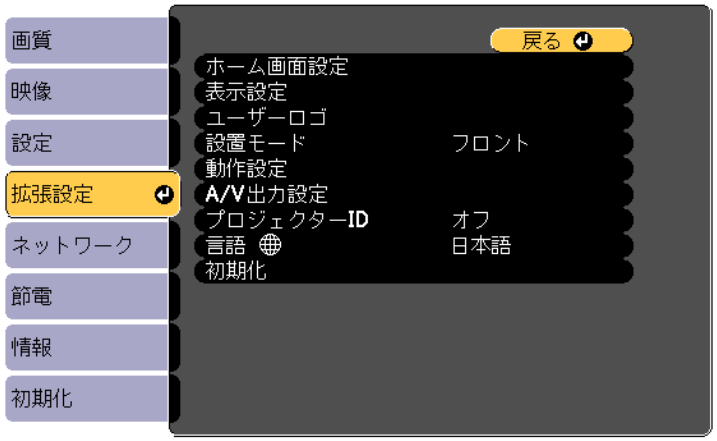
関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

メニューの言語を選択する

［言語］設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

1. 本機の電源を入れます。
2. 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
3. ［拡張設定］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4. ［言語］を選択し、【決定】ボタンを押します。
5. 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。
6. 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ［フロント］：机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ［フロント・天吊り］：天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ［リア］：リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ［リア・天吊り］：天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

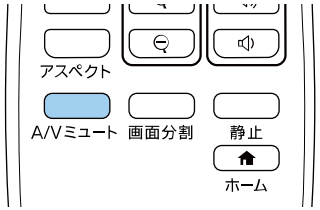
関連項目

- 「リモコンで 設置モードを変更する」 p.41
- 「メニューから設置モードを変更する」 p.41
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.25

リモコンで 設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

1. 本機の電源を入れて、映像を表示します。
2. リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。



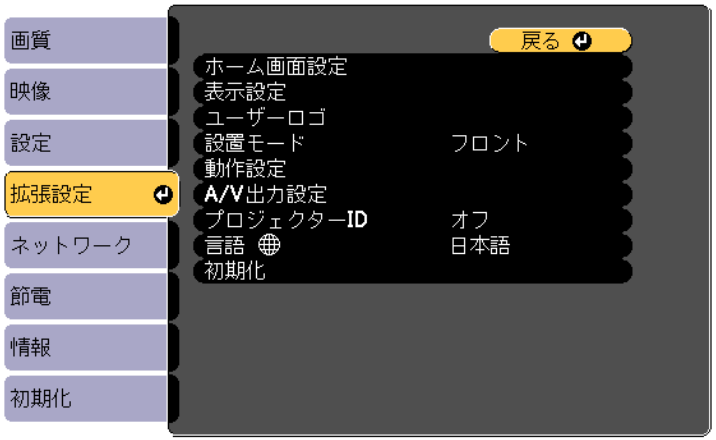
映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

3. 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

メニューから設置モードを変更する

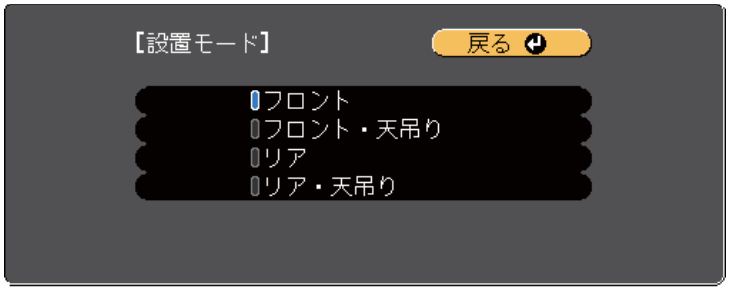
設置モードを変更して、映像を上下左右に反転します。

1. 本機の電源を入れて、映像を表示します。
2. 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
3. ［拡張設定］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 ［設置モード］を選択して、【決定】ボタンを押します。

5 お使いの環境に合わせた設置モードを選択して、【決定】ボタンを押します。



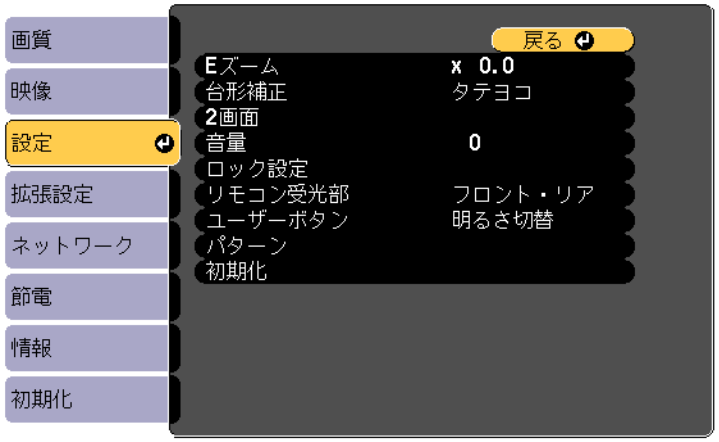
6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

テストパターンを表示する

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。

> テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

1. 本機の電源を入れます。
2. 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
3. ［設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。



4. ［パターン］ > ［テストパターン］の順に選択し、【決定】ボタンを押します。
   テストパターンが表示されます。
5. 映像を調整します。
6. テストパターンを消すには、【戻る】ボタンを押します。

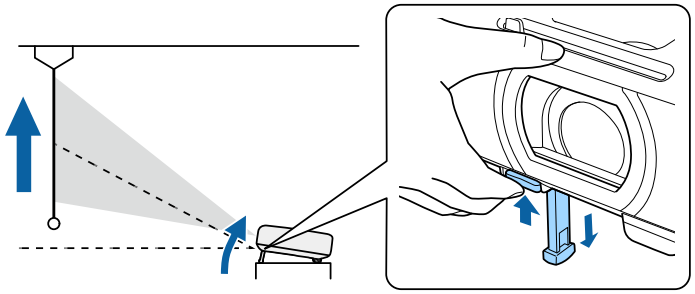
映像の高さを調整する

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 フットレバーを押し上げ、本機の前面を持ち上げます。

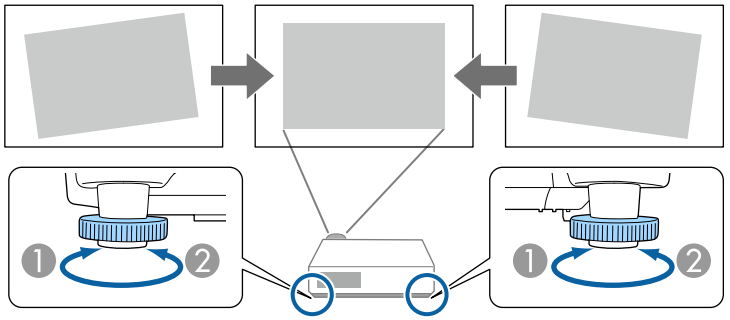


プロジェクターからフロントフットが伸びます。

約12度まで角度を調整できます。

3 フットレバーから指を離してフロントフットを固定します。

4 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



❶ フットを伸ばす

❷ リアフットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

関連項目

- 「映像の形状を補正する」 p.45

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

関連項目
- 「自動タテ補正」 p.45
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 p.45
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.46
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.47

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、［自動タテ補正］によって縦方向のゆがみが自動的に補正されます。

［自動タテ補正］で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- 投写角度が上下約30°以内
- ［拡張設定］メニューの［設置モード］が［フロント］に設定されている

［自動タテ補正］で映像を補正しないときは、［自動タテ補正］を［オフ］に設定します。

☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］ > ［自動タテ補正］

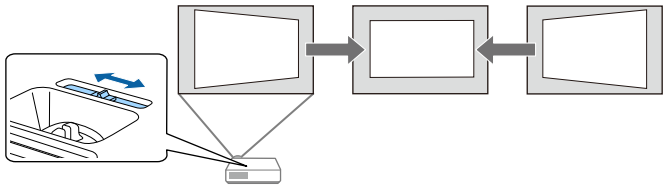
関連項目
- 「設置モードを選択する」 p.41
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「設定メニュー」 p.107
- 「機能一覧表」 p.10

ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する

ヨコ補正スライダーを使用して、映像のゆがみを補正します。スクリーンに対して斜めに設置しているときなどに使用します。（ヨコ補正スライダー搭載機種のみ）

投写映像を正しく補正できる投写角度は、左右約30°までです。

1. 本機の電源を入れて、映像を表示します。
2. スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。



補正後は、映像が少し小さくなります。

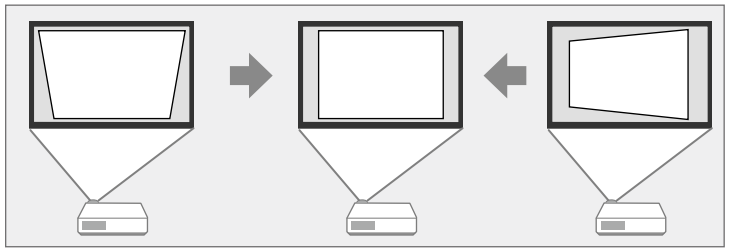
- ヨコ補正スライダーを使用するときは、［設定］メニューの［スライド式ヨコ補正］を［オン］に設定してください。
  ☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］ > ［スライド式ヨコ補正］
- ［設定］メニューからもヨコ方向の台形補正ができます。
  ☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］

関連項目
- 「設定メニュー」 p.107

- 「機能一覧表」 p.10

台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

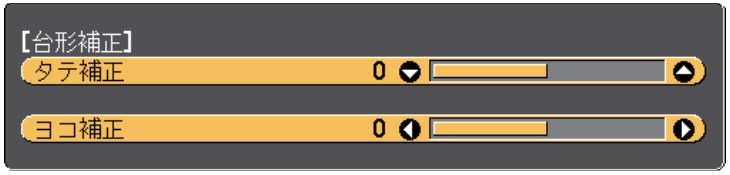
台形補正/上下ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。



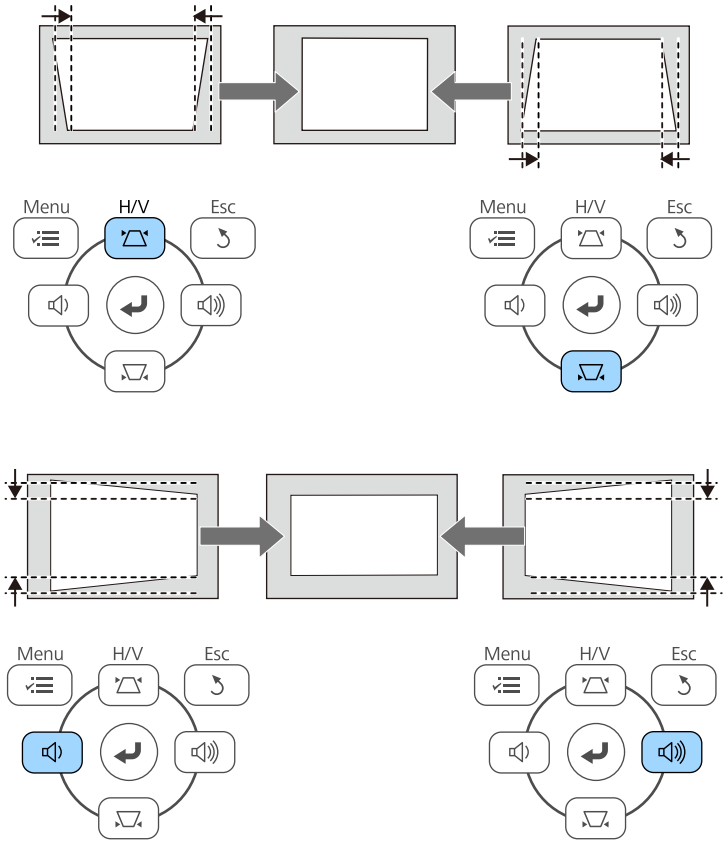
台形補正/上下ボタンで映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°のときです。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルの台形補正/上下どちらかのボタンを押して、台形補正画面を表示します。



3 上下左右ボタンを押して映像の形状を調整します。



プロジェクターが手の届かない場所に設置されているときは、リモコンで映像のゆがみを補正してください。

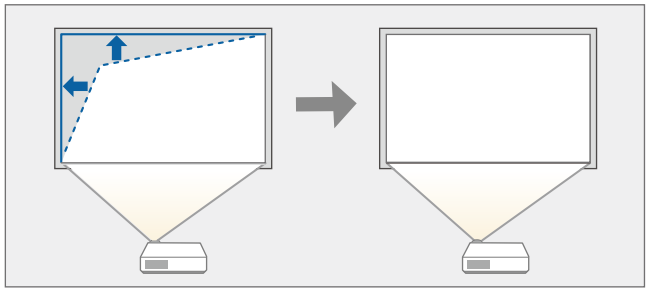
☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］

関連項目

- 「設定メニュー」 p.107

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

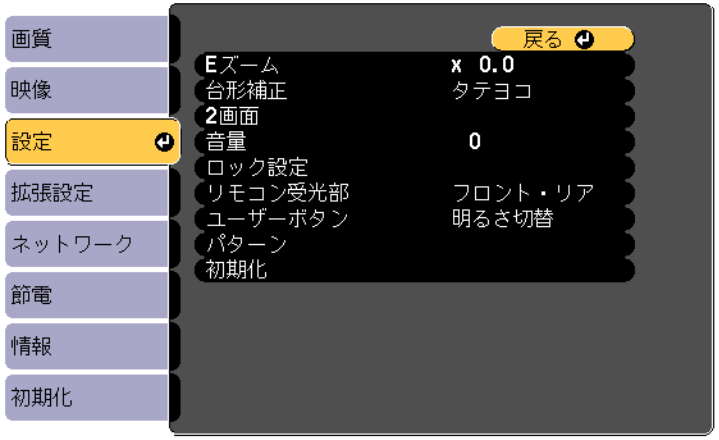
［Quick Corner］機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 ［設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。



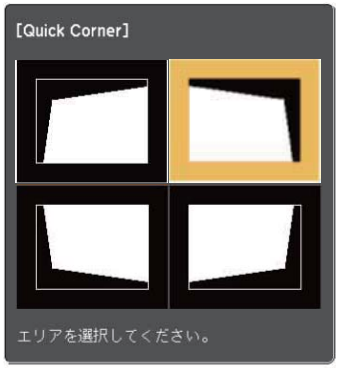
4 ［台形補正］を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 ［Quick Corner］を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

6 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。【決定】ボタンを押します。



7 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、Quick Corner調整画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、［Quick Corner初期化］を選択します。映像の補正方法をタテヨコに切り替えるときは、［タテヨコへ切替］を選択します。



8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

9 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、［設定］メニューの［台形補正］が［Quick Corner］に設定されます。操作パネルの台形補正/上下ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

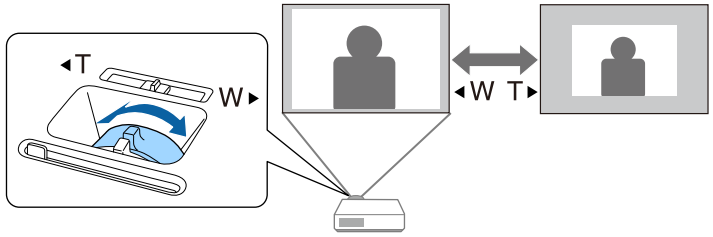
関連項目

- 「設定メニュー」 p.107

ズームリングで映像の大きさを調整する

ズームリングで映像の大きさを調整できます。（ズームリング搭載機種のみ）

1. 本機の電源を入れて、映像を表示します。
2. ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



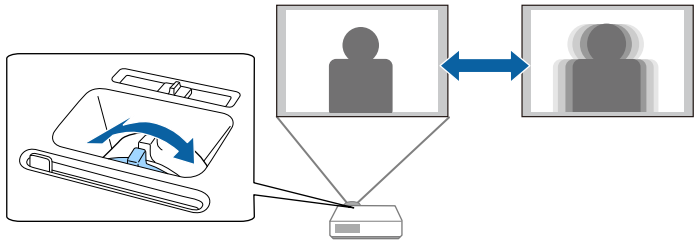
関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

フォーカスリングで映像のピントを調整する

フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。

1. 本機の電源を入れて、映像を表示します。
2. フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。



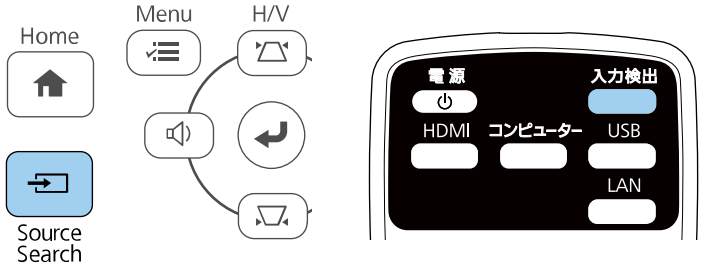
コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。
投写できる映像は機種によって異なります。

1 接続機器の電源が入っていることを確認します。

2 ビデオ機器の映像を表示するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。

3 次のいずれかの操作を行います。

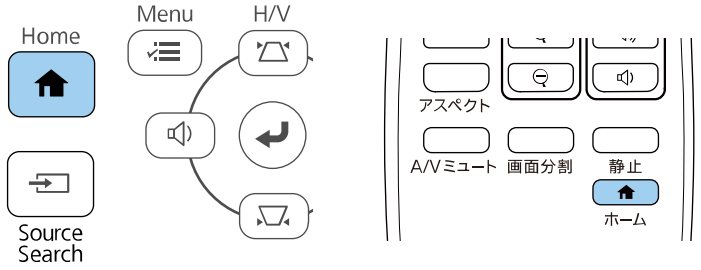
- 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの 【入力検出】ボタンを押します。



映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。



- リモコンで、表示したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。
- 操作パネルまたはリモコンの 【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。入力信号によっては、映像をスクリーンに合わせるためにアスペクト比を切り替えることができます。

常に特定のアスペクト比で投写するときは、［映像］メニューでアスペクトを設定します。

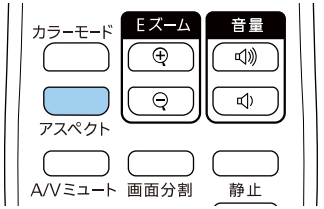
関連項目

- 「映像のアスペクト比を切り替える」 p.53
- 「アスペクトモードの種類」 p.53
- 「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.54
- 「映像メニュー」 p.106

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。

1. 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
2. リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。



表示される映像の形状と大きさが切り替わり、アスペクト比の名称が一時的に画面に表示されます。

3. 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【アスペクト】ボタンを繰り返し押します。

関連項目

- 「映像メニュー」 p.106

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。

- 選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- 著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作者の権利を侵害するおそれがあります。

解像度Full HD（1920 × 1080）またはWXGA（1280 × 800）の場合

アスペクトモード	説明
オート	入力信号に応じて、アスペクト比が自動的に設定されます。
16:9 *	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持して、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

* 解像度がWXGA（1280×800）のプロジェクターのみ

解像度XGA（1024 × 768）の場合

アスペクトモード	説明
オート	入力信号に応じて、アスペクト比が自動的に設定されます。
4:3	入力信号のアスペクト比が4:3に変換されます。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。

関連項目

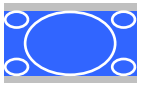
- 「機能一覧表」 p.10

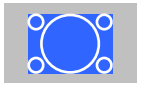
各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。

［リアル］を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

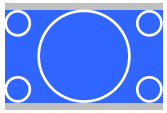
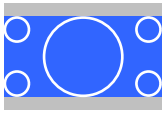
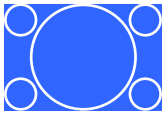
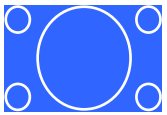
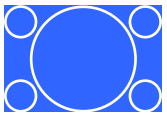
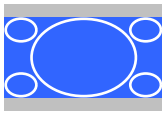
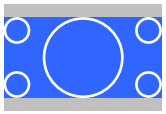
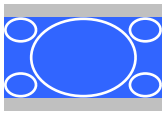
解像度Full HD（1920 × 1080）またはWXGA（1280 × 800）の場合

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート			
16:9 *			

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
フル			
ズーム			
リアル			

* 解像度がWXGA（1280×800）のプロジェクターのみ

解像度XGA（1024 × 768）の場合

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート			
4:3			
16:9			

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

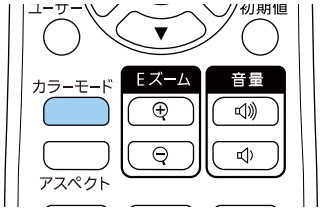
本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

関連項目
- 「カラーモードを変更する」 p.55
- 「カラーモードの種類」 p.55
- 「オートアイリスを設定する」 p.55

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

1. 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
2. リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

3. 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押します。

カラーモードは［画質］メニューの［カラーモード］でも設定できます。

関連項目
- 「画質メニュー」 p.104

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
sRGB	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
黒板	黒板に直接投写する場合に適しています。

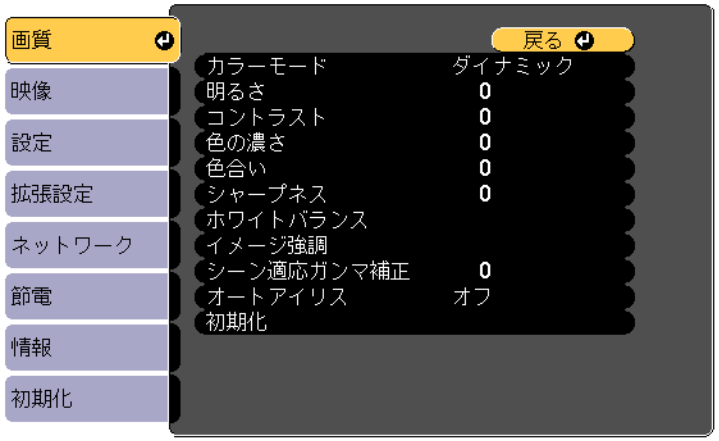
オートアイリスを設定する

表示される映像の明るさに合わせて光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

1. 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 ［画質］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 ［オートアイリス］を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。



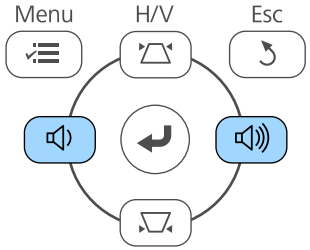
- ［標準］：標準の光量調整を行います。
- ［高速］：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

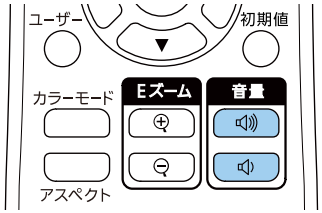
6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

音量ボタンで音量を調整する

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。
プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。
音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

1. 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
2. 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して、音量を調整します。





音量調節画面が表示されます。

3. メニューから音量を調整するときは、［設定］メニューの［音量］を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

> **⚠ 注意**
> 初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。
> 電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

関連項目

- 「設定メニュー」 p.107

プロジェクターの便利な機能

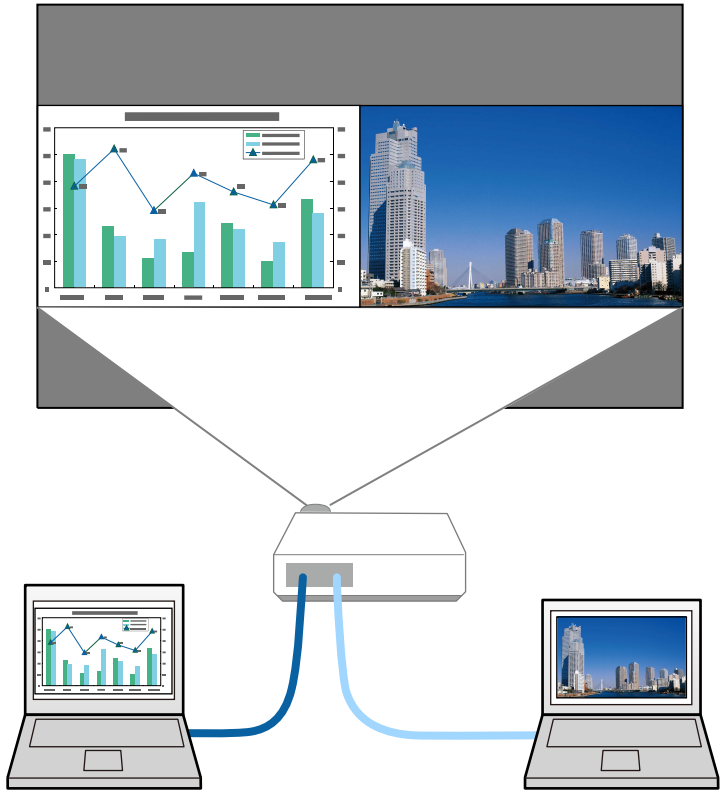
プロジェクターの各機能を使用します。

関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 p.59
- 「PC Free機能で投写する」 p.62
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.67
- 「映像を一時的に停止する」 p.68
- 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 p.69
- 「ユーザーロゴを設定する」 p.71
- 「ユーザーパターンを登録する」 p.73
- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 p.74
- 「セキュリティー機能」 p.77

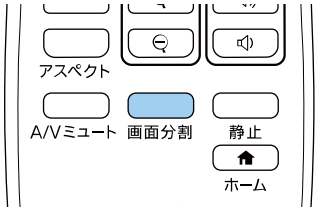
2つの映像を同時に投写する

2画面機能を使用して、2つの機器の映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



2画面機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなかったり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。

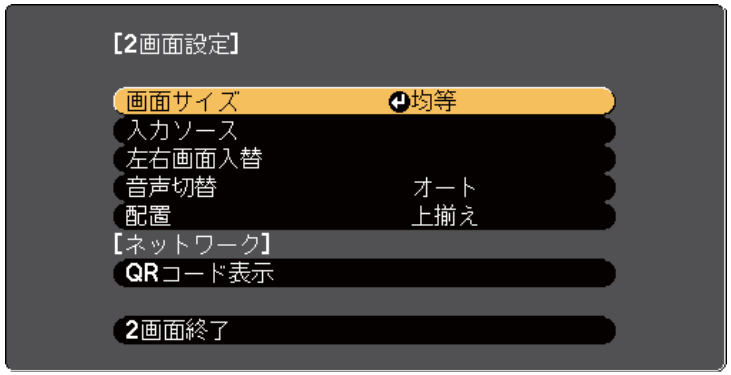
1 リモコンの【画面分割】ボタンを押します。



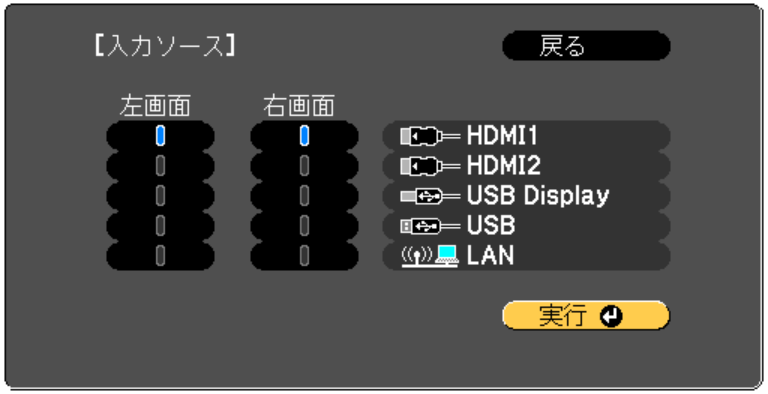
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

［設定］メニューの［2画面］からも同じ操作ができます。

2 【メニュー】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



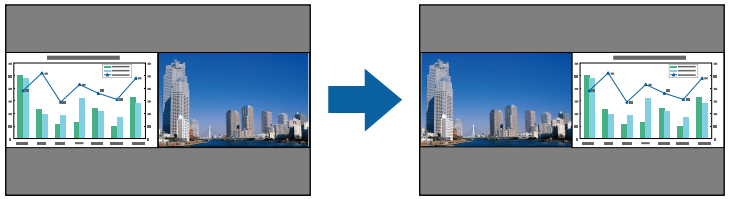
3 右画面に投写する入力ソースを選択するには、［入力ソース］を選択し、【決定】ボタンを押します。入力ソースを選択し、［実行］を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。
- 2画面で投写中は、リモコンで入力ソースを切り替える操作をしたときにも ［入力ソース］画面が表示されます。

4 左右の映像を切り替えるには、［左右画面入替］を選択し、【決定】ボタンを押します。

投写映像の左右が入れ替わります。



5 一方の映像を縮小してもう一方の映像を拡大するには、［画面サイズ］を選択し、【決定】ボタンを押します。拡大する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。



映像信号によっては、［均等］を選択しても左右の映像の大きさが一致しないことがあります。

6 出力する音声を切り替えるには、［音声切替］を選択し、【決定】ボタンを押します。音声を出力する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。

［オート］を選択すると、拡大している方の画面、または左画面の音声が出力されます。

7 画面の位置揃えを変更するには、［配置］を選択し、【決定】ボタンを押します。変更したい設定を選択し、再度【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。

8 2画面機能を終了するには、【画面分割】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。

関連項目

- 「2画面投写の入力ソースの組み合わせ」 p.61
- 「画面分割投写中の制限事項」 p.61

- 「機能一覧表」 p.10

2画面投写の入力ソースの組み合わせ

以下の入力ソースの組み合わせでは、2画面投写はできません。

- HDMI1とHDMI2
- USB DisplayとUSB/LAN
- USBとLAN

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

画面分割投写中の制限事項

操作に関する制限事項

画面を分割しての投写中は、以下の操作はできません。

- メニューの設定
- E-Zoom
- アスペクトモードの切り替え
- リモコンの 【ユーザー】ボタンでの操作
- オートアイリス

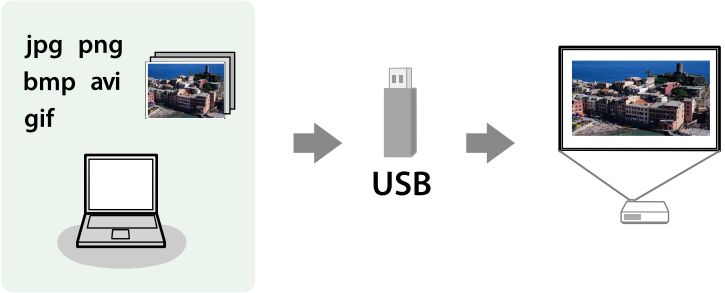
画質調整に関する制限事項

- ［画質］メニューで調整した設定（［明るさ］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色合い］、［シャープネス］）は左画面にのみ適用され、右画面には初期設定が適用されます。［カラーモード］や［色温度］など、映像全体に対する設定は、両方の画面に適用されます。
- 右画面では、［画質］メニューの［ノイズリダクション］はゼロに、［プログレッシブ変換］は［オフ］に設定されます。
- 映像信号の未入力時にユーザーロゴを表示することはできません。ユーザーロゴを設定していても、青い画面が表示されます。

関連項目

- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 p.55
- 「設定メニュー」 p.107
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「画質メニュー」 p.104
- 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 p.69
- 「オートアイリスを設定する」 p.55

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



関連項目

- 「サポートファイル形式」 p.62
- 「PC Free使用時の注意事項」 p.63
- 「PC Freeのスライドショーを開始する」 p.63
- 「PC Freeで動画を投写する」 p.64
- 「PC Freeの表示オプション」 p.65
- 「機能一覧表」 p.10

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。

- FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ（拡張子）	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル • アニメーションファイル • インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル * • インターレース形式
動画	.avi（Motion JPEGのみ）	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 • PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル • 解像度が1280×720を超えるファイル • サイズが2 GBを超えるファイル

* 解像度Full HD（1920×1080）対応プロジェクターでは、解像度1920×1200まで投写できます。

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- USBキーとして使用しているUSBメモリーは、 PC Free機能では使用できません。
- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、 PC Free機能が使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に補正してください。
- 以下の機能は PC Freeで投写しているときでも使用できます。
  - 静止
  - A/Vミュート
  - E-Zoom

関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 p.68
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.67
- 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 p.69

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。

画面下部の［オプション］を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1 リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の ［ドライブの選択］を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、［上へ戻る］を選択して、【決定】ボタンを押します。

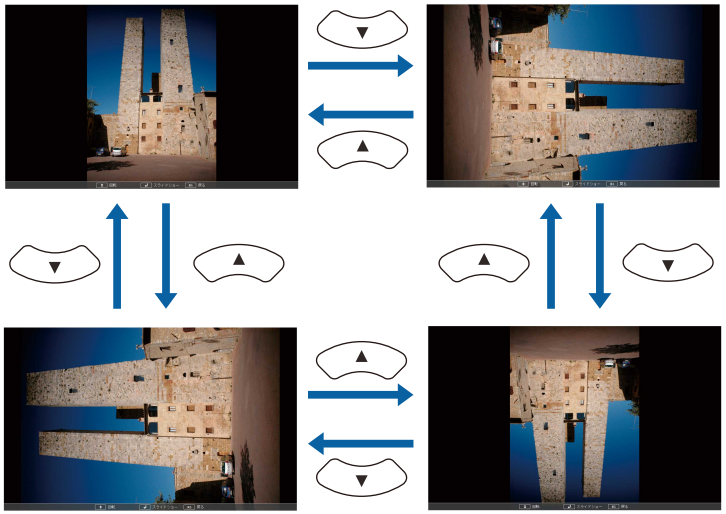
3 次のいずれかの操作を行います。

- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。（ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。）
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の［スライドショー］を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の［オプション］を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.65
- 「USB機器を接続する」 p.29

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えて、動画の投写を開始します。

画面下部の［オプション］を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

1 リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの動画ファイルを表示するには、ファイル一覧画面上部の［ドライブの選択］を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、［上へ戻る］を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。

- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の［スライドショー］を選択します。

4 投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押し、［終了］を選択して【決定】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.65
- 「USB機器を接続する」 p.29

PC Freeの表示オプション

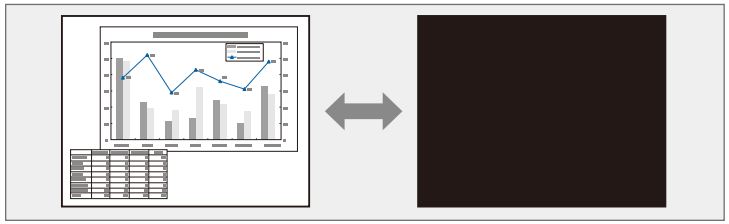
PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の［オプション］を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

映像と音声を一時的に遮断する

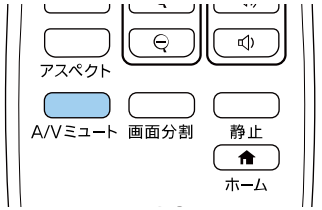
プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押したときに、ロゴや写真などを表示するには、［拡張設定］メニューの［A/Vミュート］で、表示したい画面を設定します。

☛［拡張設定］＞［表示設定］＞［A/Vミュート］

1 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



2 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。

- 本機のレンズカバーを閉じることで、投写を遮断することもできます。
- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。

  ☛［節電］＞［A/Vミュートタイマー］
- A/Vミュート中も投写ランプは動作し続けるため、ランプ点灯時間は加算されます。

関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「節電メニュー」 p.120

映像を一時的に停止する

動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

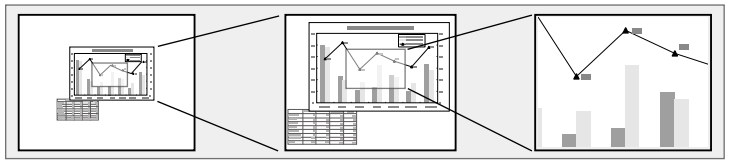
1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

リモコンの【Eズーム】ボタンを使って、映像を拡大/縮小できます。

拡大/縮小表示は入力ソースを切り替えたり、プロジェクターの電源を切ったりしても維持されます。

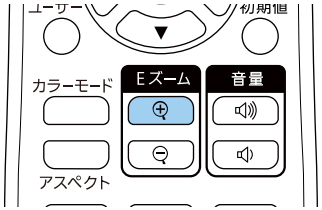


関連項目

- 「映像を拡大表示する」 p.69
- 「映像を縮小表示する」 p.69

映像を拡大表示する

1 リモコンの【Eズーム】（+）ボタンを押します。



映像の中央を中心にして、拡大表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。

2 拡大された映像を調整するには、倍率が表示されている間にリモコンの以下のボタンを使用します。

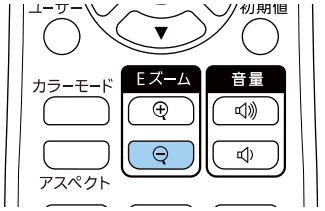
- ズームイン：【Eズーム】（+）ボタンを繰り返し押します。
- ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ズームアウト：【Eズーム】（-）ボタンを押します。
- ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。

エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】（+）ボタンを使って、1～8倍まで、57段階で拡大できます。

一定時間が経過すると、倍率表示が消えて表示倍率、表示位置が保存されます。再度調整するときは、【Eズーム】（+/-）ボタンを押します。

映像を縮小表示する

1 リモコンの【Eズーム】（-）ボタンを押します。



映像が縮小表示されます。100%から50%まで、段階的に縮小できます。

2 縮小された映像を調整するには、倍率が表示されている間にリモコンの以下のボタンを使用します。

- ズームアウト：【Eズーム】（-）ボタンを繰り返し押します。
- ズームアウトエリアの移動：ズームアウト中に上下左右ボタンを押すと、縮小された映像を移動できます。
- ズームイン：【Eズーム】（+）ボタンを押します。
- ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。

映像を拡大・縮小する（Eズーム）

エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】（-）ボタンでも縮小表示できます。

一定時間が経過すると、倍率表示が消えて表示倍率、表示位置が保存されます。再度調整するときは、【Eズーム】（+/-）ボタンを押します。

ユーザーロゴを設定する

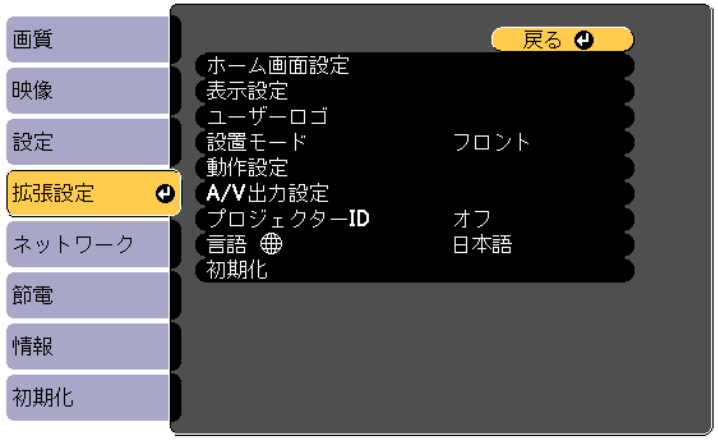
プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。この画像は、入力信号が未検出のときにも表示できます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。

- ［パスワードプロテクト］設定で［ユーザーロゴ保護］を［オン］にしているときは、［オフ］にしてからユーザーロゴを設定してください。
- 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。

1 ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

2 【メニュー】ボタンを押し、［拡張設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。



3 ［ユーザーロゴ］＞［設定開始］の順に選択し、【決定】ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

［ユーザーロゴ］を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトなどの設定が、一時的に無効になります。

4 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。

5 表示されている画像を確認し、［はい］を選択して保存します。
ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

6 【戻る】ボタンを押して、メッセージを閉じます。

7 ［拡張設定］を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 ［表示設定］を選択し、【決定】ボタンを押します。

9 ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。

- 入力信号がないときに表示するには、［背景表示］を選択し、［ロゴ］に設定します。
  ☛［拡張設定］>［表示設定］>［背景表示］
- 本機の電源投入時に表示する：［スタートアップスクリーン］を［オン］に設定します。
  ☛［拡張設定］>［表示設定］>［スタートアップスクリーン］
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示する：［A/Vミュート］を［ロゴ］に設定します。
  ☛［拡張設定］>［表示設定］>［A/Vミュート］

ユーザーロゴが変更されることを防ぐには、［パスワードプロテクト］設定画面で［ユーザーロゴ保護］を［オン］にしてパスワードを設定してください。

関連項目

- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.67
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.78

ユーザーパターンを登録する

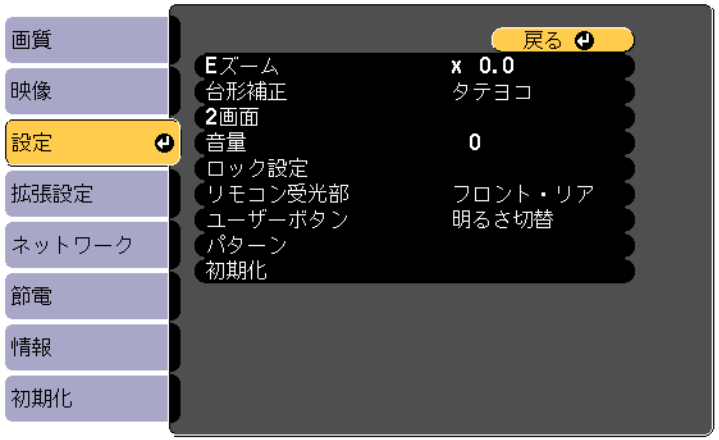
本機には罫線や格子など4種類のパターン映像が登録されています。投写中に［パターン表示］を選択して、これらのパターン映像を投写できます。

また、現在表示している映像をユーザーパターンとして登録することもできます。

ユーザーパターンは、一度登録すると初期設定には戻せません。

1 ユーザーパターンとして登録したい映像を投写し、操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 ［設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。



3 ［パターン］＞［ユーザーパターン］の順に選択し、【決定】ボタンを押します。

投写した画像をユーザーパターンとして使用するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

- ［ユーザーパターン］を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトで調整した設定は一時的に無効になります。
- HDCPで保護されたデジタル映像は、 ユーザーパターンとして登録できません。

4 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。

5 【決定】ボタンを押します。

画像をユーザーパターンとして保存するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

6 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。

終了メッセージが表示されます。

複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで調整するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明度と色合いを調整します。

- 補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- 時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

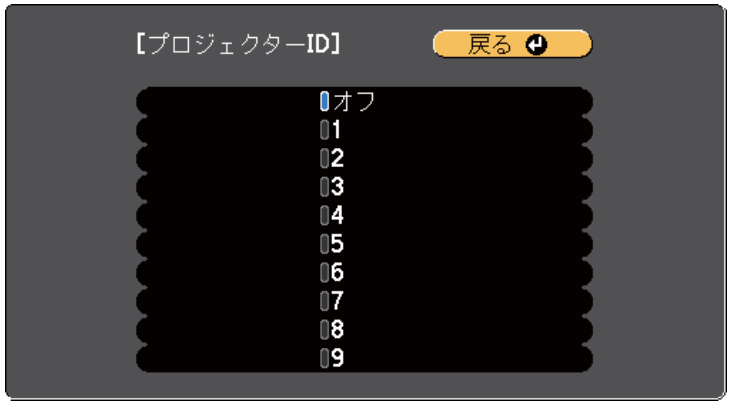
関連項目

- 「プロジェクターIDの設定」 p.74
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.74
- 「複数のプロジェクターの映像品質を合わせる」 p.75

プロジェクターIDの設定

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意のIDを指定します。

1. 【メニュー】ボタンを押し、［拡張設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。
2. ［プロジェクターID］を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。【決定】ボタンを押します。

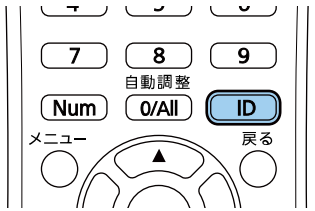


4. 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。
5. リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

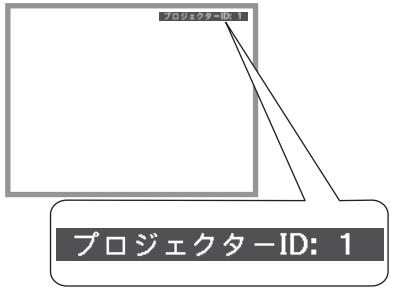
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

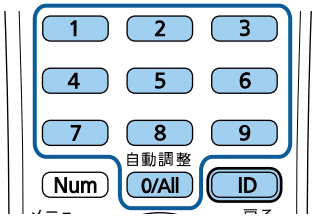
1 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



2 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

- 【0/All】を選択したときは、［プロジェクターID］の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ［プロジェクターID］を［オフ］に設定しているときは、リモコンで選択したIDに関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- プロジェクターIDはリモコンに記憶され、電池交換などでリモコンから電池を取り外しても残ります。ただし、長期間電池を取り外したままにすると、IDは初期値（0/All）に戻ります。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。

複数のプロジェクターの映像品質を合わせる

本機を複数台並べて投写するときの、それぞれの映像の色合いを合わせます。

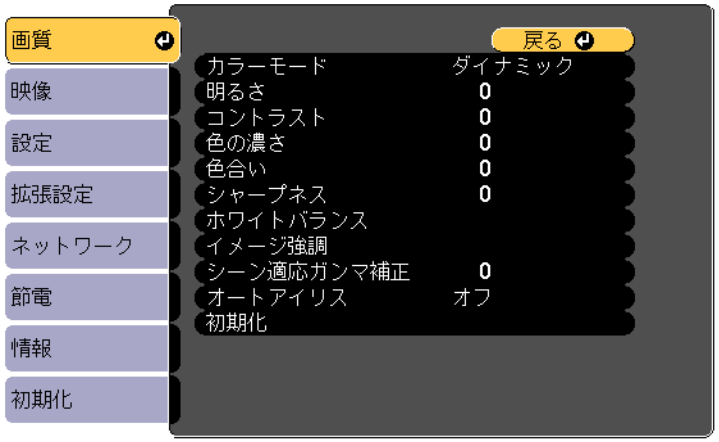
1 映像品質を合わせたいすべてのプロジェクターの電源を入れます。

2 各プロジェクターにID番号を設定します。

3 各プロジェクターのカラーモードが同じ設定であることを確認します。

4 1台目のプロジェクターのIDを選択して、リモコン操作を有効にします。

5 【メニュー】ボタンを押し、［画質］メニューを選択して、【決定】ボタンを押します。



6 必要に応じて、映像品質を調整します。

7 2台目以降のプロジェクターのIDを選択して、1台目と映像品質が一致するように画質メニューで調整します。

以下のセキュリティー機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- パスワードプロテクト：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。

  本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- 操作ボタンロック：操作パネルのボタン操作をできないようにします。

  イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- セキュリティーケーブル：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

関連項目
- 「パスワードプロテクトの種類」 p.77
- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 p.80
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.81

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、次の種類の操作制限をします。

- ［電源投入時］：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。［ダイレクトパワーオン］および［オートパワーオン］機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- ［ユーザーロゴ保護］：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のとき、A/Vミュート時などに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- ［ネットワーク保護］：［ネットワーク］メニューの設定を変更できないようにします。

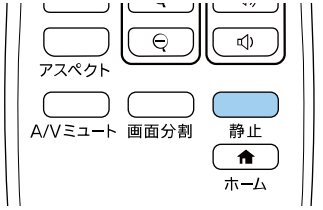
関連項目
- 「パスワードの設定」 p.77
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.78
- 「パスワードを入力する」 p.79
- 「機能一覧表」 p.10

パスワードの設定

初めて本機を使用するときは、パスワードを設定します。

デフォルトのパスワードは設定されていません。新たにパスワードを設定する必要があります。

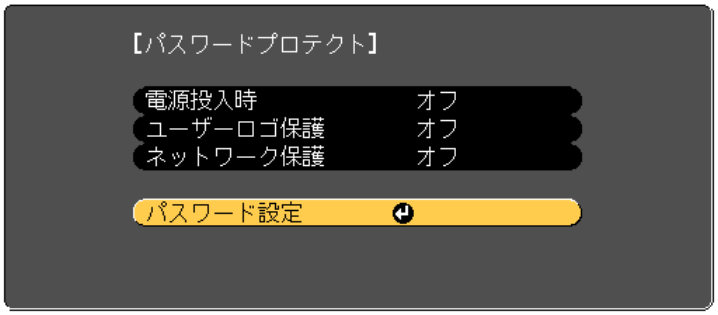
1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。



パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

- パスワードが設定されていないときは、［パスワードプロテクト］設定メニューが表示される前にパスワードの設定を求められます。
- すでに［パスワードプロテクト］が有効になっているときは、［パスワードプロテクト］設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

2 ［パスワード設定］を選択して【決定】ボタンを押します。

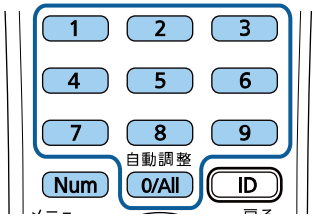


「パスワードを変更しますか？」というメッセージが表示されます。

3 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。

［いいえ］を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

4 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

5 パスワードを再入力します。

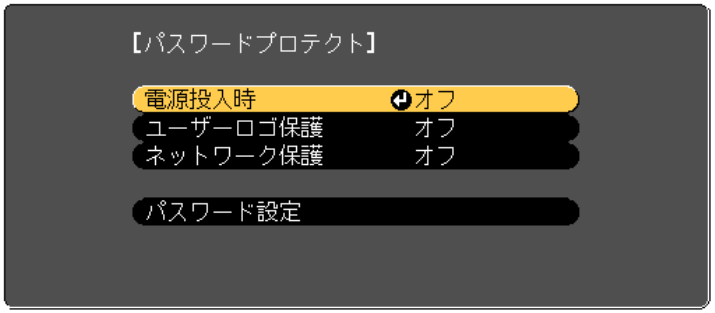
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

6 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

7 パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されない場合は、メニューが表示されるまで5秒間ほどリモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

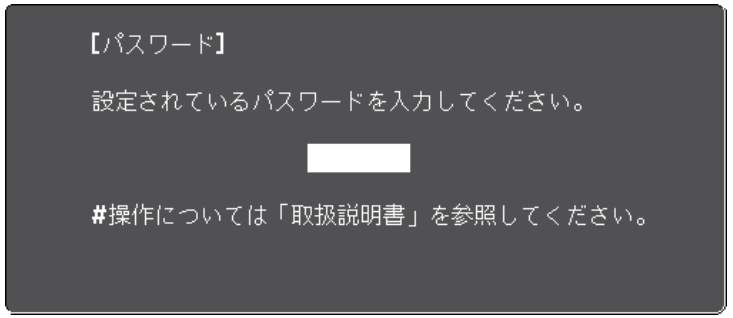
- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時]を[オン]に設定します。
- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護]を[オン]に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。

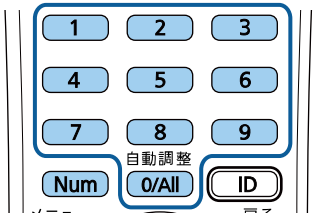
リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

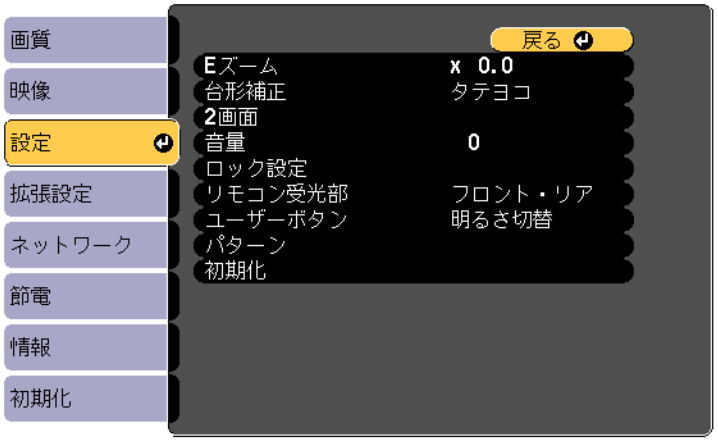
- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを差し直してから、本機の電源を入れてください。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「［問い合わせコード］:xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。

操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 ［設定］を選択して、【決定】ボタンを押します。



3 ［ロック設定］＞［操作ボタンロック］の順に選択し、【決定】ボタンを押します。

4 ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ［全ロック］：操作パネルのすべてのボタンをロックします。
- ［操作ロック］：電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。

確認メッセージが表示されます。

5 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。
［操作ボタンロック］の設定が有効になります。

関連項目

- 「操作ボタンロックを解除する」 p.81

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- ［設定］メニューの［操作ボタンロック］を［オフ］に設定します。
  ☛ ［設定］ > ［ロック設定］ > ［操作ボタンロック］

関連項目

- 「設定メニュー」 p.107

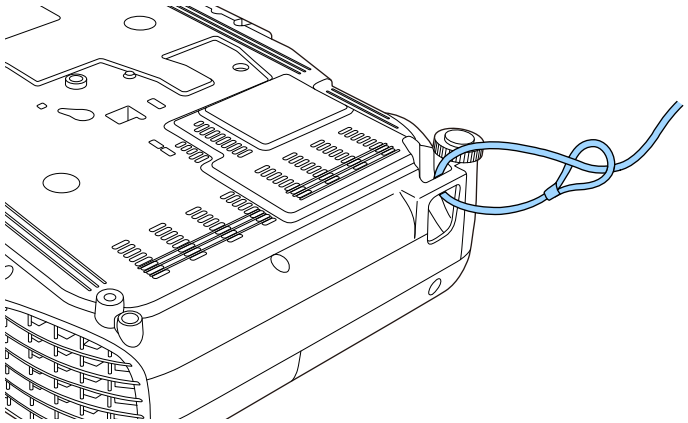
セキュリティーケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティーケーブルを本機に取り付けることができます。

- Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムを本機のセキュリティースロットに取り付けます。

> マイクロセーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington社のWebサイトをご覧ください。
> https://www.kensington.com/

- ワイヤーケーブルを、本機のセキュリティーケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



> 市販の盗難防止用ワイヤーロックを使用できます。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

⏩ 関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.83

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットをプロジェクターに取り付けて、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です。

［ネットワーク］メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

無線LANユニットの取り付けとプロジェクターのネットワーク設定が終わったら、Webサイトからネットワークソフトウェアをインストールします。無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。
- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

  Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

  Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

［Web制御パスワード］が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

関連項目

- 「無線LANユニットを取り付ける」 p.83
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 p.84
- 「Windowsで無線LANを設定する」 p.87
- 「Macで無線LANを設定する」 p.87
- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 p.87
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 p.88
- 「USBキーを使って接続する（Windowsのみ）」 p.89
- 「機能一覧表」 p.10

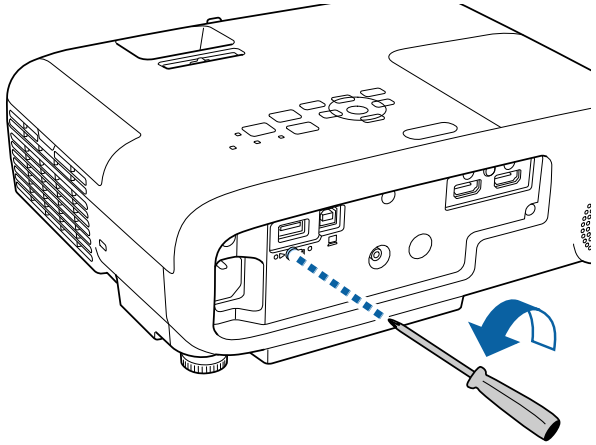
無線LANユニットを取り付ける

無線LAN経由でプロジェクターを使用するときは、無線LANユニットを取り付けます。エプソン純正の無線LANユニット以外は取り付けないでください。

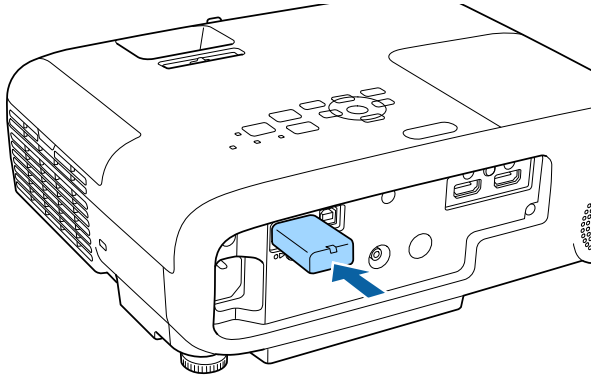
注意

無線LANユニットのインジケーターが青色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因となります。

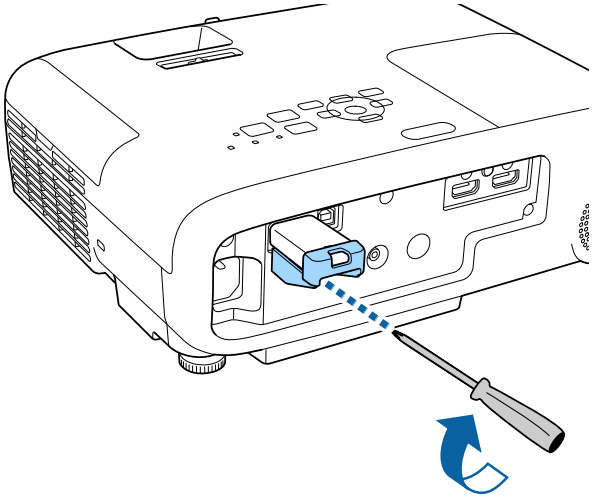
1 無線LANユニットカバーの固定ネジを+のドライバーで外します。



2 USB-A端子に無線LANユニットを取り付けます。



3 無線LANユニットカバーを取り付けて、固定ネジを締めます。



関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

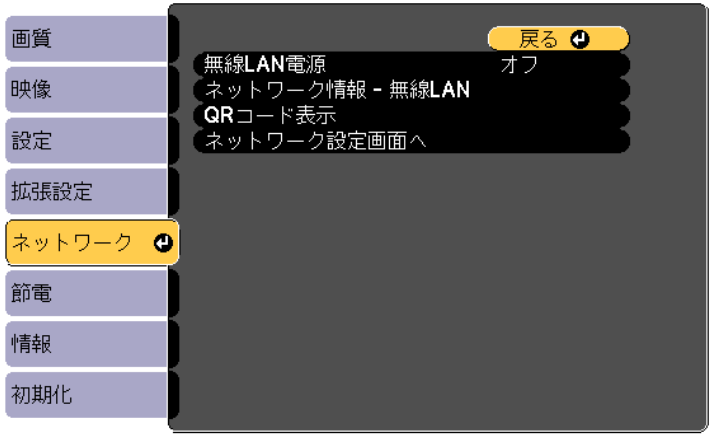
プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由で映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

本機の電源がオフの場合でも無線LANを使用することができます。使用する場合は、本手順で無線LANの設定をしてから［拡張設定］メニューで［A/V出力設定］の［A/V出力］を［常時］に設定するか、［節電］メニューで［待機モード］を［通信オン］に設定してください。

- ［拡張設定］ > ［A/V出力設定］ > ［A/V出力］
- ［節電］ > ［待機モード］

1 【メニュー】ボタンを押し、［ネットワーク］を選択して、【決定】ボタンを押します。



2 ［無線LAN電源］を［オン］に設定します。

3 ［ネットワーク設定画面へ］を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 ［基本設定］を選択し、【決定】ボタンを押します。



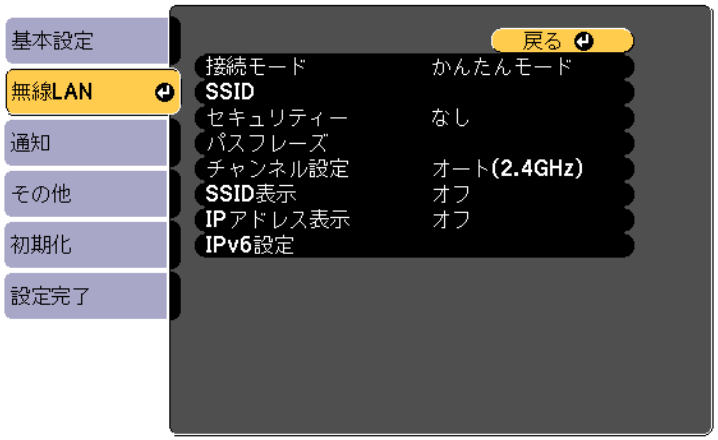
5 必要に応じて以下を設定します。

- ［プロジェクター名］：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- ［Remoteパスワード］：ベーシックコントロール機能で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以上32文字以内で入力します。（ユーザー名はEPSONREMOTEです。デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- ［Web制御パスワード］：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以上32文字以内で入力します。（ユーザー名はEPSONWEBです。デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- ［Monitorパスワード］：Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを監視したりするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で16文字以内で入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- ［モデレーターパスワード］：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- ［プロジェクターキーワード］：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- ［キーワード通知］：Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

- ［LAN情報表示］：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

6 ［無線LAN］を選択し、【決定】ボタンを押します。



7 ［接続モード］を選択します。

- ［かんたんモード］：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターとワイヤレスに直接接続できます。
- ［マニュアルモード］：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。

8 ［マニュアルモード］を選択した場合は［アクセスポイント検索］を行って、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。

手動でSSIDを割り当てるときは［SSID］を選択して、SSIDを入力します。

9 ［マニュアルモード］の場合は、必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、［IP設定］を選択し、［DHCP］を［オン］にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、［IP設定］を選択し、［DHCP］を［オフ］にして、プロジェクターの［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、［IPv6設定］を選択し、［IPv6］を［オン］にして、［自動構成］、［一時アドレスの使用］を設定します。

10 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面およびホーム画面に表示されないようにするには、［SSID表示］または［IPアドレス表示］を［オフ］に設定します。

11 設定が終わったら、［設定完了］を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

［Web制御パスワード］が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

12 リモコンの【LAN】ボタンを押します。
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。

2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

3 ［接続］をクリックします。

Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

1 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。

2 マニュアルモードで接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

無線LANのセキュリティーを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティーを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティーを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティー *
- WPA3-PSKセキュリティー **
- WPA2/WPA3-PSKセキュリティー **

* かんたんモードで接続しているときのみ

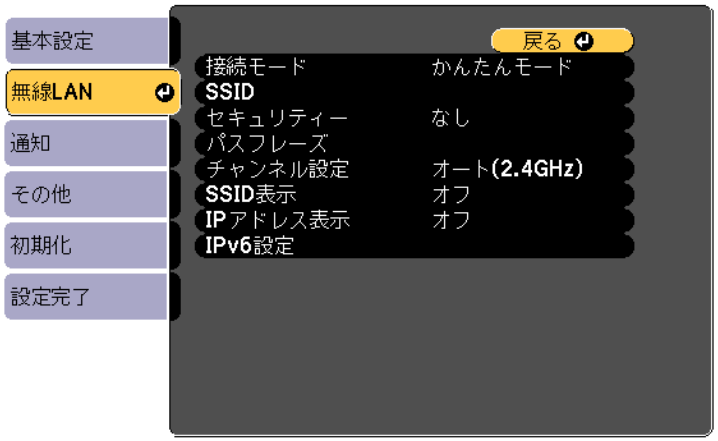
** マニュアルモードで接続しているときのみ

無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

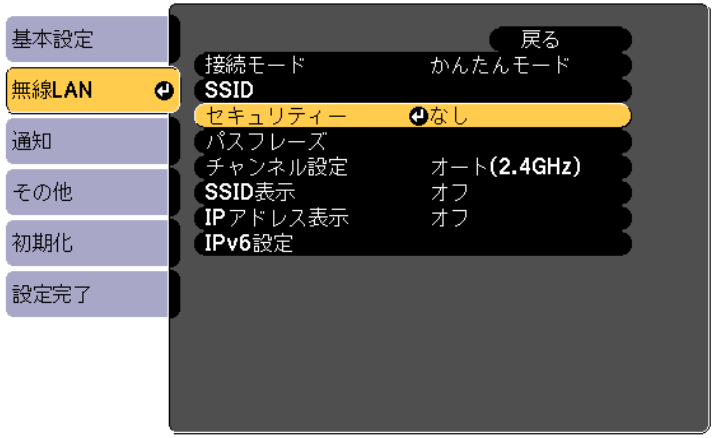
1 【メニュー】ボタンを押し、［ネットワーク］を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 ［ネットワーク設定画面へ］を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 ［無線LAN］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 ［セキュリティー］を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 無線LANの設定に合わせて、セキュリティーを設定します。

6 ［パスフレーズ］を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

7 設定が終わったら、［設定完了］を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

関連項目

- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 p.114

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。

- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。

1 リモコンの【LAN】ボタンを押します。
QRコードが投写画面に表示されます。

- QRコードが表示されないときは、［ネットワーク］メニューの［LAN情報表示］を［テキストとQRコード］に設定します。
  ☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［基本設定］>［LAN情報表示］
- QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。

2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。

3 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。

投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、☰から［コンテンツ］メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

USBキーを使って接続する（Windowsのみ）

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続します。USBキーを使うと、お使いのコンピューターの無線LAN設定を自動で選択し、ワイヤレスに映像を投写できます。

1 Epson iProjection (Windows)でUSBキーを設定します。

詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

2 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられているか確認します。

3 本機の電源を入れます。

4 リモコンの【LAN】ボタンを押します。
LAN待機画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。

5 次のいずれかの方法でUSBキーを接続します。
- USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に接続します。（無線LANユニット内蔵機種）
- 無線LANユニットを取り外して、USBキーを接続します。（オプションの無線LANユニット装着機種）

ネットワーク情報の更新が始まり、完了したことを通知するメッセージが表示されます。

6 USBキーを取り外します。
無線LANユニットを取り外したときは、再度無線LANユニットを取り付けます。（オプションの無線LANユニット装着機種）

7 コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。

8 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。

- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、［はい］をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の［MPPLaunch.exe］をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

9 投写が終了したら、Windowsタスクバーの［ハードウェアの安全な取り外し］を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。

USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

関連項目

- 「Epson Projector Management Connected / Epson Projector Management」 p.92
- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 p.93
- 「メールでプロジェクターの異常を通知する」 p.97
- 「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 p.99
- 「Web API」 p.100

Epson Projector Management ConnectedとEpson Projector Managementは、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態を監視したり、制御するためのソフトウェアです。

Epson Projector Management Connectedはプロジェクター情報をクラウドサーバー上で管理するため、どんなデバイスからでも遠隔で監視・制御が可能です。

Epson Projector ManagementはWindows専用ソフトウェアで、コンピューターから同一ネットワーク内のプロジェクターの監視・制御が可能です。

お客様の使用環境や使用目的に応じていずれかをお選びください。

Epson Projector Management Connectedをご使用の場合は、Epson Projector Connected Agentのインストールが必要です。詳しくは以下Webサイトにアクセスしてご確認ください。

https://www.projection-service.epson.com/epm-connected/



プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。

- Ver.5.30またはそれ以前： Monitorパスワード
- Ver.5.40またはそれ以降： Web制御パスワード

最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［その他］

Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する

コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。

- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、［マニュアルモード］で接続してください。
- 以下のWebブラウザーを使用できます。
  - Microsoft Edge（Windows）
  - Safari（Mac、iOS）
  - Chrome（Android）
- お使いのWebブラウザーで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザーからは設定できない項目があります。
- ［待機モード］を［通信オン］に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザーを使って設定や制御ができます。

  ☛ ［節電］ > ［待機モード］

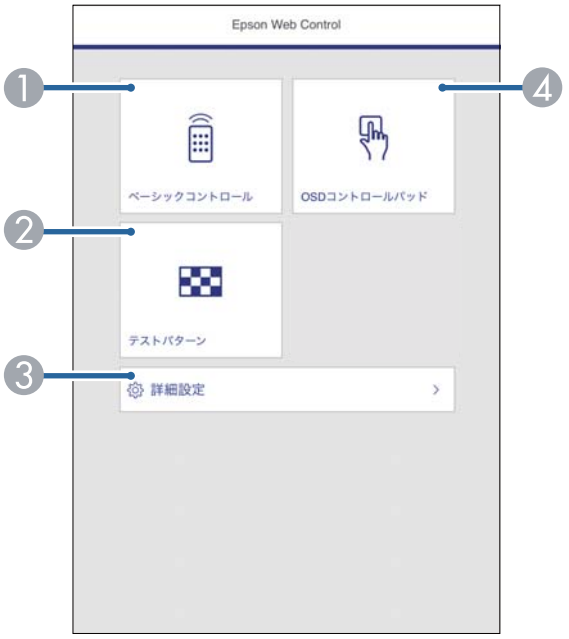
1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

3 お使いの機器でWebブラウザーを起動します。

4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[ ]で囲んで入力します。

Epson Web Control画面が表示されます。



❶ 本機をリモート操作します。
❷ テストパターンを表示します。
❸ 本機の詳細設定をします。
❹ 指やマウスで本機のメニューを操作します。

5 操作したい項目を選択します。

［Epson Web Control］画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。あらかじめ以下のパスワードを設定してください。

- ［ベーシックコントロール］にアクセスするときは、ユーザー名**EPSONREMOTE**と［Remoteパスワード］を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）

  ［ネットワーク］メニューで［ベーシックコントロール］を［オン］にして、パスワードを設定してください。

  ☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［その他］>［ベーシックコントロール］
- その他の画面にアクセスして設定を保存するときは、ユーザー名 **EPSONWEB**と［Web制御パスワード］を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）

  ［ネットワーク］メニューでパスワードを設定してください。

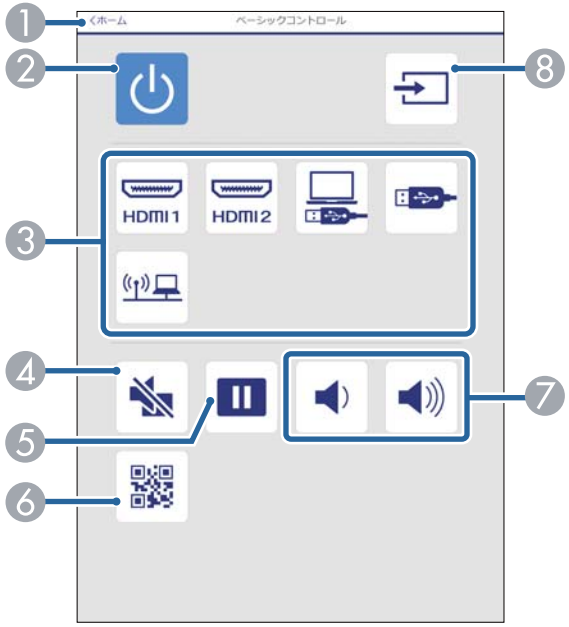
  ☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［基本設定］>［Web制御パスワード］

関連項目

- 「Web Controlのオプション設定」 p.94
- 「節電メニュー」 p.120
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.113
- 「機能一覧表」 p.10

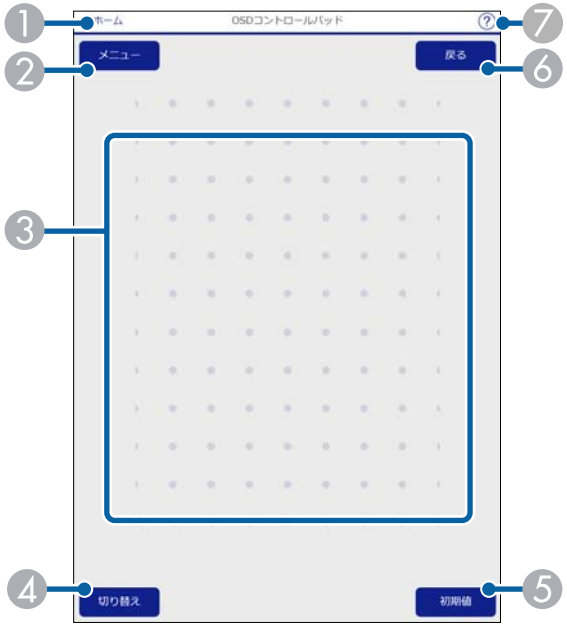
Web Controlのオプション設定

ベーシックコントロール



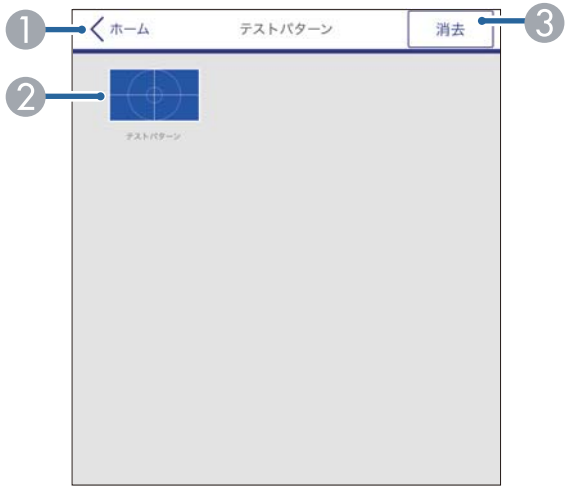
1. Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
2. 本機の電源をオン/オフします。
3. 入力ソースを選択します。
4. 映像と音声を一時的に遮断します。
5. 映像を一時停止/解除します。
6. QRコードを表示します。
7. スピーカーの音量を調整します。
8. 映像の入力を検出します。

OSDコントロールパッド



1. Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
2. 本機のメニューを表示します。
3. 指やマウスでメニューを操作します。
4. 操作方法をボタン操作に切り替えます。
5. 選択した設定を初期値に戻します。
6. 前のメニュー項目に戻ります。
7. ヘルプを表示します。

テストパターン



1. Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
2. 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
3. テストパターンの表示を終了します。

［詳細設定］



❶ メニューを開きます。
❷ 選択しているメニュー名を表示します。
❸ 本機の設定をします。
❹ 本機の設定をロックまたはアンロックします。
❺ 本機の設定を更新します。

以下の項目はWebブラウザーでは変更できません。

- ユーザーボタン
- ユーザーロゴ
- HDMI EQ設定
- 言語
- ランプ点灯時間初期化

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

メールでプロジェクターの異常を通知する

プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

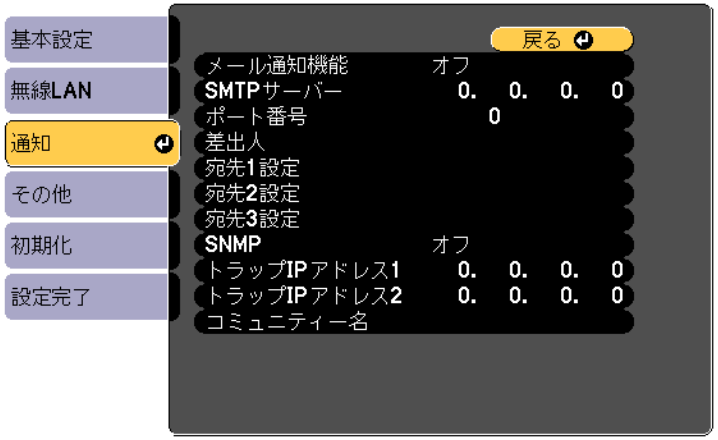
［待機モード］を［通信オン］に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、通知メールを送信できます。

☛ ［節電］ > ［待機モード］

1 【メニュー】ボタンを押し、［ネットワーク］を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 ［ネットワーク設定画面へ］を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 ［通知］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 ［メール通知機能］を［オン］に設定します。

5 ［SMTPサーバー］にIPアドレスを入力します。

127.x.x.xのIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

6 ［ポート番号］にSMTPサーバーのポート番号を1～65535の数値で入力します（デフォルトは25）。

7 送信者として表示されるメールアドレスを［差出人］に入力します。

8 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。

メールアドレスは半角英数字64文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

9 設定が終わったら、［設定完了］を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

関連項目

- 「異常通知メールの見方」 p.97
- 「節電メニュー」 p.120
- 「機能一覧表」 p.10

異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- メール差出人： ［差出人］のメールアドレス
- メール件名： ［Epson Projector］

メールでプロジェクターの異常を通知する

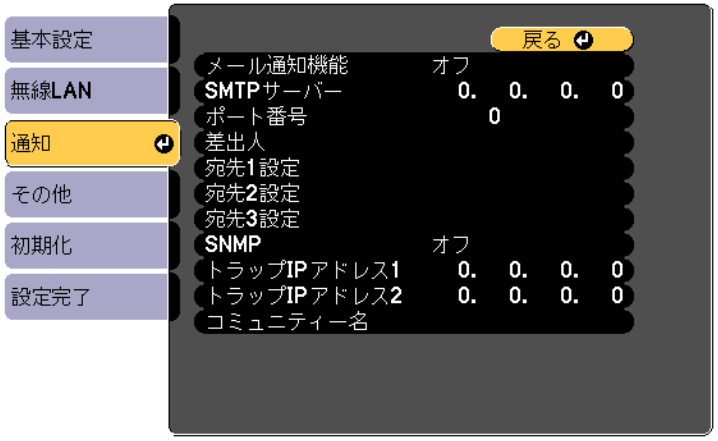
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容

コンピューターにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

1 【メニュー】ボタンを押し、［ネットワーク］を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 ［ネットワーク設定画面へ］を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 ［通知］を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 ［SNMP］を［オン］にします。

5 SNMPの［コミュニティー名］を半角英数字32文字以内で入力します。

6 トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。

以下のアドレスは使用できません。224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）。本機のSNMPエージェントはバージョン1（SNMPv1）に対応しています。

7 設定が終わったら、［設定完了］を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。

- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は **EPSONWEB**、パスワードは［Web制御パスワード］で設定されているパスワードを入力してください。
  ☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［基本設定］>［Web制御パスワード］

関連項目
- 「Web APIを有効にする」 p.100
- 「機能一覧表」 p.10

Web APIを有効にする

Web APIはプロジェクターのメニューから有効にできます。

1. 【メニュー】ボタンを押し、［ネットワーク］を選択して、【決定】ボタンを押します。
2. ［ネットワーク設定画面へ］を選択し、【決定】ボタンを押します。
3. ［その他］を選択して【決定】ボタンを押します。
4. ［Web API設定］を選択します。
5. ［Web API］を［オン］にします。
6. 設定が終わったら、［設定完了］を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

メニューの設定

プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

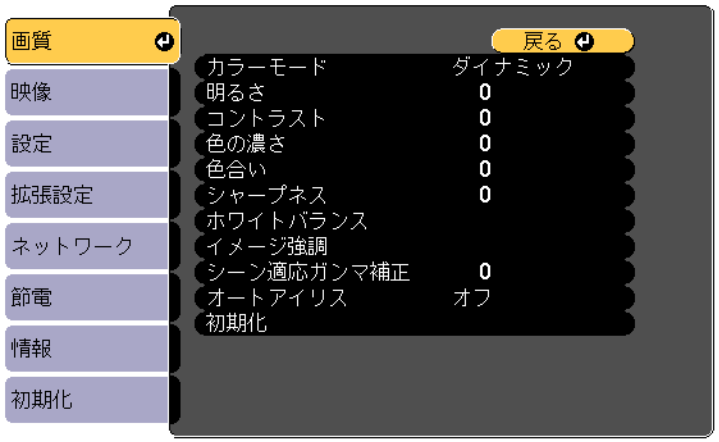
関連項目

- 「プロジェクターメニューを操作する」 p.102
- 「ソフトキーボードを操作する」 p.103
- 「画質メニュー」 p.104
- 「映像メニュー」 p.106
- 「設定メニュー」 p.107
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「ネットワークメニュー」 p.112
- 「節電メニュー」 p.120
- 「情報メニュー」 p.122
- 「初期化メニュー」 p.125
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 p.126

プロジェクターメニューを操作する

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
［画質］メニューが表示されます。



2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。

> 現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

3 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。

4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。

5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。

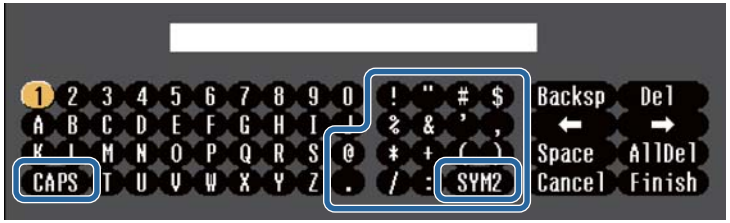
6 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、［初期化］を選択します。

7 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。

8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



CAPSキーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。
SYM1/2キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

2 テキストの入力後、キーボードのFinishを選択して入力を確定します。Cancelを選択すると、テキストの入力を取り消します。

コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

関連項目

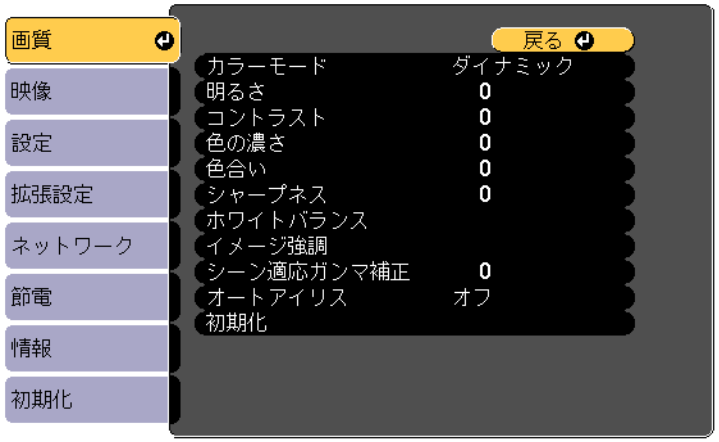
- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 p.103
- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 p.93

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~

［画質］メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。
ホワイトバランス		映像全体の色合いを調整します。

設定	選択肢	説明
	色温度	［色温度］：選択したカラーモードに応じて設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	カスタム	［カスタム］：R（赤）、G（緑）、B（青）の各色ごとにオフセットとゲインを調整します。
イメージ強調		映像全体の鮮やかさを調整します。
	ノイズリダクション	［ノイズリダクション］：アナログ映像のざらつきを抑えます。
	プログレッシブ変換（インターレース信号[480i/576i/1080i]入力時）	［プログレッシブ変換］：インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 • ［オフ］：動きの速いビデオ映像に適しています。 • ［ビデオ］：一般のビデオ映像に適しています。 • ［フィルム/オート］：映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。
シーン適応ガンマ補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。コントラストを強調したいときは、大きい値を選択します。
オートアイリス	オフ 標準 高速	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。
初期化	—	選択されているカラーモードの［画質］メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

［明るさ］の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさを変更するには、［節電］メニューで［明るさ切替］を設定します。

関連項目

- 「カラーモードの種類」 p.55
- 「機能一覧表」 p.10

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



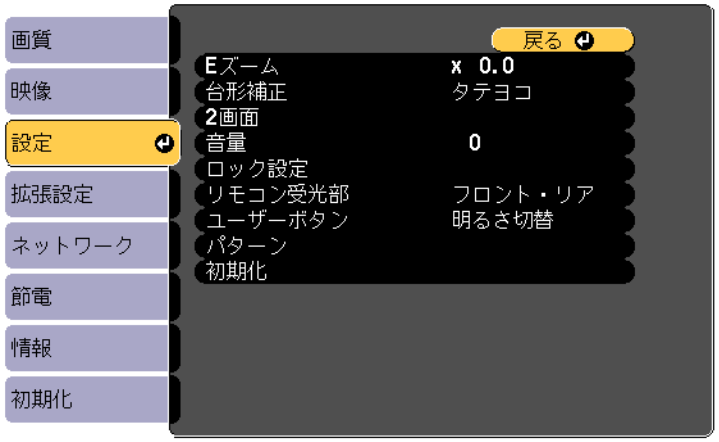
設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
アドバンスト	ビデオレンジ	ビデオレンジ：HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。
初期化	—	[映像]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

関連項目

- 「アスペクトモードの種類」 p.53
- 「機能一覧表」 p.10

［設定］メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
Eズーム	レベル調整	投写映像のサイズを調整します。
台形補正		投写画面のゆがみを補正します。
	タテヨコ	［タテ補正］：縦方向のゆがみを補正します。 ［ヨコ補正］：横方向のゆがみを補正します。 ［自動タテ補正］：縦方向の自動補正のオン/オフを設定します。（［自動タテ補正］対応機種のみ） ［スライド式ヨコ補正］：［スライド式ヨコ補正］のオン/オフを設定します。（ヨコ補正スライダー搭載機種のみ）
	Quick Corner	［Quick Corner］：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。

設定	選択肢	説明
2画面	画面サイズ 入力ソース 左右画面入替 音声切替 配置 QRコード表示 2画面終了	投写画面を分割し、2つの映像を横に並べて表示します。（【戻る】ボタンを押すと、2画面表示を終了します。）
音量	レベル調整	本機のスピーカーの音量を調整します。 また、外部スピーカーの音量も調整できます。 設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
ロック設定	操作ボタンロック	プロジェクターのボタン操作制限を設定します。 ［全ロック］：すべてのボタンをロックします。 ［操作ロック］：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 ［オフ］：ボタンをロックしません。
リモコン受光部	オン フロント/リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。［オフ］にすると、リモコンからの操作ができなくなります。 選択できる項目は、搭載されているリモコン受光部の数によって異なります。

設定	選択肢	説明
ユーザーボタン	明るさ切替 情報 プログレッシブ変換 テストパターン パターン表示 QRコード表示	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。 ［QRコード表示］はネットワーク対応機種のみ有効です。
パターン		パターン表示に関する設定をします。 **注意** 長時間パターンを表示していると投写映像に残像が現れることがあります。
	パターン表示	［パターン表示］：投写画面にパターン映像を表示させます。
	パターン種類	［パターン種類］：パターン1~4と、［ユーザーパターン］の5種類が選べます。パターン1～4には、罫線や格子などのパターンが登録されています。
	ユーザーパターン	［ユーザーパターン］：現在投写している映像を、パターン映像として登録します。
	テストパターン	［テストパターン］：機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと表示を終了します。）

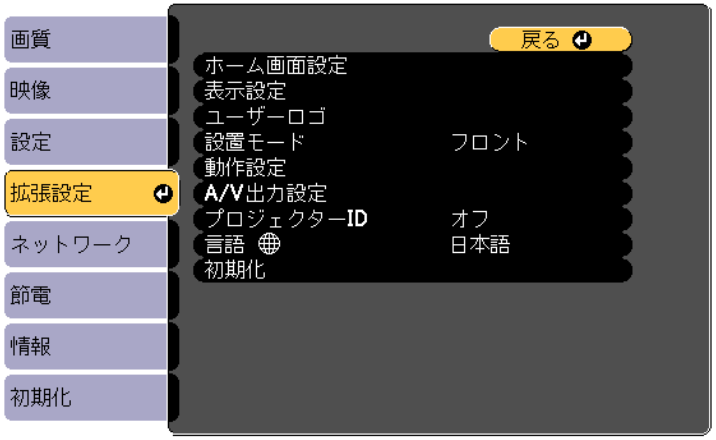
設定	選択肢	説明
初期化	—	［設定］メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 • ［Eズーム］ • ［ユーザーボタン］

関連項目

• 「機能一覧表」 p.10

拡張設定メニュー

［拡張設定］メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
ホーム画面設定		ホーム画面の表示オプションを選択します。
	ホーム画面自動表示	［ホーム画面自動表示］：本機を起動したとき入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示するかしないかを選択します。
	カスタム機能1 カスタム機能2	［カスタム機能1］/［カスタム機能2］：よく使う機能や設定メニューをホーム画面に割り当てます。
表示設定		表示に関する設定をします。
	メッセージ表示	［メッセージ表示］：［オン］にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。メッセージを表示させたくないときは［オフ］を選択します。
	背景表示	［背景表示］：映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色、またはロゴ表示を選択します。
	スタートアップスクリーン	［スタートアップスクリーン］：［オン］にすると、投写開始時にユーザーロゴ、またはEPSONロゴを表示します。
	A/Vミュート	［A/Vミュート］：A/Vミュート時に表示する画面の背景色またはロゴ表示を選択します。
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティー向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定		本機の動作に関する設定をします。
	ダイレクトパワーオン	［ダイレクトパワーオン］：電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。
	高地モード	［高地モード］：標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。
	自動入力検出	［自動入力検出］：［オン］にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。

設定	選択肢	説明
	オートパワーオン	［オートパワーオン］：本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 以下の入力ソースに対応しています。 • HDMI1 • USB Display
	起動条件	［オートパワーオン］が［HDMI1］に設定されているときの本機の起動方法を設定します。 ［接続検出］：接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 ［信号検出］：HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 ［信号検出］に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。
	USB給電	［常時オン］に設定すると、本機が映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けます。 ［常時オン］に設定すると待機電力が上がります。

設定	選択肢	説明
	HDMI EQ設定	［HDMI EQ設定］：HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。 スティック型端末を接続して映らないときは、設定を［1］に変更してください。
	アドバンスト	［ログ保存先］：エラーログや操作ログの保存先を設定します。（USB-A端子搭載機種のみ） ［一括設定範囲］：一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは［すべて］を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは［一部］を選択します。 • ［パスワードプロテクト］設定 • ［ネットワーク］メニュー
A/V出力設定	A/V出力	［常時］に設定すると、本機がスタンバイ状態のときも、外部機器に音声と映像を出力します。
プロジェクターID	オフ 1～9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときに使う本機のIDを設定します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。

設定	選択肢	説明
初期化	—	［拡張設定］メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 • ［ユーザーロゴ］ • ［設置モード］ • ［高地モード］ • ［自動入力検出］ • ［USB給電］ • ［HDMI EQ設定］ • ［A/V出力］ • ［プロジェクターID］ • ［言語］

［パスワードプロテクト］で［ユーザーロゴ保護］を［オン］にすると、ユーザーロゴに関する設定（［表示設定］メニューの［背景表示］、［スタートアップスクリーン］、［A/Vミュート］）は変更できません。事前に［ユーザーロゴ保護］を［オフ］に設定します。

関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.78
- 「機能一覧表」 p.10

［ネットワーク］メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

ネットワーク対応機種のみ有効です。

［パスワードプロテクト］で［ネットワーク保護］を［オン］にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に［ネットワーク保護］を［オフ］に設定します。



［Web制御パスワード］が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

設定	選択肢	説明
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN接続を設定します。 無線LAN経由で映像を投写するには［オン］を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐためにオフに設定してください。

設定	選択肢	説明

ネットワーク情報-無線LAN	接続モード
	無線LAN方式
	アンテナレベル
	プロジェクター名
	SSID
	DHCP
	IPアドレス
	サブネットマスク
	ゲートウェイアドレス
	MACアドレス
	地域コード
	IPv6
		無線LANのステータス、詳細情報を表示します。（無線LAN対応機種のみ。）
		［無線LAN電源］を［オン］に設定しているときのみ有効です。
		以下の項目は、［IPv6］を選択しているときに表示されます。
		• IPv6アドレス(手動)
		  • IPv6アドレス
		  • プレフィックス長
		  • ゲートウェイアドレス
		• IPv6アドレス(自動)
		  • 一時アドレス
		  • リンクローカルアドレス
		  • ステートレスアドレス
		  • ステートフルアドレス

QRコード表示	—	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。

コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。

関連項目

- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.113
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 p.114
- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 p.116

- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 p.117
- 「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 p.118
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.78
- 「機能一覧表」 p.10

ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

［基本設定］メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［基本設定］



設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (" * + , / : ; < = > ? [\ ] ` | スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。

設定	選択肢	説明
Remoteパスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	ベーシックコントロール機能で本機の制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は**EPSONREMOTE**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
Web制御パスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は**EPSONWEB**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
Monitorパスワード	16文字以内の半角英数字 (@以外の記号とスペースは使用不可)	Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを制御・監視したりするときの認証用パスワードを設定します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。) Monitorパスワードはスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。 ［コマンド通信］を［互換］に設定したときのみ設定できます。 ☛［ネットワーク］>［ネットワーク設定画面へ］>［その他］
モデレーターパスワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)

設定	選択肢	説明
プロジェクターキーワード	オン オフ	［オン］にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
キーワード通知	オン オフ	［オン］にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。 ［プロジェクターキーワード］が［オン］のときに設定できます。
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。初期値は［テキストとQRコード］です。

関連項目

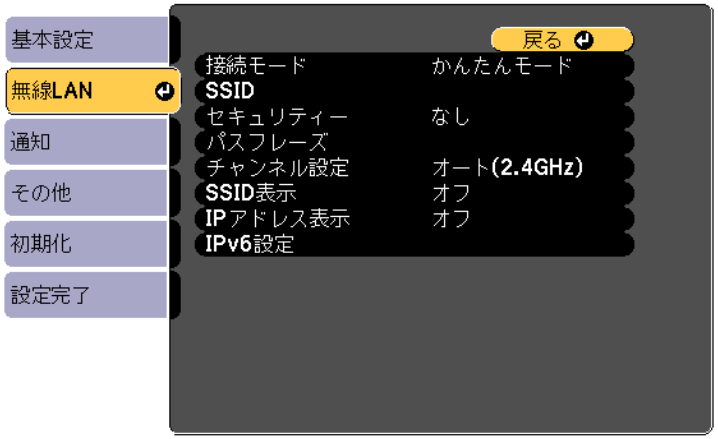
- 「機能一覧表」 p.10

ネットワーク設定 - 無線LANメニュー

［無線LAN］メニューでは、無線LANの設定ができます。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［無線LAN］

無線LAN対応機種のみ有効です。



設定	選択肢	説明
接続モード		接続モードを選択します。
	かんたんモード	［かんたんモード］：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターとワイヤレスに直接接続できます。 かんたんモードで接続すると、本機が簡易アクセスポイントになります。（プロジェクターに接続するコンピューターやタブレット端末の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなることがあります。）
	マニュアルモード	［マニュアルモード］：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。

設定	選択肢	説明
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するときに、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID（ネットワーク名）を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。
セキュリティー		無線LANの設定に合わせてセキュリティーの種類を選択します。 セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
	なし	セキュリティーを設定しません。
	WPA2-PSK	WPA2によるセキュリティーを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA3-PSK	WPA3によるセキュリティーを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA2/WPA3-PSK	WPA2/WPA3パーソナルモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。

設定	選択肢	説明
パスフレーズ	8〜32文字のパスフレーズ （Webブラウザーから入力する場合：8〜63文字のパスフレーズ）	セキュリティーの設定で［WPA2-PSK］、［WPA3-PSK］、または［WPA2/WPA3-PSK］を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスフレーズを入力します。 パスフレーズを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク（*）で表示されます。 セキュリティー強化のため、パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスフレーズは初期値に戻ります。
チャンネル設定	チャンネル選択	かんたんモードの無線通信で使用する周波数の帯域（チャンネル）を選択します。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	［DHCP］：DHCPを使用できるネットワークの場合は、［オン］にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、［オフ］にして、プロジェクターの［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません（xは0～255の数値）。255.255.255.255、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
SSID表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。
IPv6設定		IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときに設定します。
	IPv6	［IPv6］：IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、［オン］にします。 Epson Web Controlを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
	自動構成	［自動構成］：［オン］の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
	一時アドレスの使用	［一時アドレスの使用］：［オン］にすると、一時IPv6アドレスを使用します。

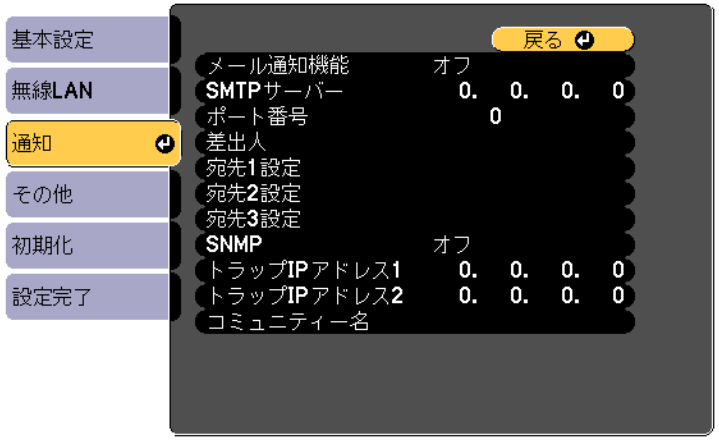
関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

ネットワークメニュー - 通知メニュー

［通知］メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［通知］



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	［オン］に設定すると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）。
ポート番号	1～65535（デフォルトは25）	SMTPサーバーのポート番号を選択します。
差出人	32文字以内の半角英数字 Webブラウザーからは64文字以内の半角英数字 (" ( ) , : ; < > [\ ] スペースは使用不可)	送信者のメールアドレスを入力します。 個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定		メールアドレスとメール通知する本機の異常/警告を選択します。宛先は3つまで設定できます。 個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。
SNMP	オン オフ	［オン］に設定すると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。

設定	選択肢	説明
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）。
コミュニティー名	32文字以内の半角英数字 （スペースと記号は使用不可）	SNMPコミュニティー名を入力します。

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

ネットワークメニュー - その他メニュー

［その他］メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［その他］



設定	選択肢	説明
コマンド通信		パソコンやコントローラーなど外部機器からネットワーク経由でプロジェクターとコマンド通信を行う際の認証方法を選択します。
	プロテクト	ダイジェスト認証を用いて［Web制御パスワード］で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。
	互換	［Monitorパスワード］（半角英数字16文字以内）を使って平文認証を行うときに選択します。 Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーと組み合わせるときは［互換］を選択してください。 ［Monitorパスワード］はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
Web API設定	Web API	Web APIでプロジェクターを制御するときは［オン］を選択します。
	認証タイプ	Web API通信を行うときの認証方法を選択します。 ［Open］：認証を設定しません。 ［Digest］：API認証（ダイジェスト認証）を使用します。 詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。
ベーシックコントロール	オン オフ	［Epson Web Control］の［ベーシックコントロール］で本機の制御をするときは、［オン］に設定します。
メッセージ配信	オン オフ	［オン］に設定すると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご確認ください。

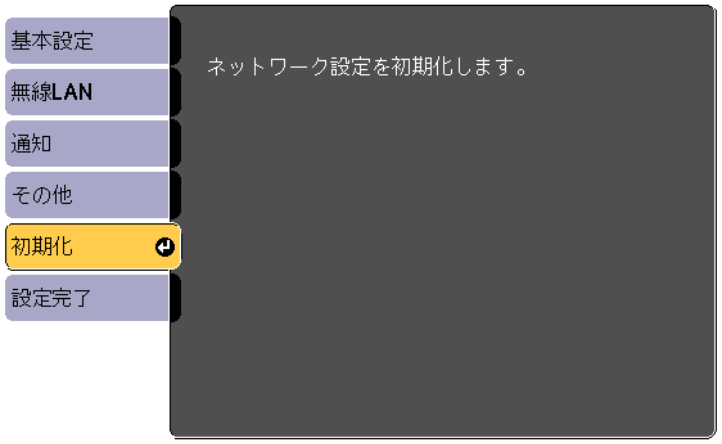
関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

ネットワークメニュー - 初期化メニュー

［初期化］メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［初期化］

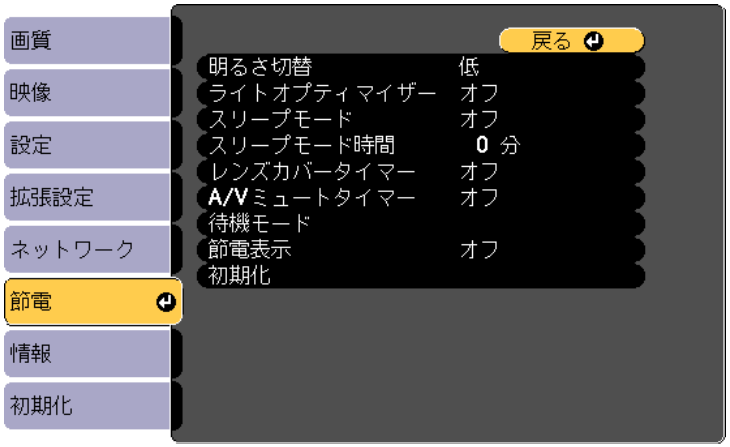


設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	［はい］を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。 **注意** 初期化を実行すると［ネットワーク］メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、［パスワードプロテクト］で［ネットワーク保護］を［オン］に設定してください。

節電メニュー

［節電］メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。

節電効果が有効な設定をしているときは、メニュー項目の横に葉っぱのアイコンが表示されます。



設定	選択肢	説明
明るさ切替	高 低	ランプの明るさを選択します。高地または高温になりやすい場所で本機をお使いのときは、設定が変更できないことがあります。 ［低］：投写映像が明るすぎるときにランプの明るさを抑えます。投写中の消費電力とファン回転音が低下します。

設定	選択肢	説明
ライトオプティマイザー	オン オフ	［オン］に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。ランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減できます。 設定値はカラーモードごとに保存されます。 この項目は以下の場合のみ設定可能です。 • ［明るさ切替］を［高］に設定しているとき • ［オートアイリス］を［オフ］に設定しているとき ☛ ［画質］ > ［オートアイリス］
スリープモード	オン オフ	［オン］に設定すると、一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1～30分	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
レンズカバータイマー	オン オフ	［オン］に設定すると、スライド式レンズカバーを閉じてから30分後に、自動的に本機の電源が切れます。
A/Vミュートタイマー	オン オフ	［オン］に設定すると、［A/Vミュート］を実行してから30分後に、自動的に本機の電源が切れます。

設定	選択肢	説明
待機モード *	通信オン 通信オフ	スタンバイ状態のときにネットワーク経由で本機を監視・制御するときは、［通信オン］に設定します。 以下の場合に表示されます。 • ［A/V出力］が［投写時］に設定されている。 • ［オートパワーオン］が［HDMI1］以外に、［起動条件］が［接続検出］に設定されている。 • ［USB給電］が［投写時］に設定されている。 ☛［拡張設定］>［A/V出力設定］>［A/V出力］ ☛［拡張設定］>［動作設定］>［オートパワーオン］ ☛［拡張設定］>［動作設定］>［起動条件］ ☛［拡張設定］>［動作設定］>［USB給電］
節電表示	オン オフ	［オン］に設定すると、ランプの明るさが通常状態と低輝度状態で切り替わるときに、投写画面の左下に節電状態を示す葉っぱのアイコンを表示します。
初期化	—	［節電］メニューで調整した、［待機モード］を除くすべての値を初期値に戻します。

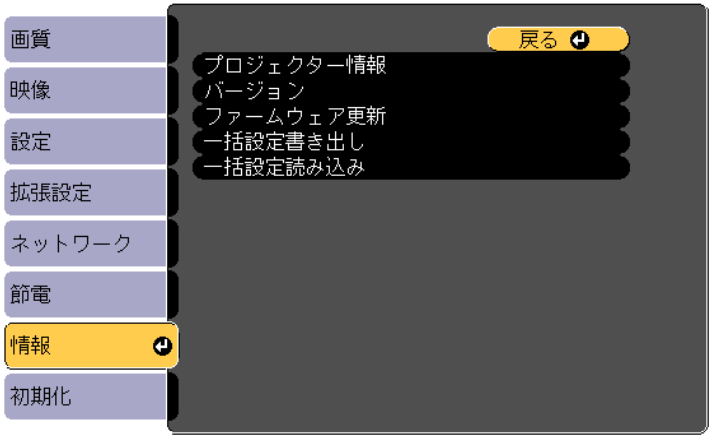
* 無線LAN対応機種のみ。

- ［スリープモード時間］がオンに設定されているときは、入力信号がない間はランプの明るさを抑えて動作します。
- ［レンズカバータイマー］または［A/Vミュートタイマー］がオンに設定されているときは、レンズカバーが閉じているときや［A/Vミュート］を実行してから電源が切れるまで、ランプの明るさを抑えて動作します。レンズカバーを開けたときやA/Vミュートを解除したときは、通常どおり動作します。

関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「機能一覧表」 p.10

［情報］メニューでは、本機の情報やバージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



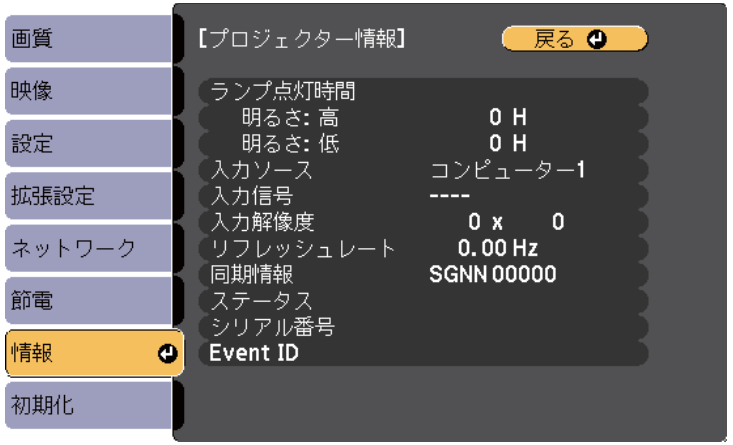
項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ファームウェア更新	ファームウェア更新モードになり、USB-AまたはUSB-B端子を使ってファームウェアのアップデートができます。
一括設定書き出し	本機で設定したメニューの内容を、USBメモリーやコンピューターに書き出します。書き出したメニュー設定は、同じ型番のプロジェクターにコピーできます。
一括設定読み込み	USBメモリーやコンピューターに保存されたメニュー設定を読み込みます。

関連項目

- 「情報メニュー - プロジェクター情報」 p.122
- 「機能一覧表」 p.10

情報メニュー - プロジェクター情報

［情報］メニューの［プロジェクター情報］では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

ランプ点灯時間は、ランプを10時間以上使用するまで加算されません。

項目	説明
ランプ点灯時間	［明るさ切替］の各モードでランプを使用した時間（［H］）を表示します。黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。 ☛ ［節電］ > ［明るさ切替］
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。

項目	説明
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワーク接続の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。 （ネットワーク対応機種のみ）

関連項目

- 「Event ID一覧」 p.123
- 「機能一覧表」 p.10

Event ID一覧

［プロジェクター情報］メニューの［Event ID］に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0891	プロジェクターに設定したアクセスポイント（SSID）が見つかりません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0892	プロジェクターとアクセスポイントのセキュリティー設定が一致しません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0893	プロジェクターとアクセスポイントの暗号形式またはパスフレーズが一致しません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0894	接続中のプロジェクターがネットワークから切断されました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0895	接続中の機器から通信が切断されました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0898	DHCPサーバーからIPアドレスが取得できません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0899	その他、接続に関するエラー。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10
- 「ネットワークに関するトラブル」 p.156

初期化メニュー

［初期化］メニューでは、本機の設定を初期化できます。



設定	選択肢	説明
ランプ点灯時間初期化	—	ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、［全初期化］を実行しても初期値に戻りません。

- Eズーム
- ユーザーロゴ
- 背景表示 *
- スタートアップスクリーン *
- A/Vミュート *
- 言語
- ネットワークメニューの項目
- ランプ点灯時間
- パスワード

* ［パスワードプロテクト］設定画面で、［ユーザーロゴ保護］を［オン］にしているときのみ。

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する （USB-A端子搭載機種のみ）
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- ［ネットワーク］メニュー（［通知］メニュー、［その他］メニューを除く）
- ［プロジェクター情報］メニューの［ランプ点灯時間］、［ステータス］

- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、［一括設定範囲］を［一部］に設定してください。
  - ［パスワードプロテクト］設定
  - ［ネットワーク］メニュー（［通知］メニュー、［その他］メニューを除く）

  ☛ ［拡張設定］ > ［動作設定］ > ［アドバンスト］ > ［一括設定範囲］

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 p.126
- 「コンピューターを使って一括設定する」 p.127
- 「機能一覧表」 p.10

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。

- FAT16/32形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定が正しく保存されません。
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

1. プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
2. 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
3. リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
4. インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。

   インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意
ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

5 USBメモリーを取り外します。

一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意
ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。

- USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。
  - Windows 10以降
  - macOS 12.x以降
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのUSB-B端子を、USBケーブルで接続します。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。

> 一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

6 コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

7 USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

8 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

9 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのUSB-B端子に接続します。

10 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

11 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

12 コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。

> 一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

13 コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

14 USBケーブルを取り外します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

> **⚠ 注意**
> ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

関連項目

- 「一括設定でエラーが発生したときは」 p.128

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
• ランプ：橙 速点滅 • 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
• 電源：青 速点滅 • ステータス：青 速点滅 • ランプ：橙 速点滅 • 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

• 「インジケーターの見方」 p.144

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

関連項目

- 「プロジェクターのメンテナンス」 p.131
- 「レンズを清掃する」 p.132
- 「本機を清掃する」 p.133
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.134
- 「ランプをメンテナンスする」 p.137

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

⚠ 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

レンズを清掃する

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、ブロアーで取り除いてからレンズを拭いてください。

⚠ 警告

- レンズを掃除するときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。
- レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- 光源消灯後すぐにレンズを拭かないでください。レンズが傷つく原因になります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

本機を清掃する

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- ホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。エアダスターを使用しないでください。可燃性の物質が残留するおそれがあります。

エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は10,000時間*、または6,000時間*を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

* 詳細は「付録」の「本機仕様」をご覧ください。

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

関連項目

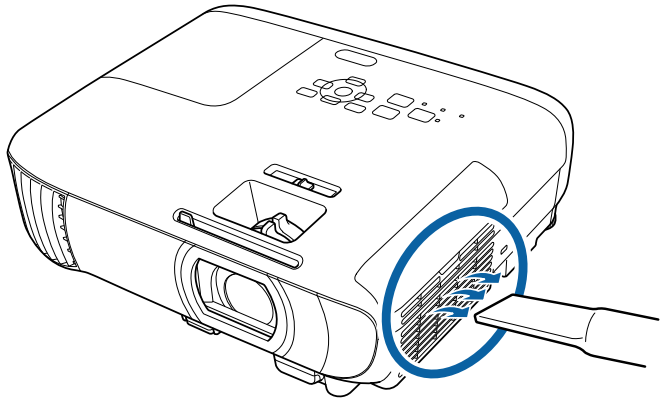
- 「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 p.134
- 「エアフィルターを交換する」 p.134
- 「機能一覧表」 p.10

エアフィルターと吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセージが表示されたときに掃除してください。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁寧に取り除きます。



エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

3 ホコリを取り除くことができない場合や、エアフィルターが破損している場合は、新しいエアフィルターと交換してください。

エアフィルターを交換する

以下の場合は、エアフィルターを交換してください。

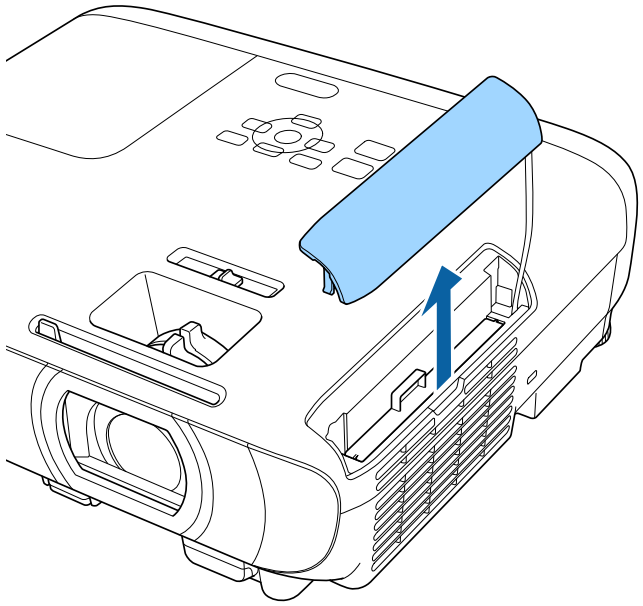
- エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される

- エアフィルターが破損している

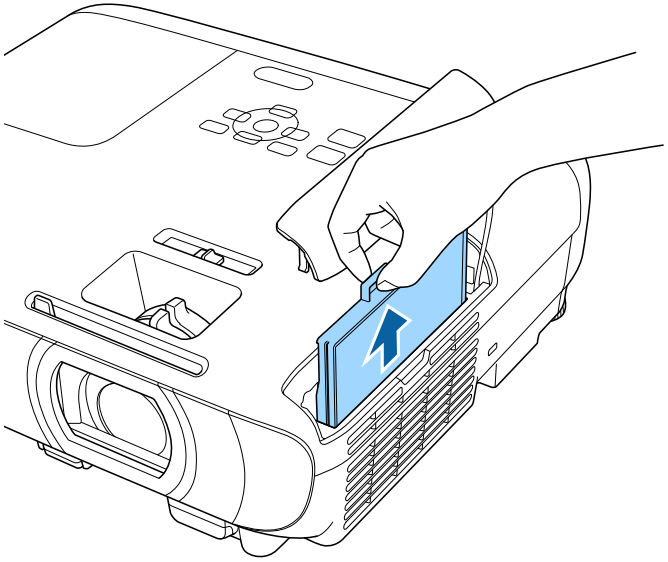
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターカバーを開けます。



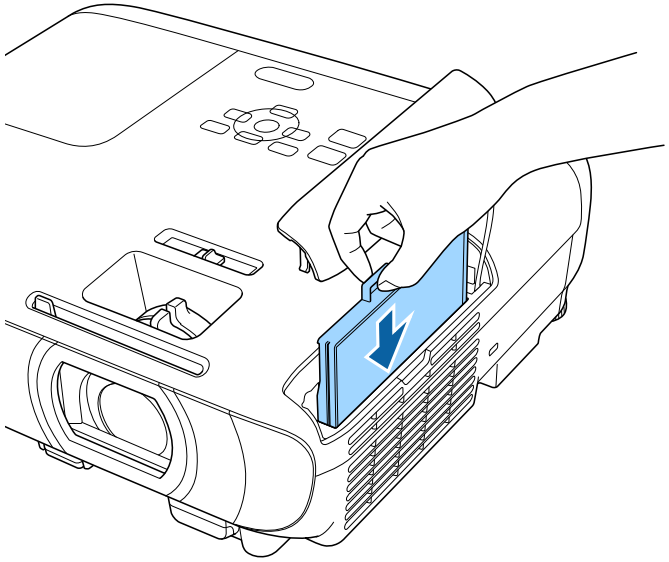
3 エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- フィルターの枠：ABS
- フィルター：ポリウレタンフォーム

4 新しいエアフィルターを差し込み、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。

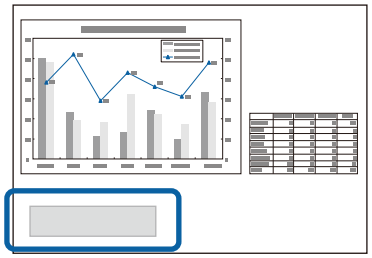
関連項目

- 「消耗品」 p.162

ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合は、ランプを交換してください。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき（メッセージはランプ寿命の100時間前に到達したときに表示され、30秒経過すると消えます）



- 電源インジケーターが青色に点滅して、ランプインジケーターが橙色に点滅したとき

注意

- ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなることがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

関連項目

- 「ランプを交換する」 p.137
- 「ランプ点灯時間を初期化する」 p.140
- 「本機仕様」 p.168
- 「インジケーターの見方」 p.144

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

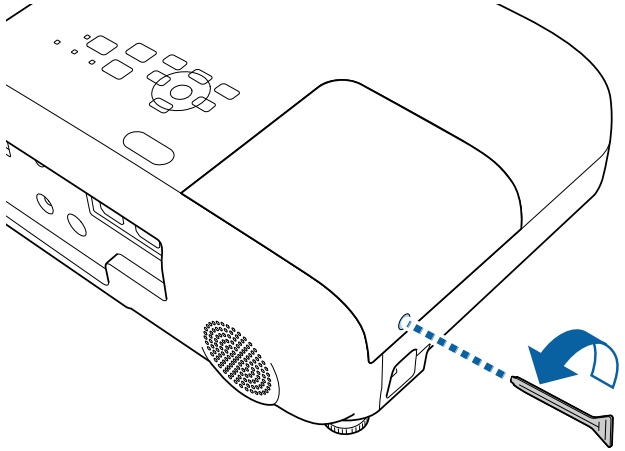
⚠ 警告

- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

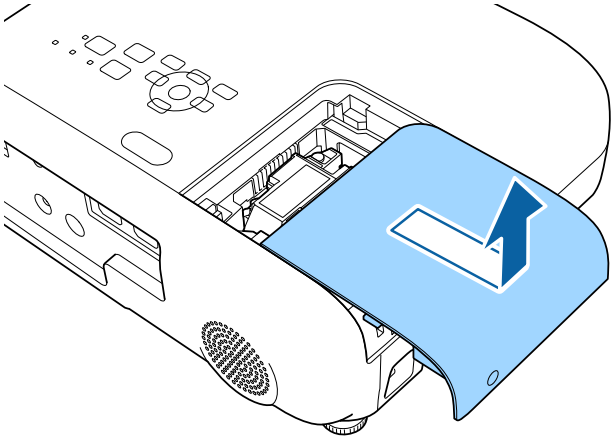
1. 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
2. ランプを最低1時間冷まします。

3 ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは＋のドライバーでゆるめます。

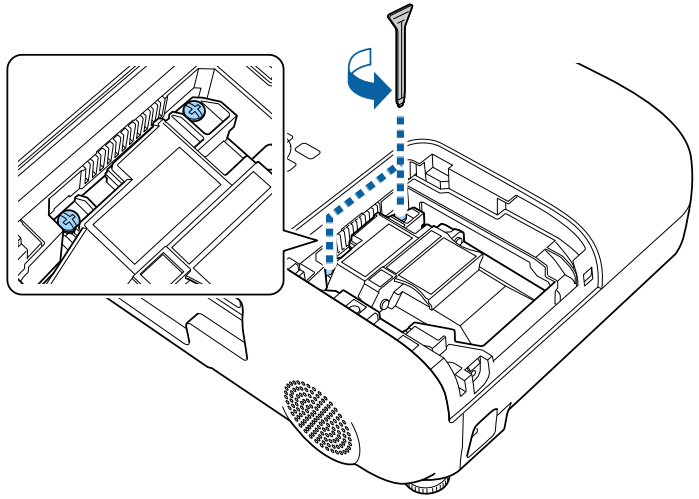
> **⚠ 警告**
> ランプが点灯しなくなって交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置した状態でランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



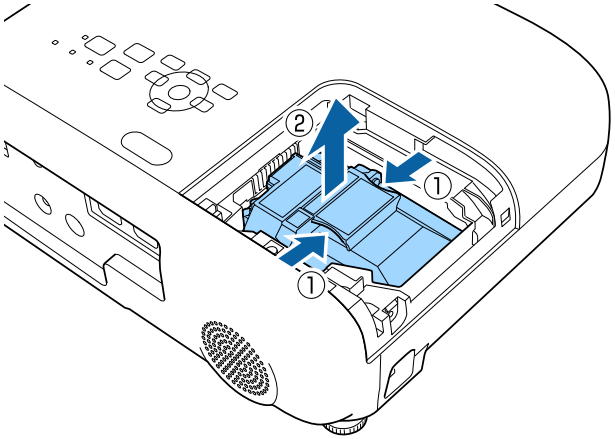
4 ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



5 ランプ固定ネジをゆるめます。ネジが完全に外れることはありません。

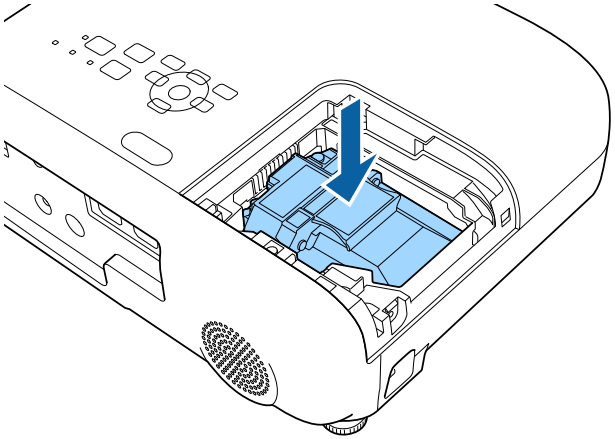


6 ランプの突起部をつまんで取り出します。



- ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本製品のランプには水銀（Hg）が含まれています。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。一般ゴミに混ぜないでください。

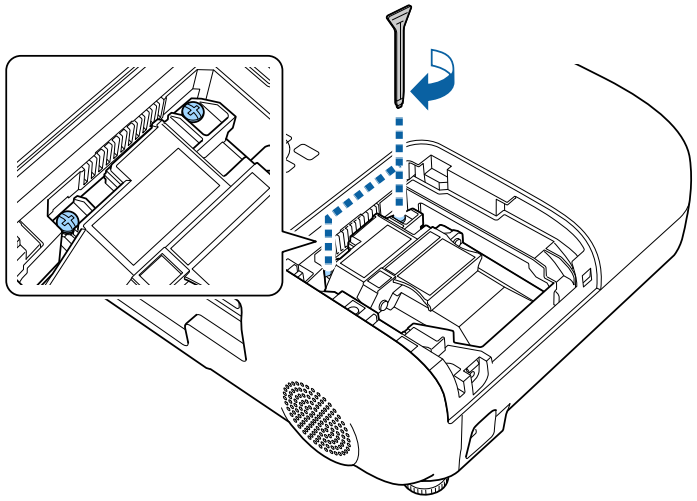
7 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。



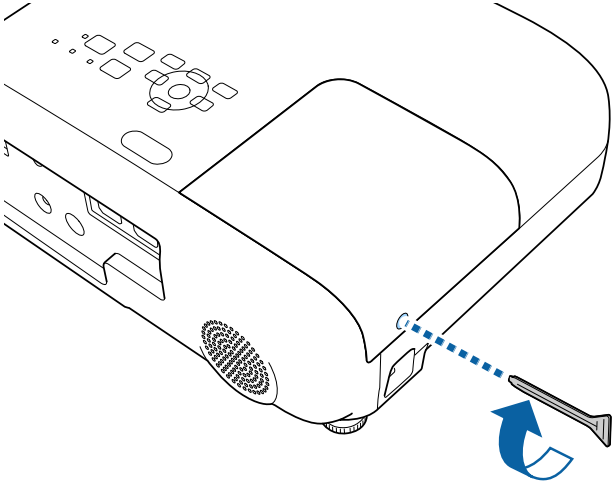
注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

8 ランプ固定ネジを締めます。



9 ランプカバーを取り付けます。



- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ランプカバーの浮きや変形がないことを確認してから使用してください。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

関連項目

- 「消耗品」 p.162

ランプ点灯時間を初期化する

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

1 本機の電源を入れます。

2 【メニュー】ボタンを押し、［初期化］を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 ［ランプ点灯時間初期化］を選択し、【決定】ボタンを押します。



ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

4 ［はい］を選択して【決定】ボタンを押します。

5 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

⏩ 関連項目

- 「トラブルの対処方法」 p.143
- 「インジケーターの見方」 p.144
- 「ヘルプの見方」 p.147
- 「映像や音声に関するトラブル」 p.148
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 p.154
- 「ネットワークに関するトラブル」 p.156

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

- インジケーターで本機の状態を確認する。
- ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- 本書に記載の対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



- ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

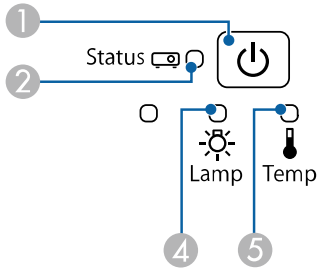
  ソフトウェアやファームウェアの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

  epson.jp/support/download/
- 本機を修理に出された場合、初期化してお返しすることがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

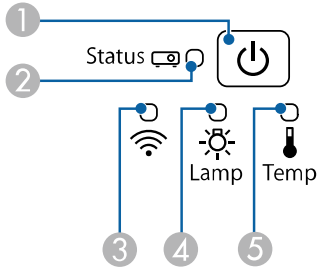
インジケーターは、本機の状態をお知らせします。インジケーターの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。

各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

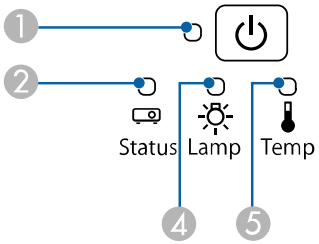
EB-FH08



EB-W55



EB-E12



1 電源インジケーター
2 ステータスインジケーター
3 無線LANインジケーター
4 ランプインジケーター
5 温度インジケーター

プロジェクターの状態

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 ランプ：消灯 温度：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	ネットワーク監視の準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：状態依存 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 高温にならない環境で使用するようにします。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • 高温にならない環境で使用するようにします。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、［高地モード］を［オン］に設定します。 ☛［拡張設定］>［動作設定］>［高地モード］ • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：消灯	ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。 • ランプを取り出して、ランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 • エアフィルターを掃除します。 • 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、［高地モード］を［オン］に設定します。 ☛［拡張設定］＞［動作設定］＞［高地モード］ • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ランプカバー開放状態です。 • ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：橙点滅 温度：状態依存	ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点滅	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：橙点滅	オートアイリス異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：橙点灯	電源系異常（バラスト）状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

無線LANの状態

無線LANインジケーターの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

▸▸ 関連項目

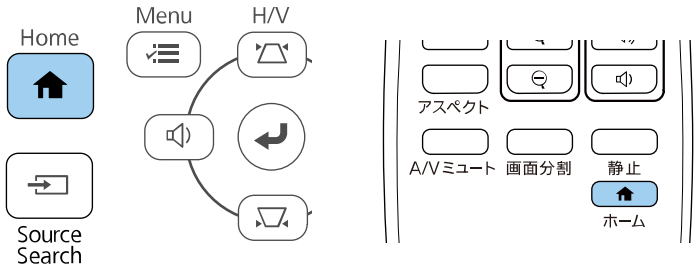
- 「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 p.134
- 「エアフィルターを交換する」 p.134
- 「ランプを交換する」 p.137
- 「機能一覧表」 p.10

ヘルプの見方

トラブルの解決方法を表示します。

1 本機の電源を入れます。

2 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。

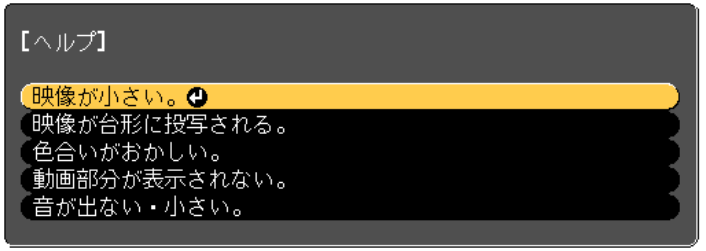


3 ホーム画面で［ヘルプ］を選択します。



ヘルプメニューが表示されます。

4 上下ボタンを使用して、解決したい問題を選択します。



5 【決定】ボタンを押して、対処方法を表示します。

6 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。

- 他の問題を選ぶ場合は 【戻る】ボタンを押します。
- ヘルプを終了する場合は 【メニュー】ボタンを押します。

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「映像が表示されない」 p.148
- 「USB Displayの映像が表示されない」 p.148
- 「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 p.149
- 「「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 p.150
- 「映像の一部が表示されない」 p.150
- 「映像がゆがむ」 p.151
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 p.151
- 「映像がぼやける」 p.151
- 「映像の明るさや色合いが違う」 p.152
- 「音が出ない、小さい」 p.152
- 「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 p.153

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- レンズカバーを完全に開けます。
- リモコンの 【A/Vミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- メディアストリーミング端末から投写するときは、USB給電ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。［操作ボタンロック］を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。

  ☛［設定］>［ロック設定］>［操作ボタンロック］
- ［画質］メニューの［明るさ］を調整します。
- ［明るさ切替］を［高］に設定します。

  ☛［節電］>［明るさ切替］
- ［拡張設定］メニューの［表示設定］で、［メッセージ表示］を［オン］に設定します。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

関連項目

- 「映像メニュー」 p.106
- 「画質メニュー」 p.104
- 「節電メニュー」 p.120
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「操作ボタンロックを解除する」 p.81

USB Displayの映像が表示されない

USB Displayで映像が正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの 【USB】ボタンを押します。

- USBケーブルを一度外し、再度接続します。
- Epson USB Displayドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

  お使いのOSまたはコンピューターの設定によっては、ドライバーが自動でインストールされない場合があります。以下のWebサイトから最新のドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

  epson.jp/lcp/doc/
- Macの場合：［Dock］の［USB Display］アイコンを選択します。USB Displayアイコンが［Dock］に表示されないときは、［アプリケーション］フォルダーの［USB Display］をダブルクリックします。

  ［Dock］の［USB Display］アイコンメニューで［終了］を選択すると、次回USBケーブルを接続したときにUSB Displayは自動的に起動しません。
- マウスカーソルがちらつくときは、［Epson USB Displayの設定］で、［デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする］を選択します。
- ［Epson USB Displayの設定］で、［レイヤードウィンドウの転送］をオフにします。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

関連項目
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.26

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

関連項目
- 「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 p.149
- 「Macのノートパソコンから映像を出力する」 p.150

Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンから投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

1 ノートパソコンの［Fn］キーを押しながら、モニターのアイコンや［CRT/LCD］が印字されているキーを押します。映像が表示されるまで数秒待ちます。

2 ノートパソコンの画面とプロジェクターの両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。

3 ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの［ディスプレイ］ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。

4 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを［クローン］または［ミラー］に設定します。

Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

1 ［システム環境設定］を開き、［ディスプレイ］を選択します。

2 必要に応じて、［ディスプレイ］または［カラーLCD］を設定します。

3 ［調整］または［アレンジメント］をクリックします。

4 ［ディスプレイをミラーリング］を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- ［映像］メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。

関連項目
- 「映像メニュー」 p.106
- 「対応解像度」 p.167

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの 【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- 【Eズーム】ボタンで映像を拡大/縮小したときは、【初期値】ボタンを押してEズームを解除します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。
- 正しい設置モードを選択していることを確認します。［拡張設定］メニューの［設置モード］で選択できます。

関連項目
- 「映像メニュー」 p.106
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「対応解像度」 p.167

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- ［設定］メニューで、［自動タテ補正］を［オン］にします。本機を動かすと、自動的に投写映像が補正されます。
  ☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］ > ［自動タテ補正］
- ［設定］メニューで、［スライド式ヨコ補正］を［オン］にします。スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。
  ☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［タテヨコ］ > ［スライド式ヨコ補正］
- 操作パネルの台形補正ボタンを押して映像のゆがみを補正します。
- Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
  ☛ ［設定］ > ［台形補正］ > ［Quick Corner］

関連項目
- 「自動タテ補正」 p.45
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.46
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.47
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 p.45

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
  - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
  - ケーブルの両端が確実に接続されている
  - 延長ケーブルを使用していない
- ［映像］メニューの設定が、接続している機器に合っているか確認します。
- ［画質］メニューの［プログレッシブ変換］と［ノイズリダクション］が設定できる入力ソースのときは、これらの設定をします。
  ☛ ［画質］ > ［イメージ強調］ > ［ノイズリダクション］
  ☛ ［画質］ > ［イメージ強調］ > ［プログレッシブ変換］
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- 映像のゆがみを補正したときは、［画質］メニューで［シャープネス］を低い値に設定し、投写映像の画質を向上させます。
- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- USB Displayを使って投写するときは、［Epson USB Displayの設定］で［レイヤードウィンドウの転送］をオフにします。

関連項目
- 「映像メニュー」 p.106
- 「画質メニュー」 p.104
- 「対応解像度」 p.167

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 映像のピントを合わせます。
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして補正時の調整値を小さくします。
- 本機のレンズを掃除します。

> 寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- ［画質］メニューで［シャープネス］を調整して、投写映像の画質を上げます。
- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

関連項目
- 「自動タテ補正」 p.45
- 「映像メニュー」 p.106
- 「画質メニュー」 p.104
- 「対応解像度」 p.167
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.50
- 「レンズを清掃する」 p.132

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの 【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- ［画質］メニューで［明るさ］、［コントラスト］、［色合い］、［色の濃さ］などを設定します。
- ［映像］メニューで［ビデオレンジ］を正しく設定します。

  ☛ ［映像］ > ［アドバンスト］ > ［ビデオレンジ］
- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- ［明るさ切替］で［低］を選択しているときは、［高］に設定します。

  ☛ ［節電］ > ［明るさ切替］

> 高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示されます。このときは［明るさ切替］が設定できないことがあります。

- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像が次第に暗くなる場合は、プロジェクターランプを早めに交換してください。

関連項目
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 p.55
- 「映像メニュー」 p.106
- 「画質メニュー」 p.104
- 「節電メニュー」 p.120

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の音量設定を調整します。
- 一時的に映像と音を消した場合は、リモコンの 【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。

- コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- USB Displayを使って投写するときは、［Epson USB Displayの設定］で［音声をプロジェクターで出力する］をオンにします。
- ［拡張設定］メニューで［A/V出力設定］を正しい音声入力に設定します。
- 本機がスタンバイ状態のときも接続しているオーディオ機器の音声を出力するときは、［節電］メニューで［待機モード］を［通信オン］に設定し、［拡張設定］メニューで［A/V出力設定］が正しく設定されていることを確認します。
- HDMIケーブルで接続している機器の音声が出ないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、Macが HDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（Epson iProjection (Windows/Mac)またはUSB Displayを使用する場合）

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 p.26
- 「設定メニュー」 p.107
- 「拡張設定メニュー」 p.109
- 「節電メニュー」 p.120
- 「音量ボタンで音量を調整する」 p.57

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目
- 「電源が入らない、予期せず切れる」 p.154
- 「リモコンで操作できない」 p.154
- 「パスワードが入力できない」 p.155

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、［設定］メニューの［リモコン受光部］で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- 本機のボタンはセキュリティー上の目的でロックされていることがあります。［操作ボタンロック］を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。

  ☛［設定］>［ロック設定］>［操作ボタンロック］
- 本機のランプが予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、［節電］メニューで［スリープモード］を［オフ］にします。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、A/Vミュートタイマーが有効になっている可能性があります。A/Vミュートタイマーを無効にするには、［節電］メニューで［A/Vミュートタイマー］を［オフ］にします。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、レンズカバータイマーが有効になっている可能性があります。レンズカバータイマーを無効にするには、［節電］メニューで［レンズカバータイマー］を［オフ］にします。
- 本機のランプが消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目
- 「節電メニュー」 p.120
- 「インジケーターの見方」 p.144
- 「設定メニュー」 p.107
- 「操作ボタンロックを解除する」 p.81

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。

- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- ［設定］メニューの［リモコン受光部］で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ［リモコン受光部］がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- リモコンの 【ID】ボタンを押しながら、［0］（ゼロ）ボタンを押します。IDを［0］に設定すると、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

関連項目

- 「リモコンを操作する」 p.33
- 「設定メニュー」 p.107
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.74
- 「リモコンに電池を取り付ける」 p.32

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

注意

［ネットワーク設定を初期化します。］を実行すると、［ネットワーク］メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、［パスワードプロテクト］で［ネットワーク保護］を［オン］に設定してください。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目
- 「無線LAN認証できない」 p.156
- 「Webブラウザーを使って設定を変更できない」 p.156
- 「異常が起きたときにメール通知されない」 p.156
- 「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 p.157
- 「Event IDでの確認」 p.157

無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、［ネットワーク］メニューで［セキュリティー］の設定を確認します。

☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［無線LAN］

関連項目
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 p.114

Webブラウザーを使って設定を変更できない

Webブラウザーを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認してください。

- ユーザー名を確認してください。（ユーザー名は変更できません。）
  - ［ベーシックコントロール］にアクセスするときのユーザー名：**EPSONREMOTE**
  - その他の画面にアクセスするときのユーザー名：**EPSONWEB**
- パスワードには、［ネットワーク］メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは設定されていません。
- プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- お使いのWebブラウザーで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、［Epson Web Control］画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- プロジェクターの［待機モード］が［通信オン］のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。

  ☛ ［節電］ > ［待機モード］



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

関連項目
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.113

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
- ［ネットワーク］メニューの［通知］またはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、［待機モード］を［通信オン］に設定します。

☛［節電］>［待機モード］

関連項目
- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 p.116
- 「節電メニュー」 p.120

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
- Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Event IDでの確認

［情報］メニューの［プロジェクター情報］に表示される［Event ID］でトラブルの対処方法を確認できる場合もあります。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

［Event ID］**: 0891**

事象： アクセスポイントが見つからない。
原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	接続先のアクセスポイントのSSIDとプロジェクターのSSIDが異なっている。
	対処	プロジェクターで設定したSSIDが間違っている場合は、SSIDを再設定してください。
2	原因	Wi-Fiの周波数やチャネルが合っていない。
	対処	アクセスポイントで設定されている周波数、チャネルに合わせてください。
3	原因	アクセスポイントの電波が弱い、届かない。
	対処	• プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 • アクセスポイントとプロジェクターが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 • アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。
4	原因	検出されたアクセスポイント（SSID）が多すぎて該当のアクセスポイントが見つからない。
	対処	アクセスポイント側で混雑していない無線帯域やチャネルに変更して確認してください。

［Event ID］**: 0892**

事象： プロジェクターとアクセスポイントのセキュリティー設定が一致していない。
原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターのセキュリティー設定が、アクセスポイントのセキュリティー設定と合っていない。
	対処	プロジェクターのセキュリティー設定を確認して、アクセスポイントのセキュリティー設定に合わせてください。

［Event ID］**: 0893**

事象： プロジェクターとアクセスポイントの暗号形式またはパスフレーズが一致していない。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターとアクセスポイントの暗号形式が異なる。
	対処	プロジェクターの暗号方式はAESのみのため、接続するアクセスポイントの暗号形式をAESに設定してください。
2	原因	プロジェクターに設定されているパスフレーズが間違っている。
	対処	• パスフレーズが正しく設定されているか確認してください。 • ネットワーク管理者からパスフレーズが通知されている場合は、通知されたパスフレーズが正しいかネットワーク管理者に確認してください。

［Event ID］**: 0894**

事象： プロジェクターとネットワーク（Wi-Fi）の接続が切れてしまう。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターまたはアクセスポイントに問題がある。
	対処	• プロジェクター、アクセスポイントを再起動して確認してください。 • Wi-Fi接続の再設定を試してください。 • プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 • アクセスポイントとプロジェクターが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 • アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 • プロジェクター、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 • プロジェクターやアクセスポイントで新しいファームウェアがある場合、ファームウェアを更新してください。

［Event ID］**: 0895**

事象： デバイスとネットワーク（Wi-Fi）の接続が切れてしまう。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	デバイスまたはアクセスポイントに問題がある。

	対処	• デバイス、アクセスポイントを再起動して確認してください。 • Wi-Fi接続の再設定を試してください。 • デバイスとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 • デバイスとアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 • アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 • デバイス、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 • デバイスやアクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。

［Event ID］**: 0898**

事象： DHCPサーバーからIPアドレスが取得できない。
原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない。
	対処	• 他の機器（PCなど）でIPアドレスが割り振られているか確認してください。（PCはDHCP ONである前提） • DHCPサーバーが正しく設定されていること、接続されていることを確認してください。
2	原因	無線環境に問題がある。
	対処	• アクセスポイント検索または無線LAN診断を実施し、該当アクセスポイントの無線電波強度を確認してください。 • アクセスポイントの電波強度を調整、またはアクセスポイントのチャネルを変更して再度接続を試してください。 • プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。

［Event ID］**: 0899**

事象： その他接続に問題がある。
原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	接続されている機器（プロジェクター/デバイス）やアクセスポイントに問題がある。
	対処	• 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）やアクセスポイントを再起動してください。 • 接続されているデバイスを再起動してください。 • Wi-Fi接続の再設定を試してください。 • 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）とアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 • 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）とアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 • アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 • 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 • 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）、アクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。

付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 p.161
- 「スクリーンサイズと投写距離」 p.163
- 「対応解像度」 p.167
- 「本機仕様」 p.168
- 「外形寸法図」 p.171
- 「USB Displayのシステム要件」 p.173
- 「警告ラベル」 p.174
- 「安全規格対応シンボルマークと説明」 p.175
- 「用語解説」 p.177
- 「一般のご注意」 p.179

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品・消耗品は2024年12月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

関連項目

- 「スクリーン」 p.161
- 「設置用金具」 p.161
- 「無線LAN用オプション」 p.161
- 「外付けオプション」 p.161
- 「消耗品」 p.162

スクリーン

60型スクリーン ELPSC27

80型スクリーン ELPSC28

100型スクリーン ELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比4:3）

70型スクリーン ELPSC23

80型スクリーン ELPSC24

90型スクリーン ELPSC25

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)

64型スクリーン ELPSC31

携帯型マグネットスクリーンです。（アスペクト比4:3）

50型スクリーン ELPSC32

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。（アスペクト比4:3）

80型モバイルXタイプスクリーン ELPSC21

携帯型Xタイプスクリーンです。（アスペクト比16:9）

マルチアスペクトスクリーン ELPSC26

携帯型マルチアスペクトスクリーンです。

設置用金具

天吊金具 ELPMB23

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット ELPWR01

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ450（450mm）ELPFP13

パイプ700（700mm）ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り設置には特別な技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

無線LAN用オプション

無線LANユニット ELPAP11

無線LAN接続で投写するときに使います。（使用周波数帯：2.4 GHz/5 GHz帯）

関連項目

- 「機能一覧表」 p.10

外付けオプション

書画カメラ ELPDC30/ELPDC21/ELPDC07

書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。

Android TV™端末 ELPAP12

メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

ソフトキャリングケース ELPKS69
本機の持ち運びに便利なソフトケースです。

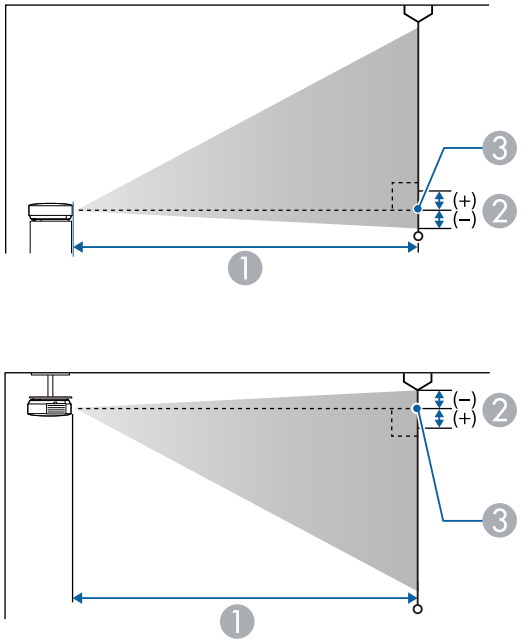
関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

消耗品

交換用ランプ ELPLP97
使用済みランプと交換します。

エアフィルター ELPAF32
使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



❶ 投写距離（cm）
❷ レンズ中心からスクリーン下端（天吊りの場合はスクリーン上端）までの高さ（cm）
❸ レンズの中心

EB-E12

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
30型	61 × 46	87 - 176	-5

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
50型	102 × 76	146 - 294	-8
60型	122 × 91	176 - 353	-10
70型	142 × 107	205 - 412	-12
80型	163 × 122	235 - 472	-14
100型	203 × 152	294 - 590	-17
150型	305 × 229	442 - 886	-25
200型	406 × 305	590	-34
300型	610 × 457	886	-51
350型	711 × 533	1034	-59

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
28型	62 × 35	88 - 179	1
30型	66 × 37	95 - 192	1
50型	111 × 62	159 - 321	1
60型	133 × 75	192 - 385	1
70型	155 × 87	224 - 450	2
80型	177 × 100	256 - 514	2
100型	221 × 125	321 - 643	2
150型	332 × 187	482 - 966	3
200型	443 × 249	643	5
300型	664 × 374	966	7

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
320型	708 × 398	1030	7

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
29型	62 × 39	89 - 180	-1
30型	65 × 40	92 - 186	-1
50型	108 × 67	155 - 312	-2
60型	129 × 81	186 - 375	-3
70型	151 × 94	218 - 437	-3
80型	172 × 108	249 - 500	-4
100型	215 × 135	312 - 626	-4
150型	323 × 202	469 - 939	-7
200型	431 × 269	626	-9
300型	646 × 404	939	-13
330型	711 × 444	1034	-15

EB-W55

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
33型	71 × 44	91 - 110	-4
35型	75 × 47	97 - 117	-4
40型	86 × 54	111 - 134	-5
50型	108 × 67	139 - 168	-6
60型	129 × 81	168 - 202	-7
80型	172 × 108	225 - 270	-10
100型	215 × 135	281 - 338	-12
150型	323 × 202	424 - 509	-18
200型	431 × 269	566 - 680	-24
320型	689 × 431	907 - 1089	-39

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
29型	59 × 44	90 - 109	-4
30型	61 × 46	94 - 113	-4
40型	81 × 61	126 - 152	-5
50型	102 × 76	158 - 190	-7
60型	122 × 91	190 - 229	-8
70型	142 × 107	222 - 267	-10

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
80型	163 × 122	255 - 306	-11
100型	203 × 152	319 - 383	-14
150型	305 × 229	480 - 577	-20
200型	406 × 305	641 - 770	-27
280型	569 × 427	898 - 1079	-38

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
32型	71 × 40	91 - 109	-2
35型	77 × 44	99 - 120	-2
40型	89 × 50	114 - 137	-2
50型	111 × 62	143 - 172	-3
60型	133 × 75	172 - 208	-3
70型	155 × 87	202 - 243	-4
80型	177 × 100	231 - 278	-4
100型	221 × 125	289 - 348	-5
150型	332 × 187	435 - 523	-8
200型	443 × 249	582 - 699	-11
310型	686 × 386	903 - 1084	-17

EB-FH08

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
34型	75 × 42	89 - 108	-3
40型	89 × 50	106 - 127	-3.6
50型	111 × 62	133 - 160	-4.5
60型	133 × 75	160 - 192	-5.3
80型	177 × 100	214 - 257	-7.1
100型	221 × 125	268 - 322	-8.9
150型	332 × 187	404 - 485	-13.4
200型	443 × 249	539 - 648	-17.8
250型	553 × 311	675 - 810	-22.3
337型	746 × 420	911 - 1093	-30

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短（ワイド）～最長（テレ）	❷
28型	57 × 43	90 - 109	-3.1
30型	61 × 46	97 - 117	-3.3
40型	81 × 61	130 - 156	-4.4
50型	102 × 76	163 - 196	-5.5
60型	122 × 91	196 - 236	-6.5
80型	163 × 122	263 - 316	-8.7
100型	203 × 152	329 - 395	-10.9
150型	305 × 229	495 - 594	-16.4

スクリーンサイズと投写距離

4:3スクリーンサイズ		❶	❷
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
200型	406 × 305	661 - 793	-21.8
250型	508 × 381	827 - 992	-27.3
275型	559 × 419	910 - 1092	-30

16:10スクリーンサイズ		❶	❷
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
32型	69 × 43	91 - 110	-3.1
40型	86 × 54	114 - 138	-3.9
50型	108 × 67	144 - 173	-4.8
60型	129 × 81	173 - 208	-5.8
70型	151 × 94	202 - 243	-6.7
80型	172 × 108	232 - 278	-7.7
100型	215 × 135	290 - 349	-9.6
150型	323 × 202	437 - 525	-14.5
200型	431 × 269	583 - 700	-19.3
250型	538 × 337	730 - 876	-24.1
280型	603 × 377	818 - 982	-27

対応解像度

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は
『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

関連項目

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.9

EB-E12

商品名	EB-E12
外形サイズ	幅302 × 高さ77 × 奥行き234 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.55型
表示方式	3LCD
有効画素数	XGA（横1024 × 縦768ドット） × 3
スクリーン解像度	786,432ピクセル (1,024 × 768)
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1 - 2.0（デジタル）
ランプ	UHEランプ 定格210 W 型番：ELPLP96
ランプ寿命	節電メニューの明るさ切替が高の場合：最大6,000時間 節電メニューの明るさ切替が低の場合：最大12,000時間
エアフィルターのメンテナンス時間	6,000時間
音声最大出力	2 W
スピーカー	1
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6 - 1.7 A
消費電力（100-120Vエリア）	定格消費電力：349 W
消費電力（220-240Vエリア）	定格消費電力：332 W
待機時消費電力	0.3 W
動作高度	標高 0〜3,048 m
動作温度範囲*	標高 0〜2,286 m：+5〜+40°C（結露しないこと） 標高 2,287〜3,048 m：+5〜+35°C（湿度20〜80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10〜+60°C（湿度10〜90%、結露しないこと）
質量	約2.4 kg

* 使用する環境の温度が高くなったときは、ランプの明るさを自動的に落とします。（標高0〜2,286mでは約35℃、標高2,287〜3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。）

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

EB-W55

商品名	EB-W55
外形サイズ	幅302 × 高さ87 × 奥行き234 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.59型
表示方式	3LCD
有効画素数	WXGA（横1280 × 縦800ドット） × 3
スクリーン解像度	1,024,000ピクセル (1,280 × 800)
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1〜1.2（光学ズーム）
ランプ	UHEランプ 定格210 W 型番：ELPLP96
ランプ寿命	節電メニューの明るさ切替が高の場合：最大6,000時間 節電メニューの明るさ切替が低の場合：最大12,000時間
エアフィルターのメンテナンス時間	6,000時間
音声最大出力	2 W
スピーカー	1

電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6 - 1.7 A
消費電力（100-120Vエリア）	定格消費電力：349 W
消費電力（220-240Vエリア）	定格消費電力：332 W
待機時消費電力	通信オン：2.0 W 通信オフ：0.3 W
動作高度	標高 0〜3,048 m
動作温度範囲*	標高 0〜2,286 m：+5〜+40℃（結露しないこと） 標高 2,287〜3,048 m：+5〜+35℃（湿度20〜80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10〜+60℃（湿度10〜90%、結露しないこと）
質量	約2.6 kg

* 使用する環境の温度が高くなったときは、ランプの明るさを自動的に落とします。（標高0〜2,286mでは約35℃、標高2,287〜3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。）

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

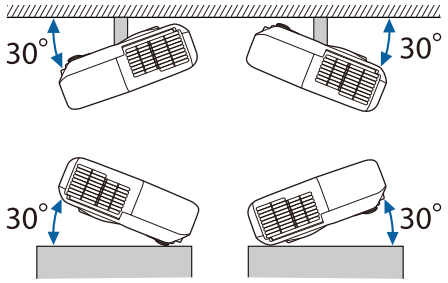
EB-FH08

商品名	EB-FH08
外形サイズ	幅302 × 高さ87 × 奥行き249 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.62型
表示方式	3LCD
有効画素数	Full HD（横1,920 × 縦1,080ドット） × 3
スクリーン解像度	2,073,600ピクセル (1,920 × 1,080)
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1〜1.2（光学ズーム）
ランプ	UHEランプ 定格210 W 型番：ELPLP96
ランプ寿命	節電メニューの明るさ切替が高の場合：最大6,000時間 節電メニューの明るさ切替が低の場合：最大12,000時間
エアフィルターのメンテナンス時間	6,000時間
音声最大出力	2 W
スピーカー	1
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6 - 1.7 A
消費電力（100-120Vエリア）	定格消費電力：349 W
消費電力（220-240Vエリア）	定格消費電力：332 W
待機時消費電力	通信オン：2.0 W 通信オフ：0.3 W
動作高度	標高 0〜3,048 m
動作温度範囲*	標高 0〜2,286 m：+5〜+40℃（結露しないこと） 標高 2,287〜3,048 m：+5〜+35℃（湿度20〜80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10〜+60℃（湿度10〜90%、結露しないこと）
質量	約2.7 kg

* 使用する環境の温度が高くなったときは、ランプの明るさを自動的に落とします。（標高0〜2,286mでは約35℃、標高2,287〜3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。）

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

関連項目
- 「接続端子」 p.170

接続端子

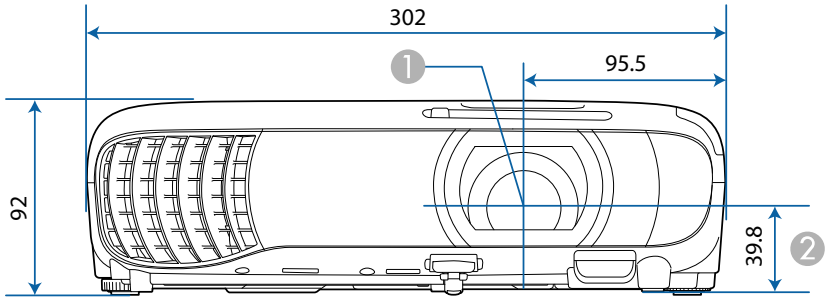
お使いの機種に搭載されている端子については、「機能一覧表」をご覧ください。

音声出力端子	ステレオミニピンジャック
HDMI1端子	HDMI（音声はPCMにのみ対応）
HDMI2端子	HDMI（音声はPCMにのみ対応）
USB-A端子	USBコネクター（Aタイプ）
USB-B端子	USBコネクター（Bタイプ）

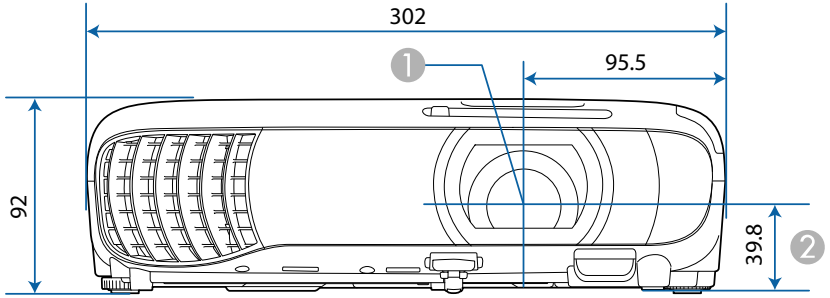
- USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。

関連項目
- 「機能一覧表」 p.10

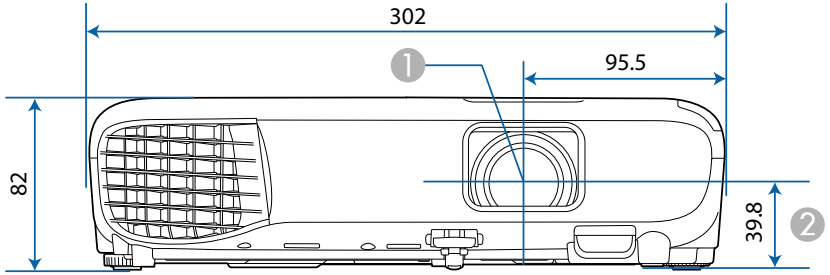
EB-FH08



EB-W55

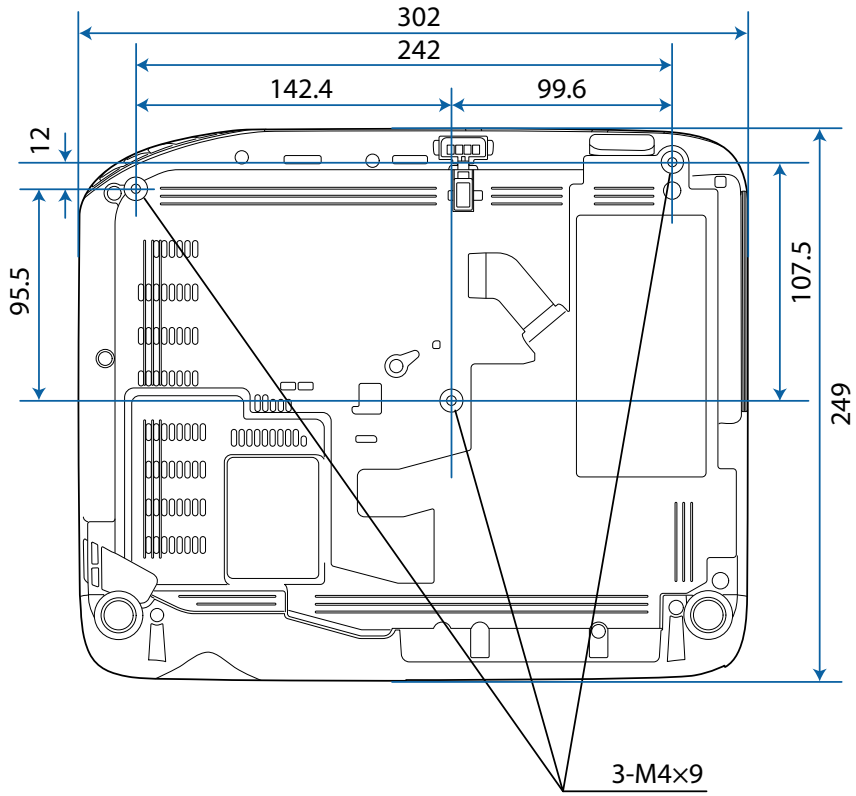


EB-E12

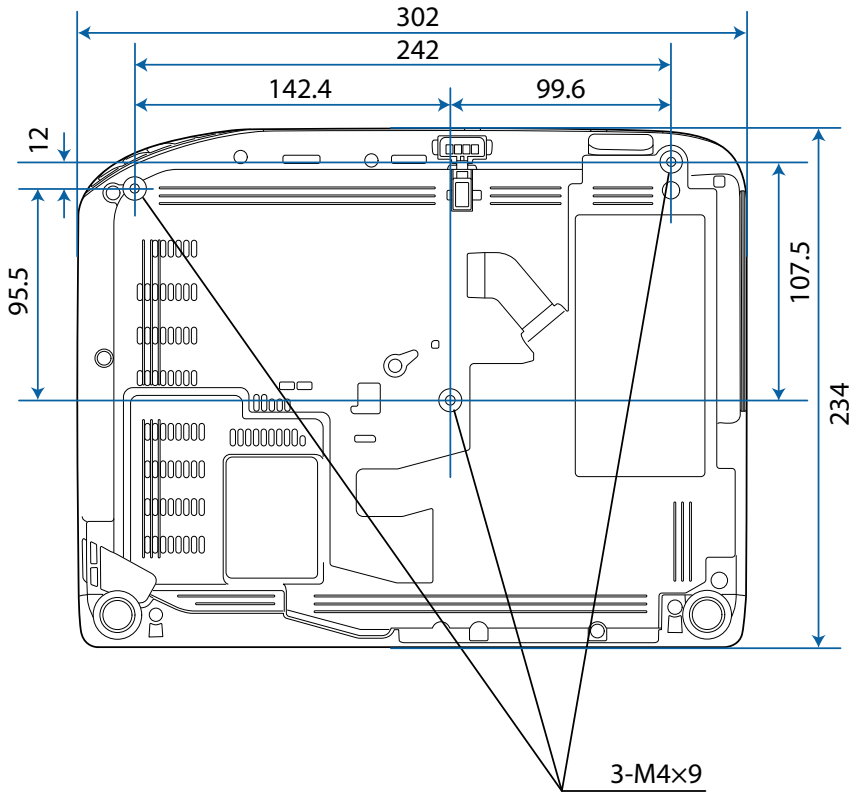


1 レンズの中心
2 レンズの中心から天吊り固定部までの寸法

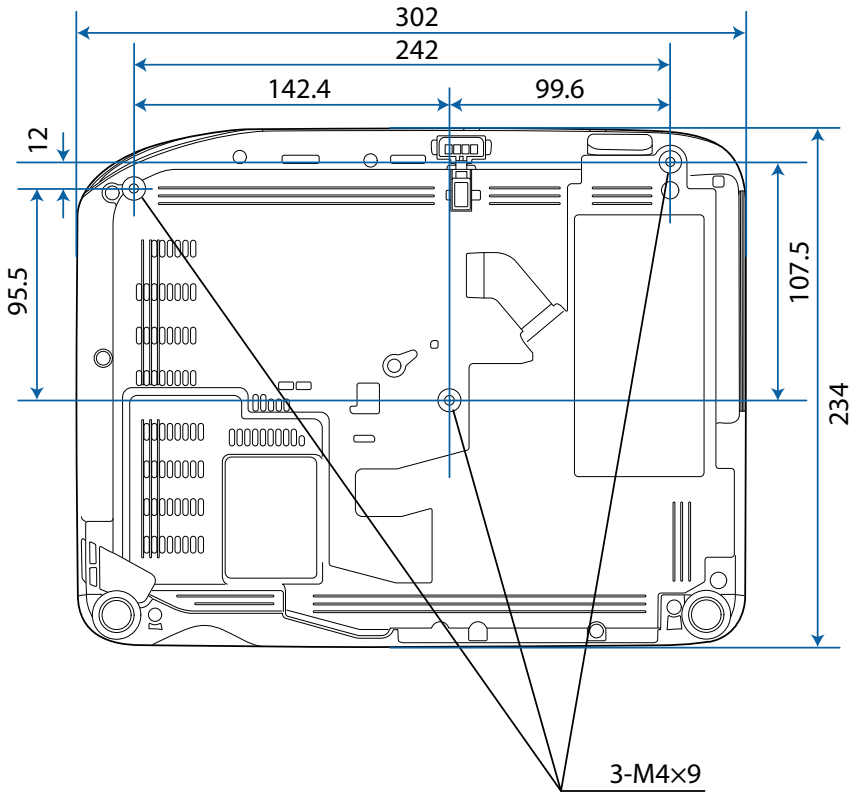
EB-FH08



EB-W55



EB-E12



単位：mm

USB Displayのシステム要件

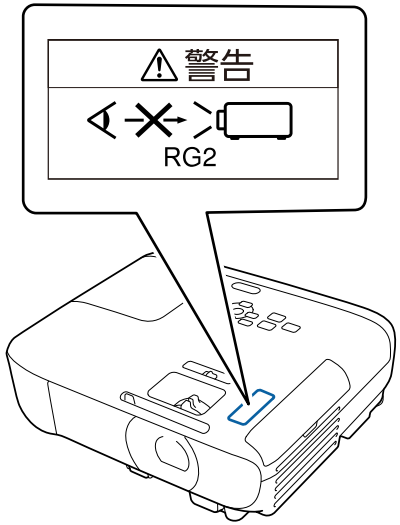
Epson USB Displayは以下の条件を満たすコンピューターで使用できます。

条件	Windows	Mac
OS	Windows 10 • Windows 10 Home（32/64ビット） • Windows 10 Pro（32/64ビット） • Windows 10 Enterprise（32/64ビット）	macOS • 10.15.x（64ビット） • 11.x（64ビット） • 12.x（64ビット） • 13.x（64ビット） • 14.x（64ビット）
	Windows 11 • Windows 11 Home • Windows 11 Pro • Windows 11 Enterprise	
CPU	Intel Core2Duo以上 （推奨：Intel Core i3以上）	Intel Core2Duo以上 （推奨：Intel Core i5以上）
メモリー容量	2 GB以上 （推奨：4 GB以上）	
ハードディスク空き容量	20 MB以上	
表示設定	640 × 480から1,920 × 1,200までの解像度 16ビットカラー以上	

警告ラベル

本機には以下の警告ラベルが貼られています。

投写中は、光源から放射される光をのぞかないでください。（RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠）



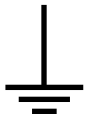
⚠ 警告

- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

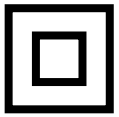
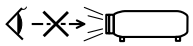
安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
❶		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
❷		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
❸		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
❹		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
❺		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
❻		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
❼		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
❽		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクター極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
❾		—	No. 8と同じ
❿		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⓫		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⓬		—	No. 11と同じ
⓭		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⓮		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⓯		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

安全規格対応シンボルマークと説明

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑯		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
⑰		IEC60417 No. 5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
⑱		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
⑲		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
⑳		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
㉑		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
㉒		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
㉓		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
㉔		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
㉕		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
㉖		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
㉗		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
㉘		—	プロジェクター動作中の投写レンズのぞき込み禁止。
㉙		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IRなど） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
㉚		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
Full HD	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,080ドットのものを呼びます。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） • 画面のアスペクト比は16:9
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム（OS）やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのものを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「使用限定について」 p.179
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 p.179
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 p.179
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 p.179
- 「表記について」 p.179
- 「商標について」 p.180
- 「ご注意」 p.180
- 「著作権について」 p.180

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- 日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。
- 電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- Microsoft ® Windows® 10 operating system
- Microsoft ® Windows® 11 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 10.15.x
- macOS 11.x
- macOS 12.x
- macOS 13.x
- macOS 14.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「macOS 10.15.x」、「macOS 11.x」、「macOS 12.x」、「macOS 13.x」、「macOS 14.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について

「ELPLP」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Wi-Fi®、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.の商標です。

Chrome、Chromebook、Google PlayはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2025 Seiko Epson Corporation

2025.6 414569703JA